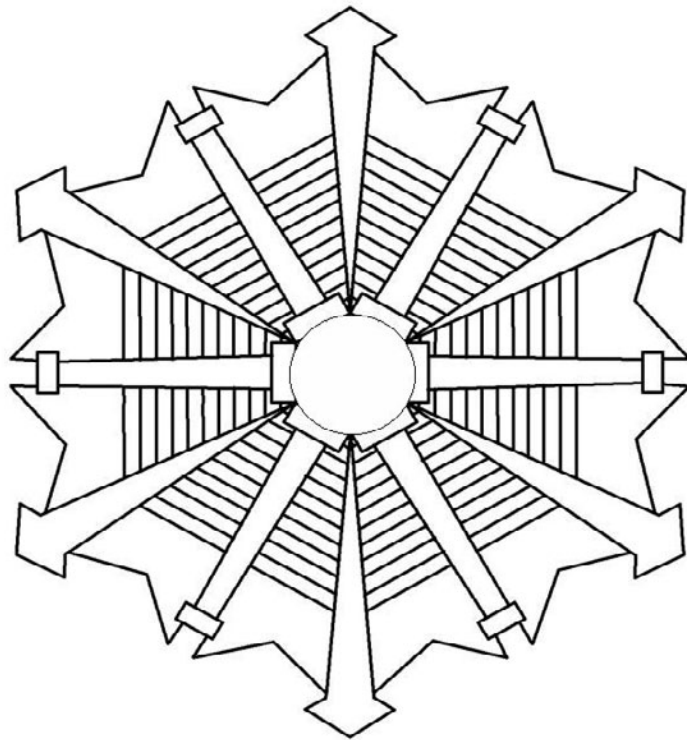


平成30年版

消 防 年 報



岩国地区消防組合

ま え が き

この消防年報は、岩国地区消防組合及び構成市町（岩国市、和木町）の消防現勢及び消防業務に関する諸般の資料を収録し、将来の参考にするとともに、消防事情を広く一般に公開することを目的として編集したものです。

「地域のみなさんの安心・安全を確保する」という任務を遂行するためには、消防活動の分析及び検討が不可欠であり、この年報が今後の消防行政の効果的推進を図るうえでの一助となれば幸甚です。

なお、各資料のうち、予算事項等については会計年度とし、その他の事項についてはすべて暦年といたしました。

平成31年 3 月

岩国地区消防組合

管内一目統計

面積・人口・世帯	面積	人口	人口密度	世帯数
	884.3km ²	143,250人	161.9人/km ²	68,800世帯

予算・機構・人事	消防予算	署・所	職員数	
	27億4,678万円 住民一人当たり 19,175円 (構成市町全体)	消防本部 1 消防署 1 出張所 5 機関員駐在所 3	定員 230名	実員 215名

機械・施設	ポンプ・タンク車	特殊車両	救急車	水利
	ポンプ車 13台 タンク車 2台	はしご車 2台 化学車 2台 原液搬送車 1台 救助工作車 1台 多目的搬送車 1台 資機材搬送車 1台 指揮隊車 1台	高規格救急車10台	消火栓 公設3,019基 私設 191基 防火水槽 公設 526基 私設 79基

火災・救急	火災件数	出火原因	救急件数	事故種別
	58件 6.3日に1件の割合で発生	①たき火 13件 ②その他 11件 ③電灯・電話等の配線 6件	7,566件 1日あたり 20.7件	①急病 4,583件 60.6% ②一般負傷 1,129件 14.9% ③交通事故 494件 6.5%

予防	防火対象物	危険物施設	石油コンビナート関係	火薬取締法関係	自主防災組織等
	17条 4,734件 8条 1,112件	製造所 28件 貯蔵所 727件 取扱所 230件	特定事業所 7事業所	火薬庫 6件 販売所 2件 火薬庫外貯蔵所 2件 消費場所 18件	婦人消防隊 2団体 少年消防クラブ 2団体 幼年消防クラブ 9団体

岩国地区消防歌

作詞・生田恵子 / 補作詞・村井一郎 / 作曲・青木 進



みどりのみねのきりはれ
てにしきのかわはながれつ
ぐわがいわくにとちょうそん
のかさいをしずめみずふせ
ぐいわくにしゅうほうにああ
ほこらしきしめいあーりかり

岩国地区消防歌

一

緑の峯の霧晴れて
錦の川は流れつぐ
わが岩国と町村の
火災を鎮め水防ぐ
岩国地区消防に
あゝ誇らしき使命あり

二

輝く瀬戸の波清く
平和の光り射すところ
ゆたかな大地踏みしめて
今颯爽と奮い起つ
岩国地区消防に
あゝいや崇き理想あり

三

錦帯橋の名もゆかし
文化の華の咲くところ
日夜を問わず人々の
泰けき暮らし護りぬく
岩国地区消防に
あゝ完璧の備えあり

目 次

I 概 要

1. 位置、地勢、特性	1
2. 気象状況	2
3. 消防の沿革	3
4. 大火の歴史	22
5. 歴代消防長	27
6. 消防本部、消防署、出張所、機関員駐在所の分布図	28
7. 管内状況	28
8. 消防相互応援協定等締結状況	29
9. 平成30年中の主要行事	30

II 総 務

1. 組 織	33
2. 事務分掌	35
3. 予算（当初予算）	41
4. 職員の採用試験状況	42
5. 職員の配置状況	43
6. 職員の年齢構成	44
7. 職員の消防学校等入校状況	45
8. 職員免許資格取得状況	46
9. 消防音楽隊	47

III 消防施設

1. 消防庁舎の現況	49
2. 消防車両保有状況	50
3. 消防車両一覧表	51
4. 機械器具等保有状況	53
5. 消防水利の現況	55

IV 通信施設

1. 消防通信の概況	57
2. 高機能消防指令センター構成図	58
3. デジタル無線通信系統図	59
4. 月別119番受信状況	60

V 火 災

1. 火災概況	61
2. 管轄別・市町別・月別火災発生状況	63
3. 火災別・市町別・月別出火原因	65
4. 平成30年中の主な火災	66
5. 過去10年間の火災動態	66
6. 過去10年間の建物火災発生場所分類	67

VI 救 急

1. 救急概況	69
2. 管轄別・市町別・月別救急発生状況	70
3. 現場到着所要時間別出場件数	72
4. 病院収容所要時間別搬送人員	72
5. 応急手当普及啓発活動実施状況	73

VII 救 助

1. 救助概況	75
2. 救助出動・活動状況	76
3. 管轄別・市町別救助出動状況	77

VIII 予 防

1. 防火対象物の現況	79
2. 中高層建築物	81
3. 防火管理者選任状況	82
4. 防火対象物査察実施状況	83
5. 用途別消防用設備等受付事務処理状況	84
6. 用途別建築確認申請同意状況	85
7. 工事種別建築確認申請同意状況	86
8. 火災予防条例等に基づく届出状況	86
9. 火薬類取締法関係処理状況	86
10. 危険物事務処理状況	87
11. 危険物施設数及び立入検査実施状況	87
12. 危険物施設事業所数	88
13. 屋外タンク貯蔵所容量別数	88
14. 危険物施設倍数別状況	89
15. 危険物取扱者試験の実施状況	90
16. 化学消火剤備蓄状況	90
17. 広報活動等の実施状況	91
18. 幼年・少年消防クラブの現況	92
19. 婦人消防隊の現況	92

IX 消防団

1. 消防団の人員と主要装備	93
2. 消防団活動状況	94
3. 消防団員の年齢構成	95
4. 消防団員の在職年数	95
5. 消防団員年額報酬	96
6. 消防団員費用弁償	96

I 概要

1. 位置、地勢、特性

岩国地区消防組合は山口県の東端に位置し、広島・島根両県と県境を接する岩国市と玖珂郡和木町の1市1町で構成される一部事務組合である。

管内人口は約14万3千人、管轄面積は瀬戸内海沿岸部から中国山地の山懐までの約884 k m²で、山口県で2番目の広さを有している。

岩国市中心部を流れる錦川には、日本三名橋の一つである錦帯橋が架けられ、その周辺には岩国城や武家屋敷をはじめとする歴史的建造物が多数残っており、一年を通じて多くの観光客が訪れている。

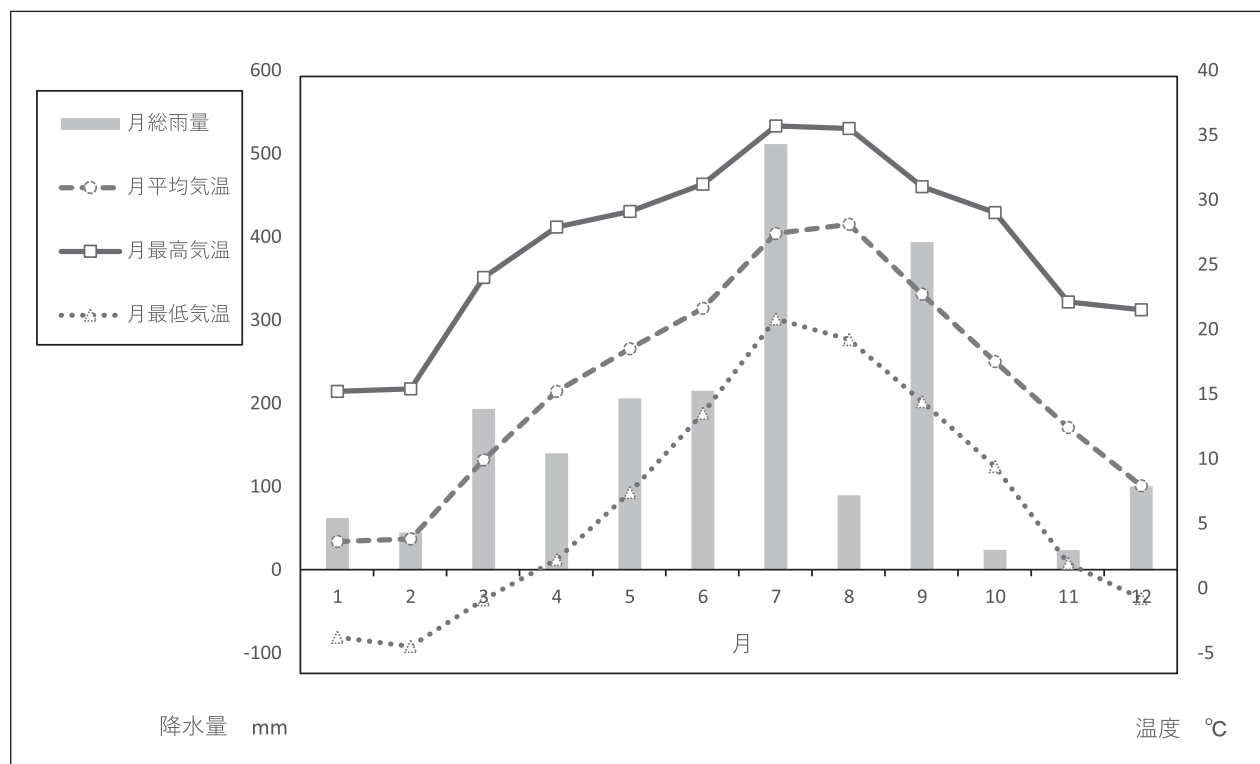
また、管内の沿岸部には広島県大竹市と連なる大規模な石油コンビナート工場群が林立、錦川下流のデルタ地帯には、アメリカ合衆国海兵隊と海上自衛隊が共用する航空基地がある。平成24年には、軍民共用空港として「岩国錦帯橋空港」が新たに開港、山口県東部の空の玄関口として多くの利用客で活況を呈している。



2. 気象状況

観測地点 消防本部庁舎屋上

月 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
風速 m/s	月 平 均 値	3.1	3.2	3	2.8	2.5	2.2	2.4	2.7	2.4	3	3.2	2.8
	月 瞬 間 最 大 風 速	23.1	20.8	31.2	19.5	29.6	22.2	22.4	18.3	19.4	24	15.3	15.3
	最 大 風 速 時 風 向	西	南西	南西	南西	西南西	南	南	南	北北西	南	南南西	西
気温 ℃	月 平 均 値	3.6	3.8	9.9	15.2	18.5	21.6	27.4	28.1	22.7	17.5	12.4	7.9
	月 最 高 値	15.2	15.4	24	27.9	29.1	31.2	35.7	35.5	31	29	22.1	21.5
	月 最 低 値	-3.8	-4.5	-0.9	2.2	7.4	13.5	20.8	19.2	14.4	9.4	1.9	-0.8
湿度 %	月 平 均 値	67.7	63.4	65.7	61.9	69.8	77.3	76	69.6	77.7	69.5	69.7	73.7
	月 最 高 値	96.1	96.1	96.3	96.3	96.9	96.6	96.9	94.9	96.1	96.1	94.9	96.3
	月 最 低 値	22.4	13.6	13.3	8.3	8.8	24.4	38	26.6	29.4	33	27.7	25.8
雨量 mm	月 総 雨 量	62	44.5	193	140	206	215	511.5	89.5	393.5	24	23.5	100
	1 日 間 最 高 値	22	38	60.5	78.5	58.5	54.5	210.5	39.5	74	9.5	16	39
	1 時 間 最 高 値	6.5	10.5	15.5	15	15	18.5	55	30.5	37.5	8	13.5	6.5
	10 分 間 最 高 値	1.5	2.5	5.5	4.5	7	8	14	14.5	25.5	2.5	6.5	3
降雨、降雪の観測日数		7	2	9	5	11	15	7	7	19	9	4	9



3. 消防の沿革

(1) 藩政時代の消防

岩国消防の歴史については、岩国の歴史とともに慶長5年（西暦1600年）関ヶ原役後、吉川広家岩国入封と同時に大きく変わって、組織だったものが出来たものと思われる。

正徳5年（西暦1715年）6代経永まで100年間の消防に関する史料については明らかでない。経永の代になり下記の様な史料が見られる。

享保4年（1719年）11. 17	出火時の心得箇条公布
享保14年（1729年）5. 27	椎尾下山県屋敷を召し上げ火の用心のため広小路とする。
元文5年（1740年）12. 10	大阪鴻池又左衛門より龍吐水を献ず
寛保2年（1742年）	火事仕組書公布

参 考

岩国旧記 30 火事仕組 寛保2年壬戌

1. 横山、錦見、川西出火の節は

御 蔵 元	昼は纏、夜は高揚挑灯
御 職 座	鳶のもの 6人用達
	用達勘定方1人小者1人付添
裏 判 方 2人	新夫 3人
	内1人 小揚燈灯持
	内1人 自分燈灯持
	内1人 手明のこと
元 〆 方 1人	挑灯持 1人
	御道具方小使 1人
勘 定 方 1人	小者新夫 1人
	夜は挑灯持 1人

2. 多田、御庄、中津、室の木、今津出火の節は

御 蔵 元	昼は纏、夜は大揚挑灯新夫1人
裏 判 方 1人	内1人 小揚燈灯持
	新夫2人内1人 道具持
元 〆 方 1人	御道具田小使1人、非番より他に夜は揚挑灯持1人
勘 定 方 1人	小者1人 夜は挑灯持1人

3. 向今津、門前、牛野谷、関戸、大内迫、池ヶ迫、柱野出火の節は

元 〆 方 1人	挑灯持1人勿論昼は不入浮役1人付添
----------	-------------------

山 方 両 人	御道具小使 1 人非番より
(注) 御 蔵 元	上記の通り候事 県政民政司法等を掌理した御役所すなわち行政府に属するもの。
御 職 座	民生財政を掌理した御蔵元の長官で行政の最高責任者、家元中老の中から選ぶ。
裏 判 方	職座の補佐40石～ 150石までの士から選ぶ 2 人又は 3 人を置く。
元 め 方	郡代に当たり諸代官の上にて在方の総轄である。40石～ 50石の士より選ぶ。
勘 定 役	理財会計の事をつかさどる。藩主の旅行および土木も又その管轄。頭 2～ 3 人以下数人の助役。
浮 役	領内巡視役 主として土木の査察。
(2) 明治初年より市制施行までの消防	
明治 4 年 (1871) 4 月	「横山、錦見、川西、万谷、千石原等出火の節防御仕組」というものが発表せられ、藩庁、乗越御門、千石原御門昌明館、治功御社、洞泉寺、学校 3 か所、その他の警固について規定。
明治 8 年 (1875) 8 月10日	義済堂非常規則を制定。 第 1 章より43章に及ぶ堂中章程によれば小頭以下20人を以って応変組なる組織を編成、出動区分も第 1 出動区域より第 3 出動区分を設定。
明治12年 (1879) 1 月	消防組条例を制定。 錦見村、岩国町の連合で消防組が県知事より許可なる。
明治18年 (1885)	消防組を助けるため、岩国町に人員40名の協力社を設ける。
明治20年 (1887) 11月	県令132号公立消防組準則により岩国消防組（人員60名）、錦見消防組（人員50名）、横山村及び川西村に連合の横川消防組（人員60名）が編成せられる。
明治21年 (1888)	今津村に消防火夫を置き消防に当たらせる。
明治22年 (1889)	市町村制施行に伴い横山、川西、平田が横山村となり横川消防組は横山消防組、岩国町と錦見村が合併して岩国消防組を編成。

明治27年（1894）	消防制度の改革。 全国的に消防制度が統一せられ、消防は警察行政の一部とすることが明示せられる。
明治29年（1896）	麻里布町消防手55名を以って消防組を置く。
明治30年（1897）	新港に消防組を置く。
明治32年（1899）	今津に消防組を置く。
明治33年（1900）	麻里布消防組を設置。 第1部新港、第2部今津の2部制とする。
明治38年（1905）	岩国町と横山村を合併、岩国消防組を編成、2部制を敷く。第1部を岩国町役場、第2部を川西共有家屋にそれぞれ本部を置く。区域第1部大字錦見、岩国（土手町を除く）第2部横山、川西、平田大字土手町 人員総数120名。
明治44年（1911）	岩国消防組4部制とし200名に増員。 麻里布消防組第1部に装束私設消防組、第2部に室の木、浦ヶ浜私設消防組をそれぞれ編入合併。
大正6年（1917）	岩国消防組5部制200名とする。
大正12年（1923）	灘村に消防組を編成。
大正14年（1925）8月	愛宕村に消防組を編成。人員47名。 小頭は尾津、門前、牛野谷より各1名選出。
大正14年（1925）	川下村中津部落に消防組を置く。
大正15年（1926）	川下村向今津部落に消防組を置く。 村内を通じ40名の消防員を養成する。
昭和3年（1928）	岩国消防組戊申消防会発足なる。 消防組員の素質並びに消防知識の向上を図り消防事務の改善発達を期するため、消防組幹部、町会長、消防後援会長らにより組織される。
昭和5年（1930）	灘村消防組3部制とする。
昭和7年（1932）	岩国町消防組5部制を本部の外5部を置き、人員総計248名とする。灘村消防組を増員。
昭和8年（1933）12月	川下村消防組を編成。 4部制とし消防員112名に増員。

(3) 市制施行より現在までの消防

時局の進展により、消防団や在郷軍人その他によって警防団が結成されていたが、昭和14年1月警防団令が發布されて、4月1日から実施となる。

昭和15年4月1日 岩国市制施行、岩国市警防団結成、岩国7部、麻里布4部、川下4部、愛宕3部、灘3部、21部制団長以下1,025名。

昭和22年4月30日 消防団令公布。

昭和22年7月5日 岩国警防団を解消、消防団を組織、5か分団総員482名。

昭和23年8月13日 消防組織法が施行され岩国市消防本部が設置される。消防長以下職員5名。

昭和26年7月25日 岩国市消防団条例制定。

昭和26年8月1日 岩国市消防署設置。消防長以下職員13名。

昭和27年3月21日 消防署に水槽付消防ポンプ自動車（錦竜号第1号車）を購入、配備。

昭和27年4月5日 西岩国に出張所を置く。

昭和27年9月2日 米軍第6418空軍連隊との間に火災、災害時の相互協定締結。

昭和27年9月22日 消防庁舎完成（旧庁舎）。火災専用電話「999」設置。

昭和28年7月11日 岩国市火災予防条例制定。

消防団条例の一部改正により次の編成を行う。

第1分団 岩 国 6部 131名

第2分団 麻里布 6部 145名

第3分団 川 下 4部 89名

第4分団 愛 宕 3部 68名

第5分団 灘 3部 73名

昭和28年10月 消防署西出張所に消防ポンプ自動車（朋竜1号車）を購入、配備。

昭和30年3月3日 岩国米軍海軍航空基地との間に火災、災害時の相互援助協定締結。

昭和30年4月1日 隣村7か村合併時の消防力は職員52名、消防団は本部、岩国、麻里布、川下、愛宕、灘、小瀬、藤河、御庄、北河内、南河内、師木野、通津の12分団、人員総数1,033人となる。消防機械は消防署が水槽付ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、消防団が消防ポンプ自動車12台、手挽ガソリンポンプ1台、手押ポンプ1台、可搬式動力ポンプ41台となった。

昭和30年 5 月 1 日	大竹市、和木村との間に消防相互応援協定締結。
昭和30年12月19日	本署 2 個分隊とし消防ポンプ自動車（飛竜第 1 号車）を購入、配置。
昭和31年 2 月23日	岩国米国海軍航空基地との間に火災、災害時の相互援助協定締結。
昭和32年 7 月16日	大洋プロパン(株)より消防団へ消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。
昭和32年12月13日	大洋プロパン(株)より消防団へ消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。
昭和33年 2 月26日	岩国米国海兵隊航空施設との間に火災、災害時の相互援助協定締結。
昭和33年 3 月 5 日	岩国市内の電話の自動化に伴い火災の通報「119番」となる。
昭和33年 4 月14日	美川町との間に消防団相互応援協定締結。
昭和33年 6 月 2 日	西出張所用竜号の代替えとして消防ポンプ自動車（天竜号第 1 号車）を購入、配備。
昭和33年12月 1 日	装束町に東出張所を開設。
昭和34年 5 月 1 日	美和町との間に消防相互応援協定締結。
昭和34年12月28日	東出張所に消防ポンプ自動車（京竜号第 1 号車）を購入、配備。
昭和35年 5 月 7 日	大竹市、和木村との間に消防相互応援協定締結。
昭和35年 5 月25日	日本損害保険協会より消防団へ消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。
昭和36年 8 月 5 日	定員改正により消防団員数を650名と改める。
昭和36年11月 1 日	柱島、麻里布分団より分離、柱島分団として独立、分団数13か分団編成とする。
昭和37年 1 月10日	ライオンズクラブより救急車の寄贈を受け本格的な救急業務を開始する。
昭和37年 9 月15日	消防庁舎完成（前庁舎）
昭和38年12月 4 日	水槽付消防ポンプ自動車（錦竜号第 2 号車）を購入、配備。
昭和40年 5 月 1 日	由宇町、玖珂町、周東町、美川町との間に消防相互応援協定締結。
昭和41年 1 月28日	ライオンズクラブ寄贈の救急車の代替えとして救急自動車を購入、配備。
昭和41年 2 月20日	大竹市との間に火災その他非常災害の防ぎょ鎮圧のための

	相互応援協定締結。
昭和41年 9 月 1 日	由宇町、玖珂町、周東町、美川町、美和町との間に消防相互応援協定締結。
昭和41年11月28日	石油コンビナート防災用として日本損害保険協会より化学車の寄贈を受ける。
昭和41年12月15日	本署配置の飛竜号の代替えとして消防ポンプ自動車（飛竜号第2号車）を購入、配備。
昭和43年 7 月 1 日	合衆国海兵隊岩国航空基地との間に火災、災害時における相互援助協定締結。
昭和44年 3 月 4 日	西出張所天竜号の代替えとして消防ポンプ自動車（天竜号第2号車）を購入、配備。
昭和44年12月25日	東出張所京竜号の代替えとして消防ポンプ自動車（京竜号第2号車）を購入、配備。
昭和45年12月 1 日	岩国海上保安署との間に消防相互応援協定、救急業務に関する申合わせを締結。
昭和46年 4 月 1 日	消防現有勢力の内人員は職員数74名、団員数650名、消防機械器具は消防署水槽付消防ポンプ自動車1台、化学消防自動車 1 台、消防ポンプ自動車4台、可搬式動力ポンプ1台、救急車 1 台、消防団消防ポンプ自動車 9 台、可搬式動力ポンプ59台、可搬式運搬車18台となる。
昭和46年 5 月 7 日	大竹市との間に火災その他非常災害の防ぎょ鎮圧のための相互応援協定締結。
昭和46年12月 1 日	1 本部、1 署、2 出張所、職員74名、消防団13か分団。
昭和48年 3 月31日	職員定数84名。
昭和48年 4 月 1 日	広域行政圏岩国地区消防組合設立。消防長事務部局の職員定数158名（実員105名）、西消防署、東出張所、南出張所、玖西出張所、玖北第1出張所、玖北第2出張所庁舎建設。屈折はしご付消防ポンプ自動車 1 台（旭竜号第1号車）、水槽付消防ポンプ自動車 1 台（臥竜号第1号車）、消防ポンプ自動車 2 台（海竜号第1号車、清竜号第1号車）、救急車 5 台、査察兼広報車 3 台、指揮車 1 台、司令車 1 台、小型動力ポンプ 6 台購入。
昭和48年11月30日	岩国地区消防組合及び消防組合を構成する市町村により岩国地区消防連絡協議会を設立。

昭和49年 3 月25日	日本自動車工業会より救急車の寄贈を受け、玖北第2出張所へ配備。
昭和49年 4 月 1 日	岩国地区消防組合全面業務開始。 1 本部、2 署、5 出張所、職員数152名。
昭和49年 7 月 1 日	職員数158名。
昭和49年 8 月24日	特殊放射砲車、県より配備を受ける。
昭和49年 8 月30日	日本船舶振興会より救急車の寄贈を受け、中央消防署へ配備。
昭和50年 3 月22日	林野火災工作車を林野火災特別対策事業に基づき購入し、西消防署へ配備。
昭和50年 4 月 1 日	錦竜の代替えとして水槽付消防ポンプ自動車（錦竜号第3号車）を購入し、中央消防署へ配備。
昭和50年 5 月 6 日	日本損害保険協会より化学消防ポンプ自動車の寄贈決定。
昭和50年12月 6 日	中央消防署に岩国消防特科隊（レンジャー隊）を編成、救助活動を開始した。
昭和51年 3 月26日	日本損害保険協会より化学消防ポンプ自動車の寄贈を受け、中央消防署東出張所へ配備。
昭和52年 2 月17日	飛竜の代替えとして消防ポンプ自動車（飛竜号第3号車）を購入し、中央消防署に配備。
昭和52年 4 月 1 日	職員定数条例の改正により消防長事務部局の職員定数160名（実員159名）。
昭和52年 5 月31日	査察兼広報車を購入し、中央消防署東出張所、南出張所、西消防署玖西出張所、玖北第1出張所、玖北第2出張所に配備。
昭和53年 1 月21日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、西消防署へ配備。
昭和53年 2 月 1 日	山口県下石油コンビナートを擁する都市間（岩国地区消防組合、下松市、徳山市、新南陽市、宇部市、小野田市、下関地区広域行政事務組合）において、石油コンビナート等特別防災区域に係る消防相互応援協定締結。
昭和53年 6 月 1 日	岩国地区消防組合構成市町村（岩国市、和木町、由宇町、玖珂町、本郷村、周東町、錦町、美川町及び美和町）間において、消防相互応援協定締結。
昭和53年10月 1 日	三瀬川婦人消防隊結成。

昭和53年11月 1 日	岩国地区消防組合消防庁舎の完成に伴い開庁式を挙行了た。(今津庁舎)
昭和53年11月10日	消防庁舎竣工式を挙行政。
昭和53年11月15日	火災時の問い合わせに答えるためテレホンサービス業務(24-1000)を10回線で開始した。
昭和53年11月30日	本部連絡車購入、総務課へ配備。
昭和53年12月14日	山口県生命建物共済農協連より救急車の寄贈を受け、南出張所へ配備。
昭和54年 4 月 1 日	職員定数条例の改正により消防長事務部局の職員定数180名(実員170名)。
昭和54年 4 月16日	岩国地区消防音楽隊を編成(33名)、訓練を開始する。
昭和54年 8 月20日	救急車の予備車を改造し、16名乗りの人員輸送車として、消防本部へ配備。
昭和54年 8 月31日	西消防署天竜号の代替えとして普通消防ポンプ自動車(天竜号第3号車)を購入し、配備。
昭和54年11月16日	西消防署玖北第1出張所へ消防ポンプ自動車(北竜号第1号車)を購入、配備。
昭和54年11月29日	石油コンビナート防災対策用として、大型高所放水車(30Mはしご付)、大型化学車、泡原液搬送車からなる3点セットを購入し、中央消防署へ配備。
昭和55年 5 月20日	資器材搬送車を購入し、消防本部へ配備。
昭和55年 8 月 7 日	牛野谷少年消防クラブ結成。
昭和55年11月19日	救急車の更新分として2台購入し、中央消防署、玖北第2出張所へ配備。
昭和55年11月23日	桧余地婦人消防隊結成。
昭和55年12月26日	岩国錦水ホテル互助会より消防音楽隊制服並びに人工呼吸訓練用レコーディングレサシアン(ノルウェー製)の寄贈を受けた。
昭和56年 2 月12日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、玖北第1出張所へ配備。
昭和56年 3 月26日	中央消防署東出張所京竜号の代替えとして消防ポンプ自動車(京竜号第3号車)を購入し、配備。
昭和56年 4 月 1 日	職員数168名。 門前少年消防クラブ結成。

	通津消防少年団結成。
昭和56年 9 月17日	救急車の更新分として購入し、中央消防署東出張所へ配備。
昭和56年11月24日	昭和26年 8 月 1 日岩国市消防署設置以来30周年目にあたるのを記念して、市民館大ホールにおいて「岩国地区常備消防発足30周年記念式典」を挙行、約500名が参列、消防協力者として個人 6 名、企業5社を表彰した。また、式典席上歌詞を管内住民から公募して制定した生田恵子作詞、村井一郎補作詞、青木進作曲による「岩国地区消防歌」を消防音楽隊の演奏と合唱により初披露した。
昭和56年11月27日	救急車の更新分を購入し、西消防署玖西出張所へ配備。
昭和57年 4 月 1 日	職員数167名。
昭和57年10月25日	指令車の更新分を購入し、西消防署へ配備。 人員輸送車の更新分としてマイクロバス（26人乗り）を購入し、消防救急課へ配備。
昭和57年12月 2 日	灘幼稚園幼児消防クラブ結成。
昭和58年 1 月26日	アメリカ合衆国海兵隊岩国航空基地との間に、岩国市と合同で火災、災害時の消防相互援助協定締結。
昭和58年 3 月 6 日	岩国市民会館において「第 1 回地域住民と消防の集い」開催。消防救助訓練、職員体験意見発表、消防音楽隊定期演奏 職員演芸。参観者約1,100名。
昭和58年 3 月26日	中央消防署南岩国分遣所庁舎竣工。
昭和58年 3 月29日	愛宕少年消防クラブ結成。
昭和58年 5 月20日	岩国錦ライオンズクラブから潜水用具 2 式を受納、中央消防署へ配備。
昭和58年 7 月 1 日	通津婦人消防隊結成。
昭和58年 8 月27日	柱島婦人消防隊、黒島婦人消防隊結成。
昭和58年10月20日	あさひ保育園幼年消防クラブ結成。
昭和58年12月11日	由宇町婦人消防隊結成。
昭和59年 3 月 4 日	岩国市民会館において「第 2 回地域住民と消防の集い」開催。参観者約700名。
昭和59年 3 月30日	救助工作車を購入し、中央消防署へ配備。
昭和59年 4 月 1 日	職員数171名。
昭和59年 6 月15日	水難救助潜水隊が編成され、救助活動を開始した。
昭和59年 7 月18日	査察車兼広報車の更新分を購入し、西消防署へ配備。

昭和59年 8 月 1 日	事務改善研究会発足。
昭和59年 9 月20日	財団法人日本消防協会より電源照明車の寄贈を受け、西消防署へ配備。
昭和59年10月31日	職員定年条例が制定され、昭和60年 3 月31日より施行。
昭和59年12月 1 日	広域圏内常備消防力充実整備計画に基づき、玖北第2出張所に消防ポンプ自動車（第2北竜号第1号車）配備。
昭和59年12月 5 日	財団法人日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け、予防課へ配備。
昭和59年12月25日	錦竜の代替えとして水槽付消防ポンプ自動車（錦竜号第4号車）を購入し、中央消防署へ配備。
昭和60年 3 月 3 日	岩国市民会館において「第3回地域住民と消防の集い」開催。参観者数約1,100名。
昭和60年 4 月 1 日	職員数171名。
昭和60年 6 月19日	美和町内119番玖北第2出張所に移設。
昭和60年 7 月11日	圧縮空気充てん設備設置、運転開始。
昭和60年10月21日	本郷村、錦町、美川町内119番玖北第1出張所に移設。
昭和60年11月 3 日	消防職員OBとして錦生利介氏初の一類叙勲を受賞。
昭和60年12月 1 日	広域圏内常備消防力充実整備計画（第2年次）に基づき、西消防署玖北第1出張所錦機関員駐在所庁舎竣工、消防ポンプ自動車（第3北竜第1号車）配備。
昭和60年12月25日	南岩国分遣所南竜号の代替えとして消防ポンプ自動車（南竜号第2号車）を購入し、配備。
昭和60年12月28日	ミニはしご消防車（ミニ昇竜）職員の手で誕生。
昭和61年 2 月25日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、西消防署へ配備。
昭和61年 3 月 2 日	岩国市民会館において「第4回地域住民と消防の集い」開催。参観者約1,000名。
昭和61年 4 月 1 日	職員数175名。
昭和61年12月 1 日	広域圏内常備消防力充実整備計画（第3年次）に基づき、西消防署玖西出張所玖珂機関員駐在所庁舎竣工、消防ポンプ自動車（第2清竜号第1号車）配備。
昭和61年12月25日	西消防署臥竜号の代替えとして水槽付消防ポンプ自動車（臥竜号第2号車）を購入し、配備。
昭和62年 1 月31日	指揮車の更新分を購入し、消防本部へ配備。

昭和62年 3 月 1 日	岩国市民会館において「第 5 回地域住民と消防の集い」開催。参観者1,350名。
昭和62年 3 月27日	玖珂中央幼稚園幼年消防クラブ誕生。
昭和62年 4 月 1 日	職員数177名。
昭和62年 6 月24日	坂上保育所幼年消防クラブ誕生。
昭和62年 7 月 3 日	美和保育所幼年消防クラブ誕生。
昭和62年11月20日	岩国錦ライオンズクラブより潜水器具の寄贈を受け、中央消防署へ配備。
昭和62年12月 1 日	広域圏内常備消防力充実整備計画（最終年度）に基づき、西消防署玖北第 2 出張所本郷機関員駐在所庁舎竣工、消防ポンプ自動車（郷竜号第 1 号車）配備。
昭和62年12月16日	玖西出張所清竜号の代替えとして消防ポンプ自動車（清竜号第 2 号車）を購入し、配備。
昭和63年 3 月 6 日	岩国市民会館において「第 6 回地域住民と消防の集い」開催。参観者1,300名。
昭和63年 3 月23日	大竹市との間に、山陽自動車道における消防相互応援協定締結。
昭和63年 3 月30日	中央消防署救助救出訓練塔設置。
昭和63年 4 月 1 日	職員数177名。
昭和63年 4 月 8 日	大竹市、岩国市、和木町、美和町との間において、消防相互応援協定締結。
昭和63年10月25日	岩国市より資器材搬送車の所管替を受け、消防本部へ配備。
昭和63年11月12日	岩国南幼稚園幼年消防クラブ誕生。
昭和63年12月27日	南出張所海竜号の代替えとして消防ポンプ自動車（海竜号第 2 号車）を購入し、配備。
平成元年 1 月25日	山之内製薬株式会社より救急車の寄贈を受け、中央消防署へ配備。
平成元年 3 月 5 日	岩国市民会館において「第 7 回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約1,380名。
平成元年 4 月 1 日	職員数177名。
平成元年 6 月 6 日	西消防署救助救出訓練塔設置。
平成元年12月 1 日	阿品婦人消防隊結成。
平成 2 年 2 月23日	国際ソロプチミスト岩国より救急車の寄贈を受け、中央消防署へ配備。

平成2年3月4日	岩国市民会館において「第8回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約1,450名。
平成2年3月26日	岩国桜ライオンズクラブより救急車の寄贈を受け、西消防署へ配備。
平成2年3月28日	東出張所化学車の代替えとして化学消防ポンプ自動車（第3号車）を購入、配備。
平成2年4月1日	職員数177名。
平成2年8月2日	岩国錦ライオンズクラブより潜水業務用資器材の寄贈を受け、中央消防署へ配備。
平成2年12月19日	中央消防署飛竜号の代替えとして消防ポンプ自動車（飛竜号第4号車）を購入、配備。
平成3年2月25日	更新分として救急車を購入し、西消防署玖北第2出張所へ配備。
平成3年4月1日	職員数174名。
平成3年6月1日	火災救急専用ファクシミリを設置し、運用を開始。
平成3年10月24日	中央消防署昇竜号の代替えとしてはしご車兼用大型高所放水車（昇竜号第2号車）を購入し、配備。
平成3年12月24日	西消防署天竜号の代替えとして消防ポンプ自動車（天竜号第4号車）を購入し、配備。
平成4年3月1日	岩国市民会館において「第9回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約1,140名。
平成4年3月31日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、西消防署玖北第1出張所に配属。
平成4年4月1日	職員数178名。
平成4年5月22日	更新分として指令車を購入し、中央消防署へ配備。更新分として指令兼広報車を購入し、中央消防署東出張所及び南出張所、西消防署玖西出張所、玖北第1出張所及び玖北第2出張所へ配備。
平成4年12月10日	西消防署玖北第1出張所北竜号の代替えとして消防ポンプ自動車（北竜号第2号車）を購入し、配備。
平成5年2月28日	岩国市民会館において「第10回地域のみなさんと消防のつどい」開催。消防救助訓練、消防音楽隊定期演奏、地域住民と消防職員による演芸。参観者約1,120名。
平成5年3月31日	社団法人日本自動車工業会より救急車の寄贈を受け、中央

	消防署東出張所に配備。
平成5年4月1日	職員数177名。
平成5年7月15日	職員定数条例の改正により消防長事務部局の職員定数196名。(実員177名)
平成5年9月9日	救急高度化に伴う救急資器材(8項目)を中央消防署に配備。
平成5年10月1日	財団法人日本消防協会より救急車の寄贈を受け、中央消防署南岩国分遣所に配備。
平成6年2月24日	ミニ救急車職員の手で誕生。
平成6年3月6日	岩国市民会館において「第11回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約1,150名。
平成6年3月23日	中央消防署東出張所京竜号の代替えとして消防ポンプ自動車(京竜号第4号車)を購入し、配備。
平成6年3月31日	社団法人日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈を受け、中央消防署へ配備。
平成6年4月1日	職員数187名。
平成6年7月1日	救急高度化に伴う救急資器材(8項目)を西消防署へ配備。
平成6年12月15日	高度救命処置用資器材を中央消防署に配備し、救急救命士による高度救急業務を開始。
平成7年1月17日	阪神・淡路大震災による被災者の救急・救助のため、救急車1台及び職員4名を山口県災害派遣隊として神戸市へ派遣。
平成7年3月14日	救急車の更新分を購入し、救急高度化に伴う救急資器材(8項目)を装備し、西消防署玖西出張所へ配備。
平成7年4月1日	職員数195名。
平成7年6月16日	錦ライオンズクラブより水中無線機一式の寄贈を受け、中央消防署へ配備。
平成8年3月2日	岩国市民会館において「第12回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約800名。
平成8年3月14日	高度救命処置用資器材を東出張所、南出張所、玖北第1出張所及び玖北第2出張所へ配備。
平成8年3月15日	S・K車の更新として、15m級梯子付消防ポンプ車を中央消防署へ配備。
	救助活動用資器材として、化学防護服4着、300k型空気

	呼吸器4体を、中央署、西署へ2体ずつ配備。携帯型ガス検知器1台を中央消防署へ配備。また中央消防署救助用ゴムボートを更新。
平成8年4月1日	職員数194名。
平成8年8月8日	錦ライオンズクラブより水上スクーター及びドライスーツ等の寄贈を受け、中央消防署へ配備。
平成9年4月1日	職員数191名。 本部機構改革。広域整備対策室を廃止、消防救急課の名称を改め警防課とし、通信指令課を設置。
平成9年4月15日	緊急通信指令システムの導入に伴い管内119番受信の集中管理を実施。
平成9年10月17日	錦ライオンズクラブより船外機及びドライスーツ等の寄贈を受け、中央消防署へ配備。
平成9年10月23日	西消防署 指令車を更新し、配備。
平成9年11月19日	西消防署 玖北第2出張所第2北竜の代替えとしてC D - I 型水槽付消防ポンプ車(第2北竜第2号車)を購入し配備。
平成10年3月1日	岩国市民会館において「第13回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約670名。
平成10年4月1日	職員数194名。
平成10年6月15日	消防本部予防課に防火相談所を開設。 「防火相談・安心ダイヤル」の名称でフリーダイヤル(0120-588-119)を設置。
平成10年10月6日	多目的搬送車を新規導入し、中央消防署へ配備。
平成11年3月1日	岩国市民会館において「第14回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約680名。
平成11年3月30日	中央消防署 大型化学車を更新し、配備。
平成11年3月31日	財団法人日本消防協会より救急車の寄贈を受け、西消防署に配備。
平成11年4月1日	職員定数条例の改正により消防長事務部局の職員定数197名(実員197名)。うち女性消防官2名を採用。本部指令車及び西署査察兼広報車を更新し、配備。
平成11年10月18日	
平成12年2月21日	高規格救急自動車を新規導入し、玖北第1出張所に更新し、配備。
平成12年2月25日	岩国桜ライオンズクラブより応急手当普及推進車の寄贈を

	受け、警防課へ配備。
平成12年 3 月 5 日	岩国市民会館において「第15回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約800名。
平成12年 3 月 9 日	中央消防署 救助工作車（Ⅱ型）を更新し、配備。
平成12年 3 月23日	国際ソロプチミスト岩国より救急車の寄贈を受け、南岩国分遣所へ配備。
平成12年 4 月 1 日	職員数197名。
平成12年12月 8 日	中央消防署 泡原液搬送車を更新し、配備。
平成13年 2 月 6 日	西消防署玖北第 2 出張所救急車を更新し、配備。
平成13年 3 月 4 日	岩国市民会館において「第16回地域のみなさんと消防のつどい」開催。参観者約800名。
平成13年 3 月23日	山手総合訓練場安全祈願祭・使用開始式。
平成13年 3 月29日	中央消防署南岩国分遣所南竜号の代替えとして消防ポンプ自動車（南竜号第 3 号車）を更新し、配備。
平成13年 4 月 1 日	職員数195名。
平成13年11月 4 日	南岩国ショッピングセンター駐車場において、「消防フェスタ2001」を開催。消防音楽隊演奏・幼年消防クラブ演技、地域住民参加によるゲーム及び消火訓練。参加者約400名。
平成14年 1 月18日	社団法人日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け西消防署玖北第 1 出張所錦機関員駐在所に更新配備。
平成14年 1 月22日	西消防署水槽付消防ポンプ自動車（臥竜号第 3 号）を更新し配備。
平成14年 2 月 1 日	庁内 L A N の導入配備。
平成14年 4 月 1 日	職員定数条例の改正により消防長事務部局の職員定数202名（実員196名）。
平成14年10月15日	和木幼稚園幼年消防クラブ結成。
平成14年11月 3 日	和木町和木中学校グラウンドにおいて、「消防フェスタ2002」を開催。参加者約400名。
平成15年 4 月 1 日	職員数198名。
平成15年 8 月 1 日	e メール119番運用開始。
平成15年10月 1 日	ひろせ保育所幼年消防クラブ結成。
平成15年11月16日	錦町広瀬高等学校グラウンドにおいて、「消防フェスタ2003」を開催。参加者約500名。
平成15年12月 4 日	中央消防署南出張所（海竜号 3 号車）及び西消防署玖西出

	張所（清竜号第3号車）消防ポンプ自動車を更新配備するとともに、中央消防署東出張所に高規格救急自動車を配備。
平成16年4月1日	職員数198名。
平成16年4月12日	西消防署玖西出張所に高規格救急自動車を配備。
平成16年8月1日	加入電話をダイヤルイン方式に移行。
平成16年9月1日	消防音楽隊に岩国市職員7名入隊。
平成16年9月1日	由宇保育園幼年消防クラブ結成。
平成16年11月7日	南桑小中学校共用グラウンドにおいて、「消防フェスタ2004」を開催。参加者約500名。
平成16年12月1日	中央消防署高規格救急自動車を更新配備し、中央消防署南出張所に高規格救急自動車を配備。
平成17年2月16日	社団法人日本損害保険協会より高規格救急自動車の寄贈を受け西消防署に更新配備。
平成17年4月1日	職員数199名。
平成17年11月2日	周東幼稚園幼年消防クラブ結成。
平成17年12月19日	西消防署消防ポンプ自動車（天竜号）を更新配備。
平成18年1月20日	防火対象物管理システムの導入。
平成18年3月6日	（財）日本消防協会より指令車の交付を受け中央消防署に配備。
平成18年3月20日	組合構成市町村の内和木町を除く岩国市・由宇町・玖珂町・本郷村・周東町・錦町・美川町・美和町の合併により新「岩国市」が誕生。1市1町の枠組みとなる。
平成18年4月1日	職員数198名。
平成18年8月21日	西消防署玖西出張所・玖北第1出張所・玖北第2出張所に指令兼広報車を更新配備。
平成18年9月8日	予防課に防火広報車を更新配備。
平成18年10月31日	西消防署玖西出張所玖珂機関員駐在所消防ポンプ自動車（第2清竜号第2号車）更新配備。
平成19年3月26日	西消防署玖北第2出張所に高規格救急自動車を配備。
平成19年4月1日	職員定数条例の改正により消防長事務部局の職員定数216名（実員201名）。
平成19年7月9日	中央消防署東出張所・南出張所に指令兼広報車を更新配備。
平成19年10月23日	西消防署玖北第2出張所本郷機関員駐在所消防ポンプ自動車（郷竜号第2号車）を更新配備。

平成19年11月27日	中央消防署南岩国分遣所に高規格救急自動車を配備。
平成20年 4 月 1 日	再任用制度を開始した。 職員数207名。
平成21年 2 月 2 日	中央消防署東出張所に消防ポンプ自動車(京竜号第5号車)を更新配備。
平成21年 4 月 1 日	職員数212名。
平成21年11月 3 日	横山吉香公園において、「消防フェスタ2009」を開催。参加者約2,000名。
平成21年12月21日	西消防署玖北第1出張所に消防ポンプ自動車(北竜号第3号車)を更新配備。
平成22年 4 月 1 日	職員数205名。
平成22年 7 月15日	山陽小野田市・下関市等において発生した大雨災害の被災者救助のため、山口県内広域消防相互応援協定に基づき、現地へ水難救助潜水隊を派遣。
平成22年10月 3 日	美川町小川、美川グラウンドにおいて、「消防フェスタ2010」を開催。参加者約300名。
平成23年 1 月18日	消防本部警防課へ資機材搬送車を更新配備。
平成23年 2 月 4 日	ISO対応上下型防火衣が全職員に貸与された。
平成23年 2 月 9 日	西消防署玖北第1出張所に高規格救急自動車を更新配備。
平成23年 3 月 4 日	(財)日本消防協会より指令車の交付を受け西消防署に配備。
平成23年 3 月 7 日	中央消防署東出張所に化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)(第4号車)を更新配備。
平成23年 3 月14日	東日本大震災による被災地(石巻市)に、山口県緊急消防援助隊として消火小隊1隊、救急小隊1隊、及び後方支援小隊1隊を派遣。
平成23年 4 月 1 日	職員数206名。
平成23年10月30日	美和町黒沢グラウンドにおいて、「消防フェスタ2011」を開催。参加者約500名。
平成24年 4 月 1 日	職員数210名。
平成24年 6 月20日	空気呼吸器用面体が現場活動に従事する隊員全員に個人貸与された。
平成24年11月18日	玖珂町、玖珂機関員駐在所前において、「消防フェスタ2012」を開催。参加者約700名。
平成25年 2 月21日	中央消防署に消防ポンプ自動車(飛竜号第5号車)を、西

	消防署玖西出張所に高規格救急自動車を更新配備。
平成25年 4 月 1 日	職員数214名。
平成25年 6 月24日	傷害事件現場等で起こりうる隊員の受傷を防止するための「防刃ベスト」を各高規格救急自動車に配備。
平成25年 6 月26日	感染防止対策としてオゾン水を利用する「オゾン水発生機器」を各署所に配備。
平成26年 3 月 8 日	周東パストラルホールで「消防フェスタ2013」を開催。参加者約180名。
平成26年 3 月26日	玖北第一出張所錦機関員駐在所落成式
平成26年 4 月 1 日	職員数213名。
平成26年11月 9 日	岩国市役所前で「消防フェスタ2014」を開催。
平成27年 2 月23日	中央消防署に40m級梯子付消防ポンプ自動車を、玖北第二出張所に消防ポンプ自動車を更新配備。
平成27年 3 月15日	岩国桜ライオンズクラブよりドライスーツ 4 式の寄贈を受け、中央消防署へ配備。
平成27年 4 月 1 日	職員数216名。
平成27年 8 月 1 日	警防課に応急手当推進車を更新配備。
平成28年 2 月18日	南出張所及び西消防署に高規格救急自動車を更新配備。
平成28年 3 月 1 日	消防本部・中央消防署・南岩国分遣所・西消防署が統合移転し、新庁舎「いわくに消防防災センター」が運用開始。組織の変革が行われ、新たに指揮隊を編成。
平成28年 3 月17日	中央消防署に査察兼広報車を更新配備。
平成28年 3 月25日	中央消防署に指揮隊車を新たに配備。
平成28年 4 月 1 日	職員数214名。
平成28年 4 月16日	熊本地震の被災地に、山口県緊急消防援助隊として消火小隊 3 隊、救急小隊 2 隊及び後方支援小隊 1 隊を派遣。
平成28年11月 5 日	いわくに消防防災センターで「救急フェアin2016」を開催。参加者400名。
平成29年 4 月 1 日	職員定数条例の改正により消防長事務部局の職員定数230名（実員214名）。
平成29年 7 月 6 日	「平成29年 7 月九州北部豪雨」の被災地に、山口県緊急消防援助隊として消火小隊 1 隊、救急小隊 1 隊、後方支援小隊 1 隊を派遣。
平成29年 8 月28日	岩国、柳井、光 3 地区の各消防組合と広島市消防局が消防

	相互応援協定を締結。
平成29年 9 月 8 日	玖北第 2 出張所に高規格救急自動車を更新配備。
平成29年11月12日	岩国市地方卸売市場において「消防フェスタ2017」を開催。 参加者400名。
平成29年12月25日	中央消防署に15m級はしご付き消防ポンプ自動車を、錦機 関員駐在所に消防ポンプ自動車を更新配備。
平成30年 7 月 6 日	「平成30年 7 月豪雨」の被災地に、山口県緊急消防援助隊 として消火小隊 1 隊、後方支援小隊 1 隊を派遣。
平成30年 8 月23日	中央消防署に高規格救急自動車を更新配備。
平成30年11月11日	シンフォニア岩国において「消防フェスタ2018」を開催。 参加者500名。

4. 大火の歴史

岩 国 市

(1) 広家岩国移封後の大火

年 号	西 暦	月 日	藩 主	場 所 及 び 程 度
承応 元年	1652	8. 6	2代広正	川西の大火
〃 3 年	1654	12.19	〃	錦見の大火229軒焼失、町家の残るもの30軒余り
寛文 8 年	1668	12. 24	3代広嘉	錦見鉄砲小路火災42軒焼失
延宝 3 年	1675	1.29	〃	今津船頭町火災42軒焼失
貞享 3 年	1686	11.14	4代広紀	錦見鉄砲小路長久路小路96軒焼失
〃 4 年	1687	12.24	〃	柱野大火40軒焼失
元禄 3 年	1690	1.24	〃	通津浦火事
〃 4 年	1691	11.26	〃	多田村35軒焼失
〃 9 年	1696	2.24	〃	千石原火事多田共に50軒焼失
〃 16年	1703	6.4	5代広達	今津大火119軒焼失
宝永 2 年	1705	8.16	〃	川西の火事84軒焼失
〃 3 年	1706	8.26	〃	和木村火事30軒焼失
〃 6 年	1709	8.14	〃	今津新小路16軒焼失
〃 7 年	1710	9.27	〃	今津川口火事75軒焼失
正徳 元年	1711	12.10	〃	錦見鉄砲小路より出火散畠延焼135軒焼失
〃 2 年	1712		〃	今津川口番所焼失
享保 元年	1716	5.15	6代経永	今津火災15軒焼失
〃 〃	〃	6.2	〃	多田八幡焼失
〃 2 年	1717	12.27	〃	川西沖原火災12軒焼失
〃 〃	〃		〃	旧玖珂町本郷市（現在の本町）ことごとく焼失、代官所、明覚寺類焼
〃 3 年	1718	12. 3	〃	川西火災33軒焼失
〃 5 年	1720	4. 5	〃	寺谷了岳院焼失、この頃洞泉寺附近よりたびたび出火
〃 10年	1725	7.5	〃	錦見火事家中屋敷90軒、豆腐町、魚町、町家60軒、西福寺、長久寺、本能寺焼失
〃 12年	1727	9.27	〃	錦見椎尾宮下より出火
〃 17年	1732	2. 5	〃	川西の火事、家中38軒、町方65軒、地方30軒焼失
〃 〃	〃	10. 7	〃	関戸火事40軒焼失
〃 〃	〃	11. 9	〃	川西火事、家中22軒、町方30軒、地方15軒焼失
〃 〃	〃	12.18	〃	今津火事、茶屋、川口役所、家中24軒、町方60軒、地方11軒焼失
〃 18年	1733	2.23	〃	御庄市火事23軒焼失
〃 〃	〃		〃	中津火事小家56軒焼失

年 号	西 暦	月 日	藩 主	場 所 及 び 程 度
享保 19年	1734	11.28	6代経永	錦見鉄砲小路火災10軒焼失
天文 2年	1737	10. 8	〃	錦見散島火災12軒焼失
寛保 2年	1742	4.15	〃	多田村火事28軒、通津村火事10軒焼失
〃 3年	1743	3. 5	〃	門前光福寺火災、民家 2 軒類焼
〃 〃	〃	4.	〃	人家50戸焼失（旧玖珂町）
〃 〃	〃	4.15	〃	多田火事諏訪神社外25軒焼失
延享 元年	1744	11.19	〃	向今津火災19軒焼失
寛延 元年	1748	8.22	〃	牛野谷愛宕社焼失
〃 2年	1749	2. 1	〃	関戸市62軒焼失
〃 3年	1750	10. 6	〃	錦見龍小路火事称念寺 8 軒焼失
宝歴 5年	1755	11.12	〃	横山 6 軒焼失
〃 11年	1761	2. 1	〃	関戸火事53軒焼失
〃 13年	1763	11.28	〃	向今津10数軒焼失
明和 3年	1766	12. 2	7代経倫	川西の火事、家中 5 軒、町方18軒、地方32軒焼失
〃 5年	1768	3.27	〃	紙蔵算用所火事
〃 〃	〃	10. 6	〃	錦見山北の松屋寺焼失
〃 6年	1769	12.24	〃	川西火事家中 3 軒焼失
〃 7年	1770	3. 8	〃	御庄村火事52軒焼失
安永 2年	1773	3.19	〃	川西火事、白岑院、観音院、現養院、蔵長屋など39戸焼失
〃 8年	1779	4. 6	〃	関戸73軒焼失
〃 9年	1780	1.6	〃	川西の火事22軒焼失
〃 〃	〃	8.19	〃	錦見火事、金正院及家中12軒、柳井町、米屋町27軒焼失
天明 4年	1784	3. 9	〃	錦見火事、国清類焼数軒、この頃放火類々
寛政 2年	1790	3.7	〃	青木三軒屋火事
〃 3年	1791	12.28	〃	錦見新小路火事12軒焼失
〃 12年	1800	10.28	8代経忠	川西姉ヶ山火事10軒焼失
享和 2年	1802	4.4	〃	錦見新道 4 軒焼失
文化 2年	1805	10.24	9代経賢	今津大応寺焼失
〃 3年	1806	6.21	〃	中津火事16軒焼失
〃 6年	1807	12.19	〃	錦見ねんねこ谷の松屋寺焼失、尾津火事 5 軒焼失
〃 7年	1810	12.26	10代経礼	錦見橋本町 4 軒焼失
〃 8年	1811	3.27	〃	尾津村 5 軒焼失
〃 14年	1817	1.14	〃	川下の疱瘡柱付近火事 4 軒焼失
〃 〃	〃	12.18	〃	東村火事48軒焼失、牛屋15軒焼失
文政 2年	1819	8.30	〃	港火事 5 軒焼失

年 号	西 暦	月 日	藩 主	場 所 及 び 程 度
文政 3 年	1820	10.28	10代経礼	浦ヶ浜100余軒焼失
〃 9 年	1826	11.19	〃	車村火事20余軒焼失
〃 〃	〃	11.26	〃	通津の浦火事50余軒焼失
〃 10年	1827	10. 6	〃	錦見小道火事12軒焼失
天保 7 年	1836	2.20	〃	蔵元屋火事作事同屋敷類焼
寛永 4 年	1851	10.25	12代経幹	木向頭辺火事36軒焼失
〃 5 年	1852	9.30	〃	河原40数軒焼失
安政 2 年	1855	3.25	〃	黒磯火事20軒焼失
文久 2 年	1862	7.16	〃	中津村堀川より出火200余軒焼失
〃 3 年	1863	12.29	〃	浦ヶ浜火事120軒焼失
慶応 2 年	1866	1.28	〃	養老館焼失
明治 元年	1868	4.	13代経健	向今津火事、清誓寺焼失
〃 2 年	1869		〃	岩国登富町火事正覚寺焼失

(2) 明治廃藩置県以後の大火

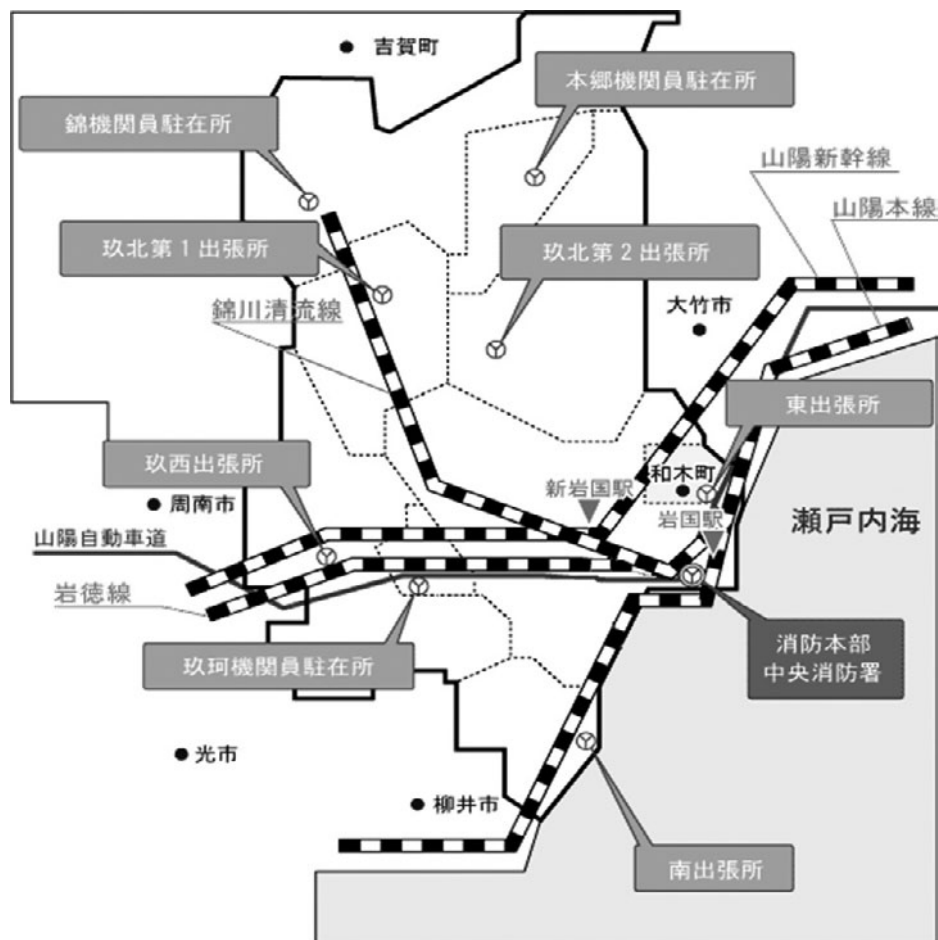
年 号	西 暦	月 日	場 所 及 び 程 度
明 治 23年	1890	10.26	横山白山神社の大火
〃 32年	1899	3.24	追原部落61戸全焼、死者3名（旧本郷村）
大 正 12年	1923	1. 6	銀座劇場焼失
〃 13年	1924	7.19	義済堂出火
昭 和 2 年	1927	2. 2	浦ヶ浜大火110戸焼失
〃 9 年	1934	4.15	柱島大火36戸焼失
〃 15年	1940	1.14	欽明路で山林4町歩、欽明寺及び民家5戸を焼失（旧玖珂町）
〃 〃	〃	12.	高森警察署全焼（旧周東町）
〃 20年	1945	5.10	陸軍燃料廠、興亜石油被爆
〃 〃	〃	7.27	尾津11空廠被爆
〃 〃	〃	8. 9	海軍航空隊被爆
〃 〃	〃	8.14	岩国駅付近一帯被爆全壊343戸、負傷859人、死者517人、行方不明130人
〃 22年	1947	7.13	岩国駅全焼
〃 〃	〃		阿山下で4軒焼失（旧玖珂町）
〃 25年	1950	3. 6	岩国セントラル名画劇場全焼
〃 26年	1951	12.	高森小学校全焼（旧周東町）
〃 27年	1952	2.18	藤生字青木火災10戸全焼
〃 28年	1953	3.25	藤生黒磯火災9戸全焼
〃 〃	〃	7.	中山山林火災（旧周東町）
〃 31年	1956	2.20	坂上駄床7戸全焼（旧美和町）
〃 43年	1968	4. 5	小瀬地区山林火災109ヘクタール焼失
〃 〃	〃	〃	旧由宇町南西側一円の林野火災256ヘクタール焼失
〃 44年	1969	3.23	宇佐郷向峠山林火災160ヘクタール焼失（旧錦町）
〃 45年	1970	3.31	岩国山周辺山林延焼火災196ヘクタール焼失
〃 46年	1971	1.2	坂上東谷、国鉄車庫全焼（旧美和町）
〃 47年	1972	10.4	坂上浜前2戸全焼（旧美和町）
〃 49年	1974	1.29	賀見畑、生見3戸全焼（旧美和町）
〃 52年	1977	5.13	岩国病院火災、死者7人、負傷者5人
〃 58年	1983	4.26	海上自衛隊機（PS-1）墜落火災、死者10人、負傷者4人
〃 59年	1984	3. 5	三井石油化学工業(株)岩国大竹工場ハイドロキノン製造装置爆発火災
〃 63年	1988	12.6	旧玖珂町 山賊（公卿七厘）1棟全焼
平 成 2年	1990	2.9	川下町建物火災1棟全焼、2棟部分焼、死者（子供）3名
〃 11年	1999	7.11	旧錦町広瀬建物火災 全焼6棟、部分焼4棟
〃 13年	2001	4.13	旧玖珂町谷津地区林野火災13ヘクタール焼損
〃 15年	2003	4.25	旧錦町広瀬（松本食堂）建物火災 全焼2棟、半焼1棟、部分焼2棟 死者2名、負傷者2名

年 号		西 暦	月 日	場 所 及 び 程 度
平 成	24年	2012	4.22	三井化学株式会社岩国大竹工場レゾルシン製造プラント爆発火災 死者 1 名
〃	25年	2013	4.10	玖珂町山賊（桃李庵別館）建物火災 2 棟全焼、1 棟部分焼 山林2.89ヘクタール焼損
〃	〃	〃	4.21	周東町祖生建物火災 2 棟全焼、2 棟半焼 死者 1 名、負傷者 2 名
〃	〃	〃	11.7	麻里布町高層建物火災 死者 1 名
〃	26年	2014	6.14	車町建物火災 1 棟部分焼、死者1名
			7.8	岩国建物火災 1 棟全焼、1 棟部分焼、1 棟ぼや、死者 1 名
〃	27年	2015	5.5	山陽自動車道下り欽明路トンネル内車両火災 大型貨物自動車 2 台焼損

5. 歴代消防長

代		氏 名	在 任 期 間	備 考
初	代	木 村 智	昭和23年 9 月～昭和27年 3 月	市長事務取扱 助役事務取扱
2	代	久 能 寅 夫	昭和27年 3 月～昭和29年 3 月	
3	代	沖 村 義 男	昭和29年 4 月～昭和30年 4 月	
			昭和30年 5 月～昭和32年 8 月	
4	代	錦 生 利 介	昭和32年 9 月～昭和47年 8 月	
5	代	竹 林 佑 二	昭和47年 9 月～昭和48年 3 月	
組 合	初代	竹 林 佑 二	昭和48年 4 月～昭和49年 9 月	
2	代	土 井 英 雄	昭和49年10月～昭和50年 5 月	
3	代	歓 喜 治 朗	昭和50年 5 月～昭和53年10月	
4	代	片 桐 均	昭和53年10月～昭和55年 3 月	
5	代	上 村 年 美	昭和55年 4 月～昭和59年 3 月	
6	代	山 本 久 雄	昭和59年 4 月～昭和62年 3 月	
7	代	村 井 一 生	昭和62年 4 月～平成元年 3 月	
8	代	村 岡 昌	平成元年 4 月～平成 3 年 3 月	
9	代	石 崎 統 將	平成 3 年 4 月～平成 7 年 3 月	
10	代	河 村 偉 眞 雄	平成 7 年 4 月～平成10年 3 月	
11	代	佐 郷 学	平成10年 4 月～平成12年 3 月	
12	代	松 永 正 義	平成12年 4 月～平成13年 3 月	
13	代	河 重 兼 生	平成13年 4 月～平成14年 3 月	
14	代	中 村 政 勝	平成14年 4 月～平成16年 3 月	
15	代	好 本 光 雄	平成16年 4 月～平成18年 3 月	
16	代	越 智 拓 郎	平成18年 4 月～平成21年 3 月	
17	代	野 上 悦 生	平成21年 4 月～平成23年 3 月	
18	代	柏 本 秀 則	平成23年 4 月～平成24年 3 月	
19	代	藤 本 博 己	平成24年 4 月～平成26年 3 月	
20	代	國 清 宏	平成26年 4 月～平成29年 3 月	
21	代	村 中 和 博	平成30年 4 月～現 在 に 至 る	

6. 消防本部、消防署、出張所、機関員駐在所の分布図



7. 管内状況

区分 市 町 別	面 積 (km ²)	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯)
岩 国 市	873.72	136,732	65,980
和 木 町	10.58	6,518	2,820
計	884.3	143,250	68,800

区 分	平成29年度地方財政状況調査表による						
	一 般 会 計 歳入決算額 (千円)	一 般 会 計 歳出決算額 A (千円)	消 防 費 決 算 B (千円)	B / A (%)	財政力指数	基 準 財 政 需 要 額 (千円)	左の内消防費 基準財政需要額 (千円)
岩 国 市	73,971,713	72,662,693	2,625,710	3.60	0.6	27,663,718	1,902,332
和 木 町	4,410,942	4,246,092	222,012	5.23	0.7	1,745,851	227,119

8. 消防相互応援協定等締結状況

協 定 名	協 定 先	締 結 年 月 日
山陽自動車道消防相互応援に関する協定書	・大竹市	昭 和 63 年 3 月 29 日
消防相互応援に関する協定書	・廿日市市	平 成 19 年 12 月 1 日
	・大竹市 ・和木町 ・岩国市	平 成 20 年 2 月 12 日
岩国海上保安署と岩国地区消防組合 における消防相互応援協定	・岩国海上保安署	平 成 10 年 4 月 9 日
救急救助業務等に関する覚書		
岩国市及び岩国地区消防組合とアメリカ合衆国海兵隊岩国航空基地との間の消防相互応援協定	・岩国市 ・アメリカ合衆国海兵隊 岩国航空基地	平 成 14 年 3 月 28 日
石油コンビナート等特別防災区域に係る消防相互応援協定	・下松市 ・周南市 ・宇部・山陽小野田消防局 ・下関市	平 成 24 年 4 月 1 日
「母体・新生児搬送マニュアル」に係る救急業務相互応援協定	・下関市 ・山口市 ・宇部・山陽小野田消防局 ・柳井地区広域消防組合 ほか8機関	平 成 24 年 4 月 1 日
山口県消防防災ヘリコプター応援協定	・山口県知事 ・県下各市町 ・県下各消防本部	平 成 24 年 4 月 1 日
中国自動車道及び山陽自動車道における消防相互応援協定書	・光市 ・光地区消防組合 ・周南市 ・岩国市ほか9機関	平 成 24 年 4 月 1 日
山口県内広域消防相互応援協定書	・県下各市町 ・県下各消防本部	平 成 24 年 4 月 1 日
中国自動車道における消防相互応援協定	・益田広域消防本部 ・広島市 ・周南市	平 成 19 年 3 月 29 日
岩国空港における航空機事故に対する消火救難活動に関する協定	・岩国地区消防組合 ・大阪航空局	平 成 24 年 6 月 20 日
エボラ出血熱患者の移送に関する協定書	・山口県岩国環境保健所	平 成 27 年 6 月 22 日
広島市及び岩国地区消防組合消防相互応援協定	・広島市	平 成 29 年 8 月 28 日

※ 締結年月日は、最新の年月日を記載

9. 平成30年中の主要行事

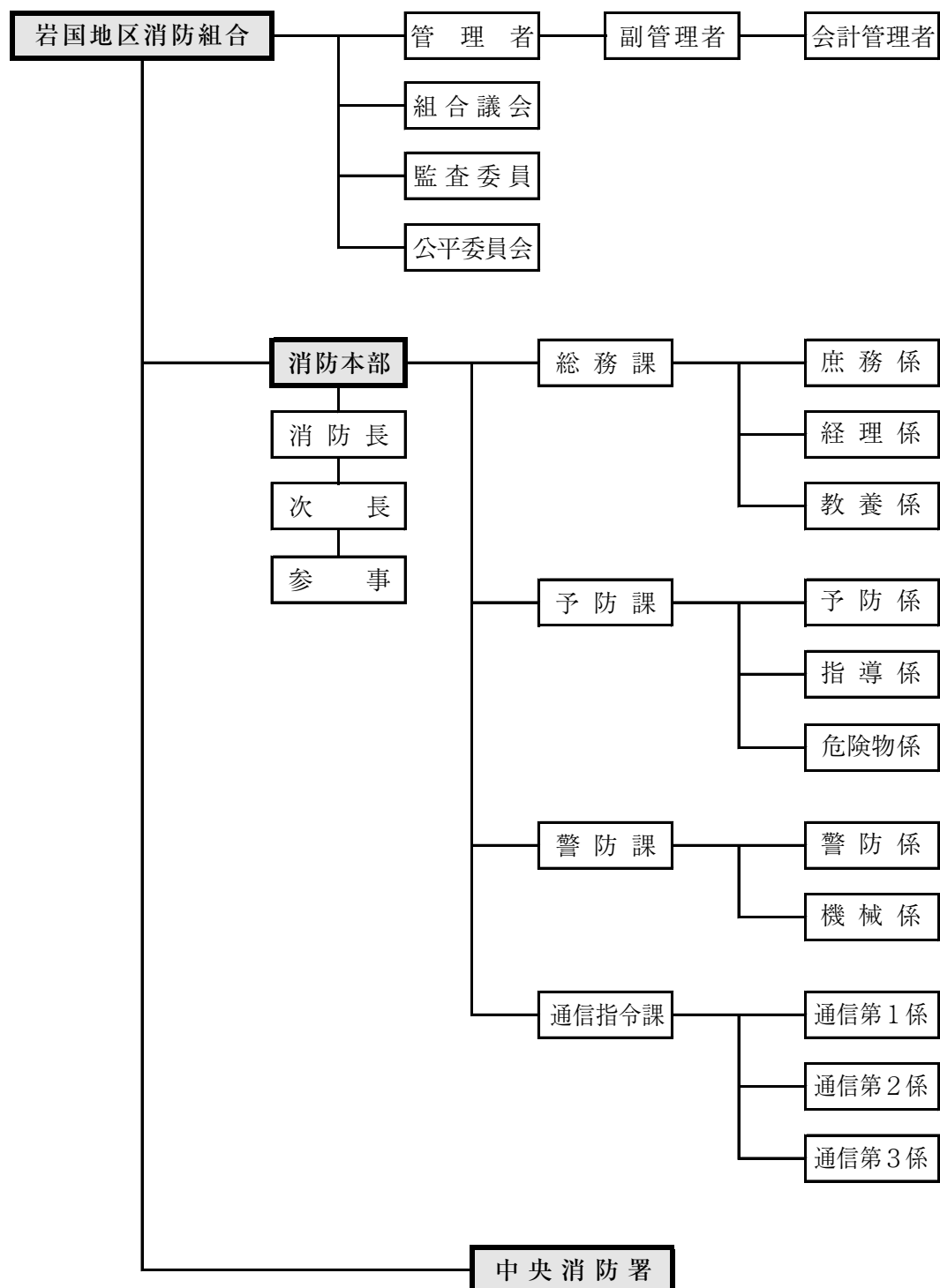
月 日	行 事	月 日	行 事
1.4	事務始め式	5.28	平成30年度第1回昇任試験委員会
1.7	岩国市消防出初式 和木町消防出初式	5.31	第70回全国消防長会総会（東京都）～6/1
1.17	公平委員会	6.8	第28回 山口県危険物安全大会（周南市）
1.23	山口県消防クラブ連合会会長表彰伝達式	6.17	山口県総合防災訓練（山口市） 危険物取扱者試験（前期）
1.24	文化財防火デーに伴う消防訓練	6.22	山口県危険物安全協会連合会 平成30年度通常総会
2.9	消防本部（局）予防・危険物担当課長会議（山口市） 周防都市消防長研修会（柳井市） 山口県石油コンビナート等防災本部協議会幹事会	6.24	新入団員教養訓練（岩国地区消防連絡協議会）
2.16	山口県消防長会議（山口市）	6.26	花火大会主催者向け説明会（煙火・露店）
2.20	岩国地区消防組合議会定例会	6.27	第45回 山口県消防救助技術大会（山口市）
3.1	春季全国火災予防運動 ～3/7 一日消防隊員委嘱 3/1、3/6	6.28	前期防火管理講習会 ～6/29
3.4	合同就職説明会 3/18、4/4	7.6	岩国地区消防組合議会臨時会
3.7	自治体消防制度70周年記念式典（東京都）	7.8	合同就職説明会 7/14、7/21、7/28
3.19	山口県消防表彰式（山口市）	7.11	公平委員会
3.30	岩国地区消防組合退職者辞令交付式 退庁式	7.17	岩国地区防火委員会
4.2	辞令交付式	7.18	第47回中国地区消防救助技術指導会（岡山市） * 中止
4.10	第67期消防職員初任総合教育入校式（山口市） 平成30年度第1回山口県消防学校教育運営委員会 山口県消防長会春季定例会議（山口市）	7.25	危険物取扱者保安講習 ～7/26
4.13	公平委員会	8.3	岩国地区化学消火剤共同備蓄会会議
4.15	少年消防クラブ新任式（通津少年消防クラブ）	8.9	中国五県消防関係者大会（広島県福山市） * 中止
4.17	岩国地区防災協会役員会	8.10	危険物取扱者保安講習
4.20	岩国地区消防連絡協議会 定例会	8.23	危険物取扱者保安講習 ～8/24 車両配備式（中央消防署 高規格救急車）
4.26	全国消防長会中国支部総会（鳥取県米子市） ～4/27	9.1	「防災の日」パレード
5.22	岩国地区防災協会総会	9.4	一日救急隊員委嘱
5.25	第46回 防火さつき展 ～5/27	9.11	危険物取扱者保安講習
		9.12	消防職員委員会
		9.16	消防職員採用試験
		9.27	後期防火管理講習会 ～9/28

月 日	行 事	月 日	行 事
9.28	総合非常訓練（三井化学株式会社岩国大竹工場）	11.22	平成30年度第2回山口県消防吏員昇任試験委員会
10.3	公平委員会	11.27	山口県石油コンビナート総合防災訓練（周南市）
10.4	岩国地区消防組合議会定例会	11.30	岩国地区消防組合議会臨時会 岩国地区防災協会役員会
10.5	山口県消防長会秋季定例会議（光市） 山口県消防殉職者慰霊祭（山口市） 全国消防長会中国支部人事庶務担当課長会議（倉敷市）	12. 5	岩国港テロ対策合同訓練
10.9	中央消防署警防技術発表会 ～ 10/11	12.6	総合訓練（日本製紙株式会社岩国工場）
10.17	山口県消防職員昇任試験（岩国市）	12.7	四機関合同女性職員意見交換会
10.19	消防署合同防災訓練（東洋紡株式会社岩国事業所）	12.12	総合防災訓練（ユニオン石油工業株式会社岩国工場）
10.20	中国四国緊急消防援助隊合同訓練（愛媛県） ～ 10/21 * 中止	12.13	岩国地区消防連絡協議会 定例会
10.22	定期監査	12.21	クリスマスみにコンサート
10.23	全国消防長会中国支部臨時総会・消防長研修会	12.28	事務納め式
10.25	全国消防長会危険物委員会（静岡県）～ 10/26		
10.26	全国消防長会中国支部警防主管課長会議（出雲市）		
10.29	危険物取扱者試験準備講習（法令）		
10.30	危険物取扱者試験準備講習（理化学）		
10.31	消防職員採用試験（第二次）		
11.4	平成30年度総合防災訓練・石油コンビナート等総合防災訓練（大竹市）		
11.6	一日消防長委嘱（ミス岩国） 岩国国際観光ホテル消防訓練		
11.9	秋季全国火災予防運動 ～ 11/15		
11.11	消防フェスタ 2018		
11.13	第67期消防職員初任総合教育卒業式（山口市）		
11.16	東部地域MC協議会		
11.19	総合防災訓練（J X T G エネルギー株式会社麻里布製油所）		
11.20	平成30年度第2回山口県消防学校教育運営委員会		

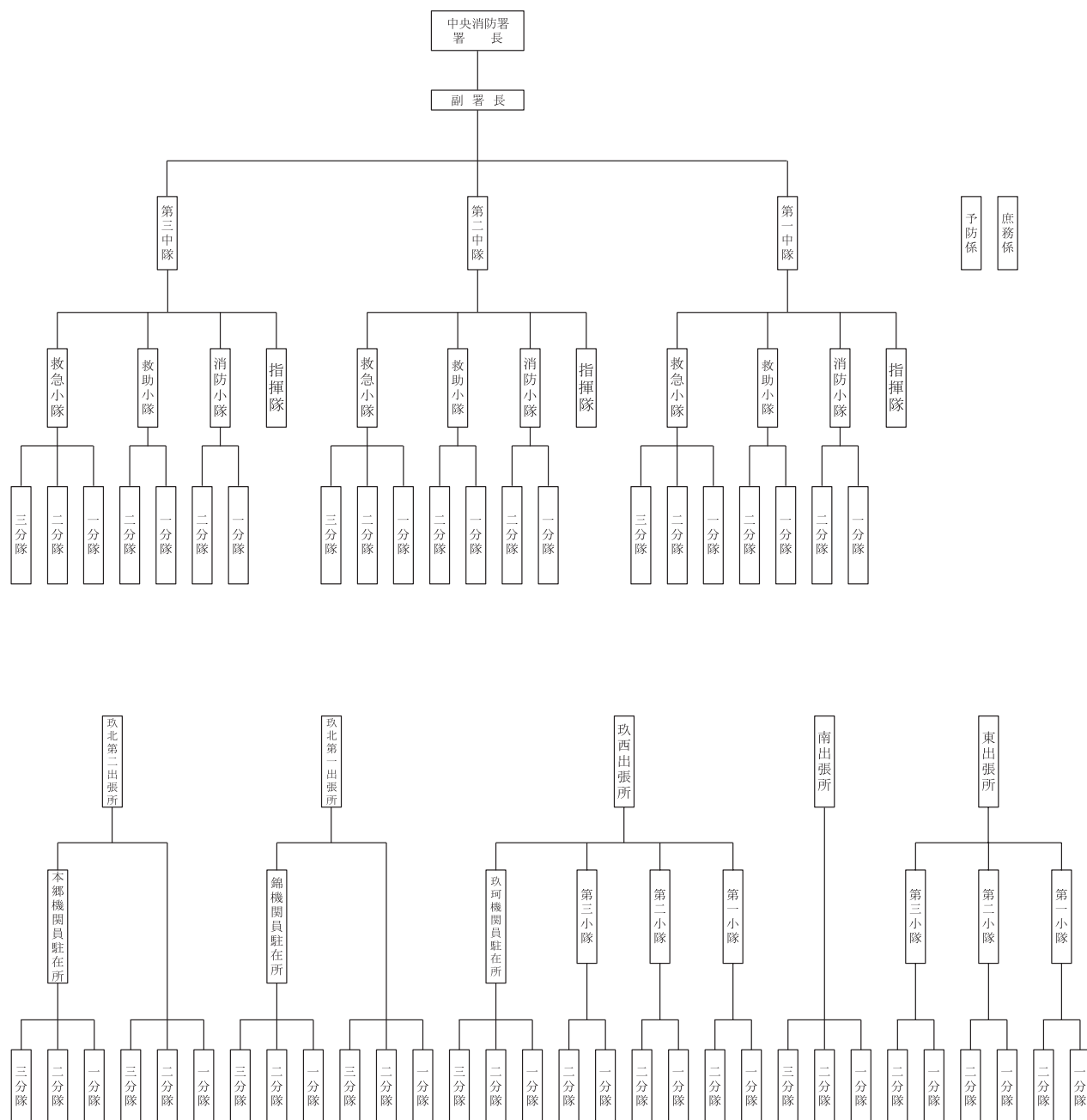
Ⅱ 総 務

1. 組 織

(1) 岩国地区消防組合の組織



(2) 消防署の組織



2. 事務分掌

消 防 本 部

総 務 課

庶 務 係

- (1) 公告式に関すること。
- (2) 組合議会に関すること。
- (3) 監査委員事務に関すること。
- (4) 公平委員会に関すること。
- (5) 公印に関すること。
- (6) 条例、規則及び訓令に関すること。
- (7) 文書の受発及び保存に関すること。
- (8) 各課・署起案文の審査に関すること。
- (9) 組織及び機構に関すること。
- (10) 職員の人事に関すること。
- (11) 職員採用試験委員会に関すること。
- (12) 職員の階級、任免及び人事評価に関すること。
- (13) 事務引継に関すること。
- (14) 職員の分限、懲戒及び服務に関すること。
- (15) 儀式及び交際に関すること。
- (16) 職員表彰及び消防協力者表彰並びに職員表彰委員会及び表彰審査委員会等に関すること。
- (17) 消防事務の改善に関すること。
- (18) 消防本部、署及び関係団体の連絡調整に関すること。
- (19) 市町村職員共済組合に関すること。
- (20) 職員の公務災害に関すること。
- (21) 職員の福利及び厚生に関すること。
- (22) 職員の健康管理及び衛生管理に関すること。
- (23) 消防職員委員会に関すること。
- (24) 消防音楽隊の派遣に関すること。
- (25) 消防行政についての広報に関すること。
- (26) 庁舎の管理及び構内の取締りに関すること。
- (27) 消防長会及び消防協会に関すること。
- (28) 広域常備消防力の充実整備に関すること。
- (29) 総合計画の策定に関すること。
- (30) 岩国地区消防連絡協議会に関すること。

- (31) 他の課に属さないこと及びその他課主管の庶務に関する事。

経 理 係

- (1) 予算編成及び執行の調整に関する事。
- (2) 決算に関する事。
- (3) 職員の給与に関する事。
- (4) 諸収入及び支出に関する事。
- (5) 物品の購入及び出納保管に関する事。
- (6) 財産及び備品の取得、管理及び処分の手続等に関する事。
- (7) 事務用機器の維持整備に関する事。
- (8) 職員の給貸与品に関する事。
- (9) 公務旅行及び旅費に関する事。
- (10) 源泉徴収及び特別徴収に関する事。
- (11) 財務の公表に関する事。
- (12) 補助金及び組合債に関する事。
- (13) 公有財産及び自動車等の保険に関する事。
- (14) 寄贈要望及び寄附採納に関する事。
- (15) 行政財産の目的外使用許可に関する事。

教 養 係

- (1) 職員の研修及び教養に関する事。
- (2) 職員の服務規律に関する事。
- (3) 消防学校、消防大学校及び救急救命研修所等の入校・入所に関する事。
- (4) 職場環境の改善に関する事。

予 防 課

予 防 係

- (1) 火災予防のための査察及び指導に関する事。
- (2) 消防用設備等の審査及び検証に関する事。
- (3) 防火管理者及び防災管理者等の講習に関する事。
- (4) 建築物の同意事務に関する事。
- (5) 建築物の検査に関する事。
- (6) 防火対象物管理システムの管理運用に関する事。
- (7) 液化石油ガス設備工事届及び検査に関する事。
- (8) 防火対象物等の統計事務に関する事。
- (9) その他課主管の庶務に関する事。

指 導 係

- (1) 火災予防思想の普及及び宣伝に関すること。
- (2) 災害予防対策及び防火指導に関すること。
- (3) 岩国地区防火委員会に関すること。
- (4) 岩国地区防災協会に関すること。
- (5) 化学消火薬剤の共同備蓄に関すること。
- (6) 危険物取扱者及び消防設備士等の試験及び講習に関すること。
- (7) 防火相談に関すること。

危 険 物 係

- (1) 危険物関係施設の許認可事務に関すること。
- (2) 危険物関係施設の検査、指導並びに違反処理に関すること。
- (3) 危険物関係施設に係る災害の事故処理及び事例研究に関すること。
- (4) 危険物等の統計事務に関すること。
- (5) 危険物台帳の整備保管並びに危険物管理システムの管理運用に関すること。
- (6) 少量危険物（ミニローリー）の届出及び検査に関すること。
- (7) 石炭法に基づく新設等の届出及び検査に関すること。
- (8) 石油コンビナート等特定事業所の検査、指導並びに違反処理に関すること。
- (9) 石油コンビナート等特定事業所の災害の事故処理に関すること。
- (10) 特定事業所台帳の整備保管に関すること。
- (11) 火薬類の許認可事務に関すること。
- (12) 火薬庫等の保安検査に関すること。
- (13) 火薬類製造業者等の施設の立入検査及び違反処理に関すること。

警 防 課

警 防 係

- (1) 火災、救急及び救助対策に関すること。
- (2) 地水利に関すること。
- (3) 警防計画に関すること。
- (4) 非常招集に関すること。
- (5) 消防訓練及び各種演習に関すること。
- (6) 自衛消防隊に関すること。
- (7) 科学消防の研究に関すること。
- (8) 火災の調査技術の研究に関すること。
- (9) 水火災原因及び損害調査に関すること。
- (10) 医療機関等との連絡調整に関すること。

- (11) 消防統計に関すること。
- (12) 火災及び救急・救助業務の報告に関すること。
- (13) 開発行為に伴う消防同意事務に関すること。
- (14) 応急手当普及啓発活動に伴う講習及び資格認定に関すること。
- (15) 安全管理に関すること。
- (16) 応援協定に関すること。
- (17) 地域防災計画及び石油コンビナート防災計画等に関すること。
- (18) その他課主管の庶務に関すること。

機 械 係

- (1) 消防施設の強化拡充及び保全に関すること。
- (2) 消防機械器具の整備、保全並びに補充に関すること。
- (3) 消防自動車運転その他技能向上に関すること。
- (4) 消防機械器具の運用に関すること。
- (5) 消防業務用燃料に関すること。
- (6) 消防団及び自衛消防隊の機械器具操作の指導に関すること。
- (7) 環境衛生委託業務の監督及び報告に関すること。

通信指令課

通信第1係・通信第2係・通信第3係

- (1) 消防隊、救急隊及び救助隊等の管制及び指令に関すること。
- (2) 消防通信の統制及び技術指導に関すること。
- (3) 通信施設の維持管理に関すること。
- (4) 通信施設の検査及び試験に関すること。
- (5) 通信施設の修理、改善及び研究に関すること。
- (6) 災害出動計画に関すること。
- (7) 気象情報に関すること。
- (8) 火災の警報に関すること。
- (9) 情報収集、記録及び統計に関すること。
- (10) 医療機関等の情報に関すること。
- (11) テレガイドによる情報提供に関すること。
- (12) その他通信指令業務及び課の庶務に関すること。

消 防 署

庶 務 係

- (1) 公印の管守に関すること。
- (2) 文書の受発及び保存に関すること。
- (3) 署員の配置及び服務に関すること。
- (4) 署員の勤務、規律及び教養訓練に関すること。
- (5) 署員の福利、厚生に関すること。
- (6) 庁舎の維持管理並びに備品及び消耗品の出納保管に関すること。
- (7) 火災及び救急等の証明に関すること。
- (8) り災証明等に関すること。
- (9) 署内事務の連絡調整に関すること。
- (10) 諸統計に関すること。
- (11) 署員の招集に関すること。
- (12) その他署主管の庶務に関すること。

予 防 係

- (1) 火災予防思想の普及、宣伝に関すること。
- (2) 火災予防のための査察、指導に関すること。
- (3) 消防用設備等の効力及び研究に関すること。
- (4) 防火管理者及び消防設備士の指導に関すること。
- (5) 建築物の同意事務に関すること。
- (6) 建築物の検査に関すること。
- (7) 防火対象物関係台帳の整備保管に関すること。

中隊（第1中隊、第2中隊、第3中隊）

- (1) 災害の警戒防ぎょに関すること。
- (2) 救急・救助業務に関すること。
- (3) 消防計画に関すること。
- (4) 消防地水利の調査及び消防用水利の保全に関すること。
- (5) 災害の原因及び損害調査並びに報告に関すること。
- (6) 消防訓練の指導に関すること。
- (7) 消防演習及び訓練の計画立案に関すること。
- (8) 消防及び救急機械器具の運用に関すること。
- (9) 防火指導に関すること。
- (10) 予防査察に関すること。
- (11) 消防用設備等の設置指導に関すること。

- (12) 消防団の訓練指導に関すること。
- (13) 液化石油ガス施設の火災予防に関すること。
- (14) 消防関係法令に基づく各種届出に関すること。
- (15) 建築物の同意事務等に関すること。

出張所

- (1) 出張所の庶務に関すること。
- (2) 出張所の庁舎の維持管理並びに備品及び消耗品の出納保管に関すること。
- (3) その他の分掌事務は、中隊に準ずること。

機関員駐在所

- (1) 機関員駐在所の庶務に関すること。
- (2) 機関員駐在所の庁舎の維持管理並びに備品及び消耗品の出納保管に関すること。
- (3) その他の分掌事務は、中隊に準じる。

3. 予 算（当初予算）

（単位 千円）

款 項	目	節	平成30年度	平成29年度	増 減
1 議 会 費			1,718	1,718	0
2 総 務 費			3,373	3,133	240
総務管理費			2,836	2,864	△ 28
監査委員費			376	108	268
公平委員会費			161	161	0
3 消 防 費			2,663,499	1,988,576	674,923
	常 備 消 防 費		1,878,150	1,875,401	2,749
		給 料	754,786	743,559	11,227
		職 員 手 当 等	606,706	634,977	△ 28,271
		共 済 費	264,355	270,383	△ 6,028
		災 害 補 償 費	2,901	3,034	△ 133
		賃 金	0	1,426	△ 1,426
		報 償 費	932	1,020	△ 88
		旅 費	4,068	2,952	1,116
		需 用 費	92,480	87,141	5,339
		役 務 費	26,282	26,958	△ 676
		委 託 料	86,302	80,856	5,446
		使用料及び賃借料	6,156	6,109	47
		原 材 料 費	1	1	0
		備 品 購 入 費	15,149	5,768	9,381
		負担金補助及び交付金	16,087	9,864	6,223
		補償補填及び賠償金	1	1	0
		積 立 金	13	30	△ 17
		公 課 費	1,931	1,322	609
	消 防 施 設 費		349,660	113,175	236,485
		需 用 費	1,000	1,000	0
		委 託 料	0	10,223	△ 10,223
		工 事 請 負 費	2,083	12,983	△ 10,900
		原 材 料 費	200	200	0
		備 品 購 入 費	346,377	88,769	257,608
	西分署庁舎等 建 設 事 業 費		435,689	0	435,689
		委 託 料	44,689	0	44,689
		工 事 請 負 費	391,000	0	391,000
4 公 債 費			73,193	64,894	8,299
5 予 備 費			5,000	5,000	0
計			2,746,783	2,063,321	683,462

4. 職員の採用試験状況

区 分 年 別	消 防 吏 員			事 務 職 員		
	応募者数	合格者数	倍 率	応募者数	合格者数	倍 率
平 成 21 年	99	15	6.6			
平 成 22 年	109	15	7.3			
平 成 23 年	87	14	6.2			
平 成 24 年	86	11	7.8			
平 成 25 年	90	10	9.0			
平 成 26 年	75	11	6.8			
平 成 27 年	86	11	7.8			
平 成 28 年	61	5	12.2			
平 成 29 年	82	13	6.3			
平 成 30 年	90	17	5.3			

※ 応募者については、試験当日の欠席者を含む。

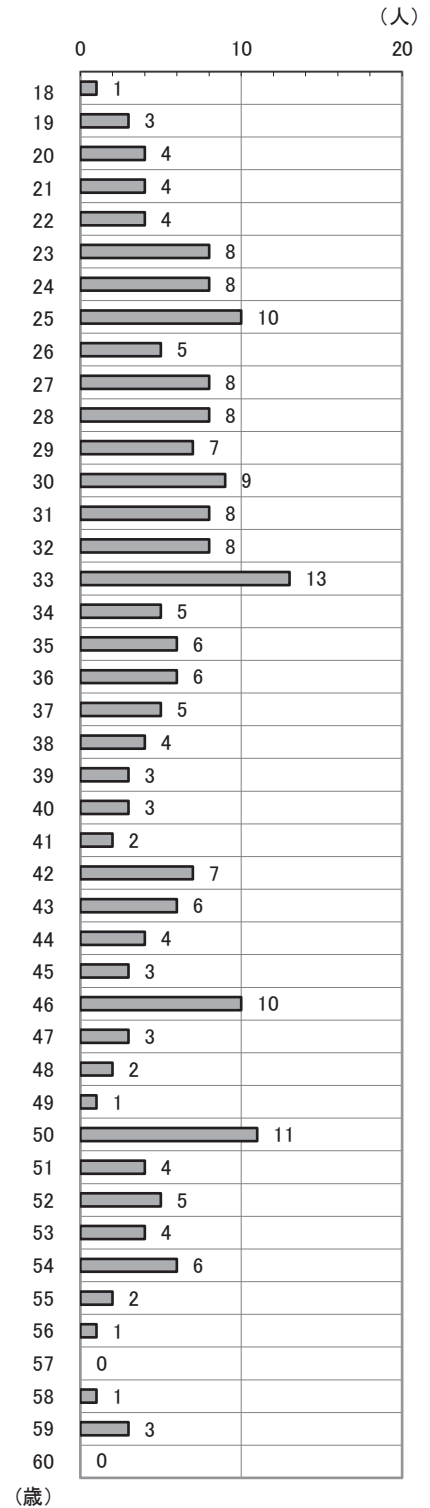
5. 職員の配置状況

区 分 所 属			総 計	消 防 吏 員									そ の 職 員		
				計	正 監	監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	士	計	事務 吏員	
定 員			230												
実 員			215	214	1	3	4	13	35	89	5	64	1	1	
消 防 本 部	消 防 長		1	1	1										
	次 長		1	1		1									
	参 事		2	2		2									
	総 務 課	課 長	(1)	(1)		(1)									
		補 佐	1	1				1							
		庶 務 係	3	3				1	1	1					
		経 理 係	3	2					1	1			1	1	
		教 養 係	(1)	(1)				(1)							
		課 付	3	3					1	2					
		予 防 課	課 長	1	1			1							
	補 佐		1	1				1							
	予 防 係		2	2					1	1					
	指 導 係		1	1					1						
	危 険 物 係		3	3					2	1					
	警 防 課	課 長	1	1			1								
		主 幹													
		補 佐	1	1				1							
		警 防 係	2	2					1	1					
		機 械 係	2	2				1				1			
	通 信 指 令 課	課 長	1	1			1								
		主 幹													
		補 佐	3	3				3							
		通 信 第 1 係	3	3					1	1		1			
		通 信 第 2 係	3	3					1	1	1				
		通 信 第 3 係	3	3					1	1		1			
消 防 署	中 央 署	本 署	署 長	(1)	(1)		(1)								
			副 署 長	1	1			1							
			庶 務 係	(1)	(1)			(1)							
			予 防 係	1	1				1						
			中 隊 (1. 2. 3 中隊)	86	86				3	12	36	1	34		
	消 防 署	出 張 所	東 出 張 所	19	19				1	3	9		6		
			南 出 張 所	13	13					1	6		6		
			玖 西 出 張 所	19	19				1	3	9	1	5		
			玖 珂 機 関 員 駐 在 所	3	3						3				
			玖 北 第 1 出 張 所	13	13					1	6		6		
			錦 機 関 員 駐 在 所	3	3					2	1				
			玖 北 第 2 出 張 所	13	13					1	6	2	4		
			本 郷 機 関 員 駐 在 所	3	3						3				

() は兼務

6. 職員の年齢構成

年 齢	消 防 職 員									
	人 数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合計	215	1	3	4	13	35	89	5	64	1
平均	38.3	58.0	55.7	55.0	52.7	47.3	35.7	34.2	31.9	59.0
18	1								1	
19	3								3	
20	4								4	
21	4								4	
22	4								4	
23	8								8	
24	8								8	
25	10								10	
26	5								5	
27	8						2	2	4	
28	8						6	1	1	
29	7						4	1	2	
30	9						5		4	
31	8						6		2	
32	8						6		2	
33	13						12	1		
34	5						4		1	
35	6						5		1	
36	6						4			
37	5						5			
38	4					1	3			
39	3						3			
40	3						3			
41	2						2			
42	7					3	4			
43	6					3	3			
44	4					2	4			
45	3					2	1			
46	10					4	6			
47	3				1	2				
48	2					1	1			
49	1					1				
50	11				1	10				
51	4				1	3				
52	5			1	1	3				
53	4			1	3					
54	6		2		4					
55	2				2					
56	1			1						
57	0									
58	1	1								
59	3		1	1						1
60	0									



7. 職員の消防学校等入校状況

科目 年度別	消防大学校										山口県消防学校										広島県消防学校救急科				救急救命士研修所	全国市町村国際文化研修所	消防 運転技 能者自 動課程					
	上級幹部科	幹部科	予防科	危険物科	警防科	救急科	救助科	火災調査科	救火・特別高度救助C1	初任教育	幹部教育 初級 中級 上級	予防調査科	火災調査科	特殊災害科	大規模災害対策科	救助科	都市型救助講習	警防科	救急科 (標準課程含) Ⅱ 課程	急救急 標準課程含	操法指導科	梯子車隊員教育	水難救助科	消防団指導科	起震車操作員講習	惨事ストレス研修						
平成 11						1				4	1		1			3		1	5	4	2	1					2	1				
〃 12						1				3	1	2				3		1	5	4	2	1		4			2	1				
〃 13	1	1									1	1	1			2		1	3	4	1	1										
〃 14	1			1						2	1	2				2		1	4	4	2	1		1			1	1				
〃 15	1							1		4	1	1	1			2			5	4	2			4			2	1				
〃 16						1		1		4	1	1	1			1			6	4	2	1					3	2	1			
〃 17										3	1	1	1	3		2			5	4	2	1					3	4	1			
〃 18			1				1	1	1	5	1	1	1	3		2			6	4	2	1					3	2	1			
〃 19			1	1						8	1	1	1	3		2			6		2	1				3	3	1				
〃 20							1			10	1	1	1	3		2			16							5	3	5	1			
〃 21						1	1	1		15	1	1	1	3		2			24				10	4	3	4	1	1				
〃 22						1				13	1	1							23							2	3	7	1	1		
〃 23							1	1	1	6	1		1			1	2	1					1				2	1	1			
〃 24						1			1	11	1	1	1			1	3	1					1				2	1	1			
〃 25	2								1	14	1	1				1	3						1			1	1	1	1			
〃 26			1				1	1	1	12	1	1	1			1	2					1					2	1	1	1		
〃 27						1			1	11	1	1	1			1	2						1				3	1	1			
〃 28				1			1	1	1	10	1	1	1			1	2						2				5	1	1	1		
〃 29				1					1	3	1	1	1			1	3						2				5	1	1	1		
〃 30				1				1	1	9	1					1	3						2	1			5	1	1	1		
計	640	4	4	1	2	4	3	6	9	9	147	10	10	5	18	15	8	43	2	4	0	108	32	17	19	1	19	15	21	61	10	18

※初任総合教育（救急課含）

8. 職員免許資格取得状況

階 級 実 員	計	正 監	監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	士	事務 吏 員
区 分	218	1	3	4	13	35	89	5	67	1
大型自動車運転免許(11t以上)	161	1	3	3	11	30	80	4	29	
中型自動車運転免許(11t未満)	2						1	1		
準中型自動車運転免許(7.5t)	22			1	2	6	6		6	1
普通自動車運転免許(3.5t)	38						2		36	
けん引自動車運転免許	1						1			
自動車二輪	66	1	2	3	10	21	27		2	
2級小型船舶操縦士	41		2	1	5	16	17			
第2級陸上特殊無線技士	61			1	1	20	37		2	
第3級陸上特殊無線技士	68						48	2	18	
アマチュア無線技士	11			1	2	6	2			
救急隊員資格者(Ⅱ課程・標準)	166	1	2	4	13	34	83	2	27	
救急救命士	48			1	3	16	22		6	
薬剤投与認定証	30			1	3	15	11			
気管挿管認定証	13				1	6	6			
衛生管理者	7		1			4	1		1	
危険物取扱者(甲種)	2					1			1	
危険物取扱者(乙種)	82			1	2	7	55		17	
危険物取扱者(丙種)	8					1	6		1	
消防設備士(甲種)										
消防設備士(乙種)	19					2	11	1	5	
電気工事士	4	1					2		1	
電気工事士(Ⅱ種)	2						1		1	
予防技術資格(防火査察)	42			1	2	4	26	1	8	
予防技術資格(消防用設備等)	6				1	2	2		1	
予防技術資格(危険物)	6		1			2	2		1	
乙種火薬類取扱保安責任者	14			1	3	3	7			
潜水士	33			1	3	8	16	2	3	
ボイラー技士	4					2	2			
建築士(2級)	1				1					
ガス溶接技能講習	51	1	2	2	6	12	27		1	
電気溶接技能講習	2						2			
小型移動式クレーン運転技能講習	53	1	2	2	6	13	27	1	1	
玉掛技能講習	57	1	2	2	6	11	31	1	3	
第二種酸素欠乏危険作業主任者	44	1	2	3	9	12	17			
足場の組立等作業主任者	11	1	1	1		1	7			
一般毒劇物取扱者	1					1				
テクニカルロープレスキュー	7			1	2	2	1		1	
スワフトウォーターレスキュー	10			1	2		7			
操法指導員及び審査員	11		3	1	5	2				
特定化学物質等作業主任者技能講習	19	1	1	2	2	9	4			
可搬式消防ポンプ等整備資格者	6				2		3		1	
伐木等労働安全衛生特別教育	20	1		1	1		17			
はしご車使用者講習	94	1	2	2	9	15	50	1	14	

9. 消防音楽隊（昭和54年4月16日結成）

階 級	消防司令長	消 防 司 令	消防司令補	消 防 士 長	消防副士長	消 防 士	市 職 員	計
人 員	2	3	3	5	0	3	16	32

ト ラ ン ペ ッ ト ⑤	パ ー カ ッ シ ョ ン ⑥	ト ロ ン ボ ー ン ③
ホ ル ン ②	ユ ー ファ ニ ア ム ①	バ ス ・ ス ー ザ フ ォ ン ②
フ ル ー ト ・ ピ ッ コ ロ ③	ク ラ リ ネ ッ ト ④	サ ク ソ フ ォ ン ⑤
	指 揮 者 ①	

平 成 3 0 年 活 動 状 況

出演月日	行 事 名	対象人員	演奏曲数
1月7日（日）	岩国市消防出初式	1,000名	8 曲
1月11日（木）	岩国地区3LC合同新年互例会	200名	6 曲
4月21日（土）	由宇町戦没者追悼式	200名	5 曲
4月23日（月）	熊本・九州北部・東日本等大災害復興支援活動写真展	200名	4 曲
5月18日（金）	周東町戦没者追悼式	200名	5 曲
8月19日（日）	岩国地区消防操法大会	1,000名	5 曲
10月21日（日）	第62回岩国祭「吹奏楽の祭典」	1,000名	2 曲
12月21日（金）	クリスマスみにコンサート	200名	5 曲
計	8 回		

Ⅲ 消 防 施 設

1. 消防庁舎の現況

区 分	所 在 地	建 築 年 月 日	構 造	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延 面 積 (㎡)
消 防 本 部	〒740-0037 岩国市愛宕町一丁目4番1号 代表 (0827) 31-0119 (総務課) (0827) 31-0193 (予防課) (0827) 31-0196 (警防課) (0827) 31-0199	平成27年 12月28日	耐火4階	16,872.00	3,743.36	8,715.15
中 央 消 防 署	消防本部と併用 (0827) 31-0205	—	—	—	—	—
中 央 消 防 署 東 出 張 所	〒740-0061 玖珂郡和木町和木四丁目1番2号 (0827) 21-2548	昭和49年 3月30日	耐火2階	672.00	276.15	333.04
中 央 消 防 署 南 出 張 所	〒740-1455 岩国市由宇町北一丁目5番1号 (0827) 63-0119	昭和49年 3月20日	耐火2階	648.60	230.00	279.00
中 央 消 防 署 玖 西 出 張 所	〒742-0417 岩国市周東町下久原1150番地5 (0827) 84-0375	昭和49年 3月20日	耐火平屋	651.00	244.10	244.10
中 央 消 防 署 玖 西 出 張 所 玖珂機関員駐在所	〒742-0325 岩国市玖珂町5969番地 (0827) 82-0119	昭和61年 11月25日	耐火2階	65.00	65.00	130.00
中 央 消 防 署 玖 北 第 1 出 張 所	〒740-0502 岩国市美川町四馬神1296番地1 (0827) 76-0119	昭和49年 3月20日	耐火平屋	452.51	221.08	221.08
中 央 消 防 署 玖 北 第 1 出 張 所 錦機関員駐在所	〒740-0724 岩国市錦町広瀬12番地8 (0827) 72-2161	平成25年 12月16日	木造平屋	194.00	89.43	89.43
中 央 消 防 署 玖 北 第 2 出 張 所	〒740-1231 岩国市美和町生見537番地1 (0827) 96-0119	昭和49年 3月20日	耐火平屋	422.00	213.94	213.94
中 央 消 防 署 玖 北 第 2 出 張 所 本郷機関員駐在所	〒740-0602 岩国市本郷町1604番地 (0827) 75-2319	昭和62年 11月30日	耐火2階	177.98	96.25	166.87

2. 消防車両保有状況

所 属 車 両	計	消 防 本 部	中央消防署								
			本 署	東 出 張 所	南 出 張 所	玖 西 出 張 所	玖 珂 機 関 員 駐 在 所	玖 北 第 一 出 張 所	錦 機 関 員 駐 在 所	玖 北 第 二 出 張 所	本 郷 機 関 員 駐 在 所
計	50	13	18	4	3	3	1	3	1	3	1
消 防 ポ ン プ 自 動 車	13	(2)	3	1	1	1	1	1	1	1	1
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2		2								
化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2		1	1							
大 型 高 所 放 水 車 (はしご車兼用)	1		1								
1 5 m はしご付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1		1								
泡 原 液 搬 送 車	1		1								
救 助 工 作 車	1		1								
多 目 的 搬 送 車	1		1								
高規格救急自動車	10	(2)	3	1	1	1		1		1	
指 揮 隊 車	1		1								
指 揮 車	1	1									
指 令 車	2	1	1								
指 令 兼 広 報 車	5			1	1	1		1		1	
査 察 車 等	6	4	2								
防 火 広 報 車	1	1									
人員搬送車（バス）	1	1									
資 機 材 搬 送 車	1	1									

※ () 書きは予備車

3. 消防車両一覧表

所 属	名 称	登録番号	車 名	型 別	ポンプ性能	無 線 局 名
消 防 本 部	指 揮 車	山口300め8730	マツダ			いわくにしき1
〃	指 令 車	山口800す1567	三菱	4WD		いわくにしれい1
〃	査 察 兼 広 報 車	山口501は7802	日産			いわくにささつ1
〃	連 絡 車	山口501ふ6507	日産			いわくにれんらく1
〃	防 火 広 報 車	山口800さ8917	トヨタ			いわくにこうほう1
〃	人 員 搬 送 車	山口200さ27	日野			いわくにはんそう1
〃	資 機 材 搬 送 車	山口800す1519	日野	4WD		いわくにさぎょう1
〃	軽 連 絡 車	山口480す4862	ダィハツ			
〃	応急手当普及推進車	山口480せ3205	ダィハツ			
〃	消 防 ポンプ自動車 (予 備 車)	山口800さ2808	三菱	CD-I 型	日本機械 A-2 級	ちゅうおう4
〃	消 防 ポンプ自動車 (予 備 車)	山口88た8766	いすゞ	CD-I 型	日本機械 A-2 級	ちゅうおう5
〃	高規格救急自動車 (予 備 車)	山口800さ9718	トヨタ	4WD		ちゅうおうきゅうきゅう4
〃	高規格救急自動車 (予 備 車)	山口800さ9302	トヨタ	4WD		ちゅうおうきゅうきゅう5
中央消防署本署	指 揮 隊 車	山口800す4330	トヨタ	4WD		ちゅうおうしきたい1
〃	指 令 車	山口800さ8482	トヨタ	4WD		ちゅうおうしれい1
〃	消 防 ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800す2553	日野	CD-I 型	モリタ A-2 級	ちゅうおう1
〃	消 防 ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800さ8286	日野	CD-I 型	モリタ A-2 級	ちゅうおう2
〃	消 防 ポンプ自動車	山口800す4875	日野	CD-I 型	モリタ A-2 級	ちゅうおう3
〃	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	山口800は1937	日野	水-II 型	日本機械 A-2 級	ちゅうおうタンク1
〃	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	山口800は348	いすゞ	水-II 型	モリタ A-2 級	ちゅうおうタンク2
〃	救 助 工 作 車	山口800は101	三菱	II-型		ちゅうおうきゅうじょ1
〃	多 目 的 搬 送 車	山口88た9978	日産	2.6tクレーン 油圧荷台付		ちゅうおうはんそう1
〃	大 型 高 所 放 水 車 (はしご車兼用)	山口830み119	日野	40m (はしご付)	モリタ A-2 級	ちゅうおうはしご1
〃	大 型 化 学 消 防 ポンプ自動車	山口88つ1972	日産	大-I 型	モリタ A-1 級	ちゅうおうかがく1
〃	泡 原 液 搬 送 車	山口800は188	三菱	5,000ℓ	シバウラ B-3 級	ちゅうおうげんえき1
〃	は し ご 付 消 防 ポンプ自動車	山口800は1990	日野	15m	モリタ A-2 級	ちゅうおうはしご2

所 属	名 称	登録番号	車 名	型 別	ポンプ性能	無 線 局 名
中央消防署本署	高規格救急自動車	山口800す3135	日産	4WD		ちゅうおうきゅうきゅう1
〃	高規格救急自動車	山口800す4264	トヨタ	4WD		ちゅうおうきゅうきゅう2
〃	高規格救急自動車	山口800す5713	トヨタ	4WD		ちゅうおうきゅうきゅう3
〃	査察兼広報車	山口800す4321	日産			ちゅうおうささつ1
〃	査察兼広報車	山口400ち8192	日産			ちゅうおうささつ2
中央消防署 東出張所	消防ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800す380	日野	CD-I型	日本機械 A-2級	わき1
〃	化学消防ポンプ自動車	山口800は1418	日野	化-II型	日本機械 A-2級	わきかがく1
〃	高規格救急自動車	山口800す3136	日産	4WD		わききゅうきゅう1
〃	指令兼広報車	山口800す9492	スズキ	4WD		わきしれい1
中央消防署 南出張所	消防ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800さ5960	日野	CD-I型	モリタ A-2級	ゆう1
〃	高規格救急自動車	山口800す4263	トヨタ	4WD		ゆうきゅうきゅう1
〃	指令兼広報車	山口800さ9493	スズキ	4WD		ゆうしれい1
中央消防署 玖西出張所	消防ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800さ5961	日野	CD-I型	モリタ A-2級	しゅうとう1
〃	高規格救急自動車	山口800す2585	トヨタ	4WD		しゅうとうきゅうきゅう1
〃	指令兼広報車	山口800さ8847	スズキ	4WD		しゅうとうしれい1
中央消防署 玖西出張所 玖珂機関 員駐在所	消防ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800さ9025	日野	CD-I型	モリタ A-2級	くが1
中央消防署 玖北第1出張所	消防ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800す862	日野	CD-I型 (4WD)	モリタ A-2級	みかわ1
〃	高規格救急自動車	山口800す1544	日産	4WD		みかわきゅうきゅう1
〃	指令兼広報車	山口800さ8848	スズキ	4WD		みかわしれい1
中央消防署 玖北第1出張所 錦機関員駐在所	消防ポンプ自動車	山口800す5297	日野	CD-I型 (4WD)	日本機械 A-2級	ひろせ1
中央消防署 玖北第2出張所	消防ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800す3694	日野	CD-I型 (4WD)	日本機械 A-2級	みわ1
〃	高規格救急自動車	山口800す5141	トヨタ	4WD		みわきゅうきゅう1
〃	指令兼広報車	山口800さ8850	スズキ	4WD		みわしれい1
中央消防署 玖北第2出張所 本郷機関員駐在所	消防ポンプ自動車 900リットル水槽付	山口800さ9653	日野	CD-I型 (4WD)	モリタ A-2級	ほんごう1

4. 機械器具等保有状況

署 所 別 種 類		合 計	消 防 本 部	中央消防署					
				本 署	東 出 張 所	南 出 張 所	玖 西 出 張 所 (玖珂機関員駐在所含)	玖 北 第 一 出 張 所 (錦機関員駐在所含)	玖 北 第 二 出 張 所 (本郷機関員駐在所含)
一般用救助器具	か ぎ 付 き は し ご	4		4					
	三 連 は し ご	4		3	1				
	金属製折りたたみはしご又はワイヤはしご	12		4	1	1	2	2	2
	空 気 式 救 助 マ ッ ト	1		1					
	救 命 索 発 射 銃	3		3					
	サバイバースリング又は救助用縛帯	7		6				1	
	平 担 架	1		1					
重量物排除用器具	油 圧 ジ ャ ッ キ	20	2	9	2	1	2	2	2
	油 圧 ス プ レ ッ タ ー	2		2					
	可 搬 ウ ィ ン チ	2		2					
	マ ン ホ ー ル 救 助 器 具	1		1					
	マ ッ ト 型 空 気 ジ ャ ッ キ	1		1					
	大 型 油 圧 ス プ レ ッ タ ー	1		1					
	救 助 用 支 柱 器 具	1		1					
切断用器具	チ ェ ー ン ブ ロ ッ ク	3		3					
	油 圧 切 断 機	1		1					
	エ ン ジ ン カ ッ タ ー	5		2	1	1	1		
	ガ ス 溶 断 器	3	2	1					
	チ ェ ー ン ソ ー	8		1	2	1	1	2	1
	鉄 線 カ ッ タ ー	23		10	2	3	2	2	4
	空 気 鋸	2		2					
破壊用器具	大 型 油 圧 切 断 機	1		1					
	空 気 切 断 機	2		2					
	万 能 斧	15		8	2	1	1	1	2
	ハ ン マ ー	14		8	1	1	2	1	1
	携 帯 コ ン ク リ ー ト 破 壊 器 具	2		2					
測定用器具	削 岩 機	1		1					
	ハ ン マ ド リ ル	1		1					
	生 物 剤 検 知 器	1	1						
	可 燃 性 ガ ス 測 定 器	15		6	2	1	2	2	2
	有 毒 ガ ス 測 定 器	10		5	1	1	1	1	1
呼吸保護用器具	酸 素 濃 度 測 定 器	10		5	1	1	1	1	1
	放 射 線 測 定 器	9		6	3				
	空 気 呼 吸 器	52	4	34	6	2	2	2	2
	酸 素 呼 吸 器	5		5					
	簡 易 呼 吸 器	5		5					
除染用具	防 塵 マ ス ク	5		5					
	送 排 風 機	2		2					
除染用具	除 染 シ ャ ワ ー	1	1						
	除 染 剤 散 布 器	1	1						

署 所 別 種 類		合 計	消 防 本 部	中央消防署					
				本 署	東 出 張 所	南 出 張 所	玖 西 出 張 所 (玖珂機関員駐在所含)	玖 北 第 一 出 張 所 (錦機関員駐在所含)	玖 北 第 二 出 張 所 (本郷機関員駐在所含)
隊員保護用器具	耐 電 手 袋	38		24	6	1	2	3	2
	耐 電 衣	10		10					
	耐 電 ズ ボ ン	10		10					
	耐 電 長 靴	32		20	4	1	2	3	2
	防 塵 メ ガ ネ	5		5					
	携 帯 警 報 器	48		34	6	2	2	2	2
	防 毒 マ ス ク	18	5	10	3				
	化学防護服（陽圧式化学防護服除く）	12	5	5	2				
	陽 圧 式 化 学 防 護 服	9	5	4					
	耐 熱 服	8		5	3				
	放 射 線 防 護 服	6		4	2				
潜水救助用器具	潜 水 器 具	16		16					
	救 命 胴 衣	48		28	3	2	9	2	4
	水 中 投 光 器	23		23					
	救 命 浮 環	4		3			1		
	救 命 ボ ー ト	3		3					
	船 外 機	3		3					
	水 中 ス ク ー タ ー	2		2					
	水 中 無 線 機	8		8					
その他の救助用器具	水 中 時 計	3		3					
	バ ス ケ ッ ト 型 担 架	9		4	1	1	1	1	1
	簡 易 画 像 探 索 機	1		1					
	投 光 器	19		10	2	1	2	2	2
	携 帯 投 光 器	30		19	2	2	1	2	4
	携 帯 拡 声 器	25	1	13	3	1	2	2	3
	応 急 処 置 用 セ ッ ト	2		1	1				
	車 両 移 動 器 具	1		1					
	緩 降 機	3		3					
	ロ ー プ 登 降 機	2		2					
	救 助 用 降 下 機	1		1					
緊援隊用資器材	発 電 機	32	3	10	4	3	4	4	4
	エアーテント（6 m × 6 m）	1	1						
	エアーテント（6 m × 5 m）	1	1						
	エアーテント（4 m × 4 m）	1	1						
	簡 易 ベ ッ ド	38	38						
	テ ー プ ル	5	5						
	イ ス	18	18						
	寝 袋	38	38						

5. 消防用水利の現況

施設別	防 水 水 槽 (貯 水 槽)																プー		井	消 火 栓												消					
	公 設								私 設								公 設	私 設																			
	非 耐 震				耐 震				非 耐 震				耐 震					公 (mm)				私 (mm)															
	20t	40t	60t	100t	20t	40t	60t	100t	20t	40t	60t	100t	20t	40t	60t	100t		75		100	150	200	250	300	350以上	計											
	計	以上	40t	計	20t	40t	60t	100t	20t	40t	60t	100t	20t	40t	60t	100t		75		100	150	200	250	300	350以上	計											
市町別	20t	40t	60t	100t	20t	40t	60t	100t	20t	40t	60t	100t	20t	40t	60t	100t	40t	以上	計	設	私 設	戸	75 <td>100<td>150<td>200<td>250<td>300<td>350以上<td>計</td><td>設</td><td>私 設</td><td>350以上<td>計</td></td></td></td></td></td></td></td>	100 <td>150<td>200<td>250<td>300<td>350以上<td>計</td><td>設</td><td>私 設</td><td>350以上<td>計</td></td></td></td></td></td></td>	150 <td>200<td>250<td>300<td>350以上<td>計</td><td>設</td><td>私 設</td><td>350以上<td>計</td></td></td></td></td></td>	200 <td>250<td>300<td>350以上<td>計</td><td>設</td><td>私 設</td><td>350以上<td>計</td></td></td></td></td>	250 <td>300<td>350以上<td>計</td><td>設</td><td>私 設</td><td>350以上<td>計</td></td></td></td>	300 <td>350以上<td>計</td><td>設</td><td>私 設</td><td>350以上<td>計</td></td></td>	350以上 <td>計</td> <td>設</td> <td>私 設</td> <td>350以上<td>計</td></td>	計	設	私 設	350以上 <td>計</td>	計			
岩 国 市	岩国地域	85	72	1	5	33	1	6	113	6	31	3	7	1	14				55	33	1	12	616	588	284	132	87	56	207	1,970	52	62	8	6	12	140	2,110
	由宇地域	1	29			18	1	48			6	1		1				8	4	1	102	54	38	20		5	219	2						2	221		
	玖珂地域	1	21			1	27	49		4	4	1	1				6	3	2	47	100	46	5	19	1	218								0	218		
	本郷地域	3	28			5		33										0	2		14	21	19				54							0	54		
	周東地域	6	57			22	2	81		4	1			6	1			8	11	15	1	75	18	9				103							0	103	
市	錦 地 域	18	70	1		13		84										0	9				70	44	14	7			135	11	4					15	150
	美川地域	9	8			6		14										0	2				14	15				29	24	2					26	55	
	美和地域	2	57			30		87										0	7		77	62	24					163							0	163	
和	木 町	8	1			8		17			1	1					2	3	13	50	35	24	16				3128	4	4						8	136	
計	125	350	3	0	5136	30	7	526	14	43	4	9	1	22	1	0	79	74	1	43	991	994	467	189	106	62	210	3,019	89	72	12	6	0	0	12	191	3,210

IV 通 信 施 設

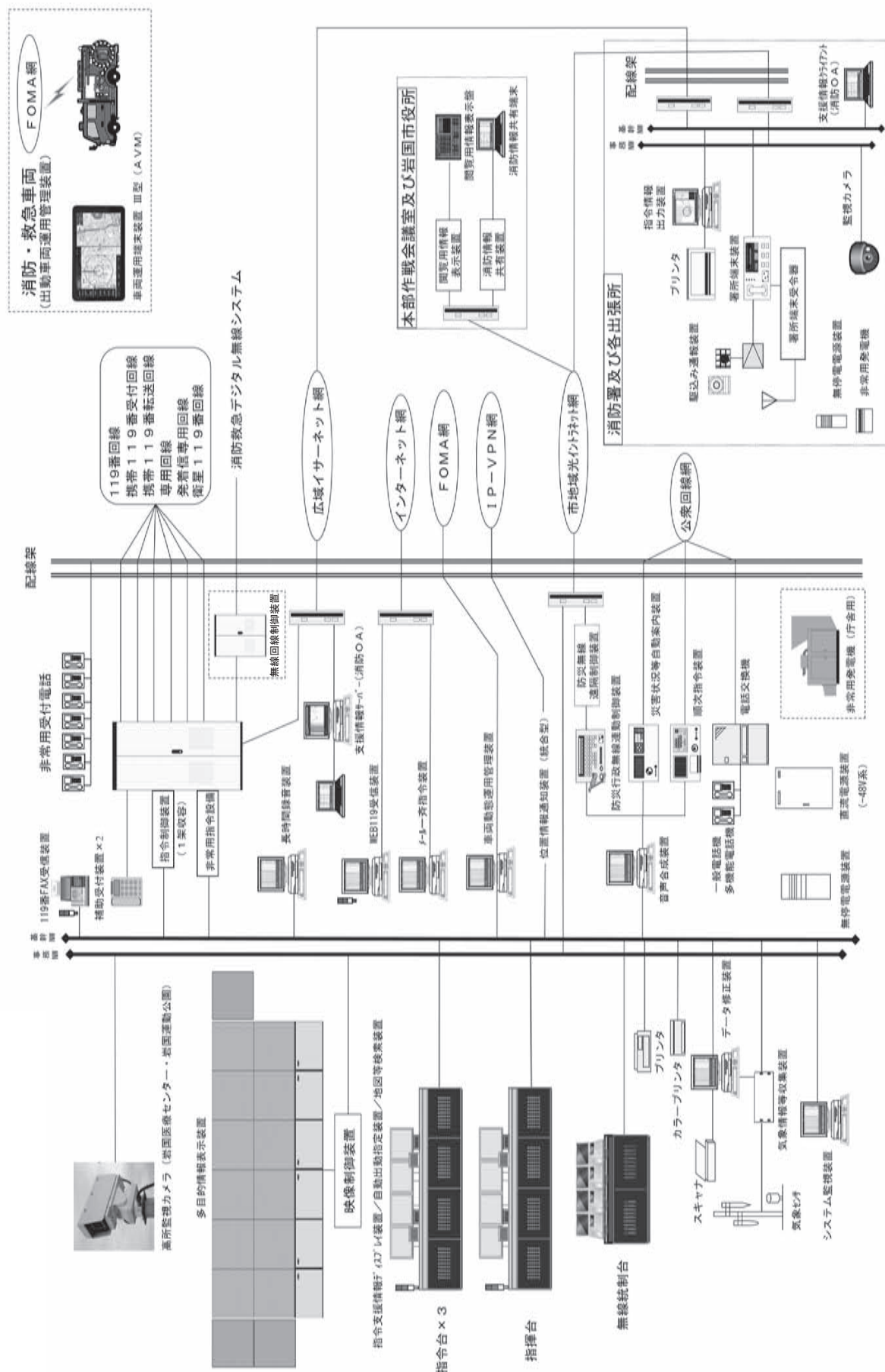


1. 消防通信の概況

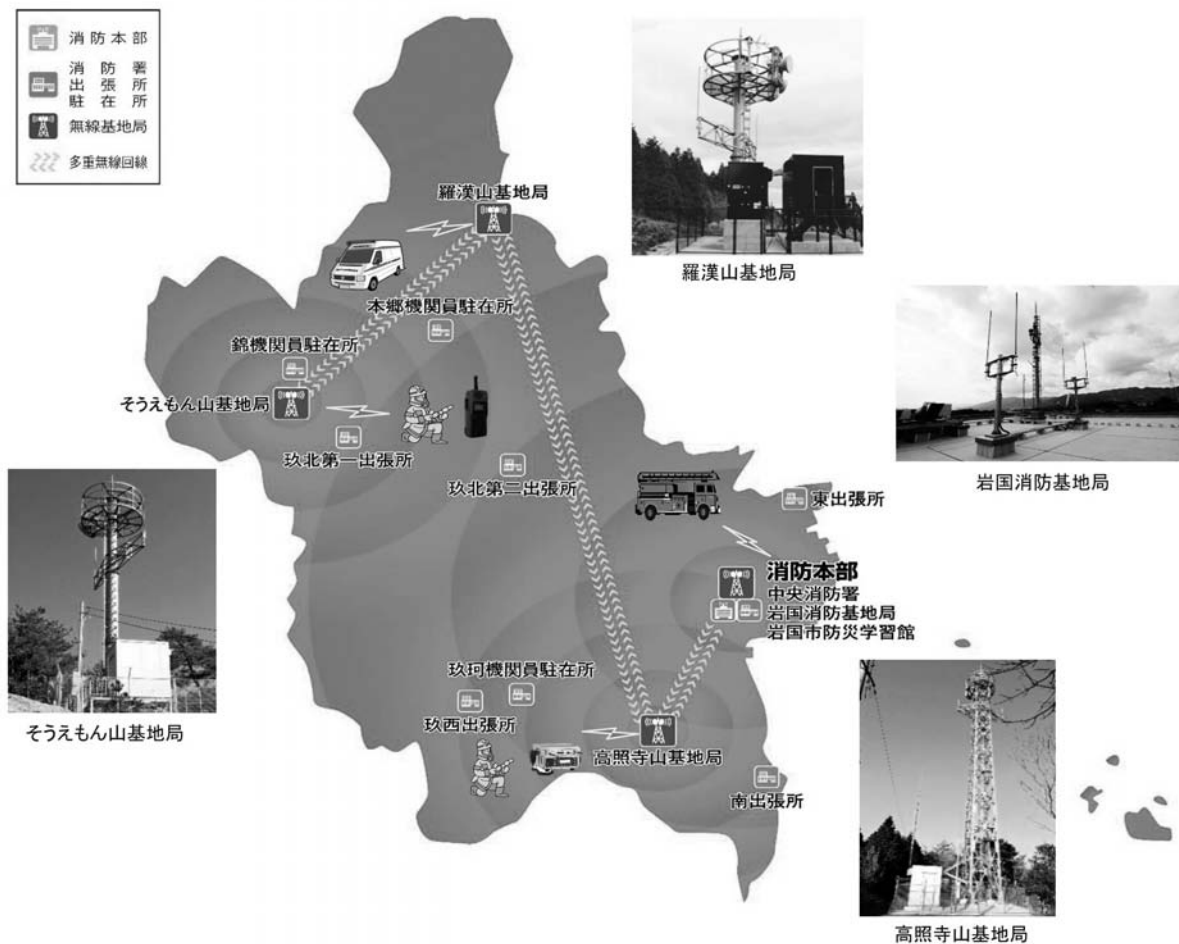
種 別 署 所 別	計	消 防 本 部	中 央 消 防 署								
			本 署	東 出 張 所	南 出 張 所	玖 西 出 張 所	駐 在 所 玖 珂 機 関 員	玖 北 第 一 出 張 所	錦 機 関 員 駐 在 所	玖 北 第 二 出 張 所	駐 在 所 本 郷 機 関 員
計	96	42	8	6	6	8	4	7	4	7	4
通 信 指 令 シ ス テ ム	1	1									
指 令 電 送 回 線	10	2	0	1	1	1	1	1	1	1	1
1 1 9 番 専 用 回 線	4	4									
携 帯 1 1 9 番 回 線	2	2									
1 1 9 番 F A X 受 信 回 線	1	1									
W e b 1 1 9 回 線	1	1									
衛 星 1 1 9 番 回 線	2	2									
携 帯 1 1 9 番 転 送 回 線	1	1									
指 令 台 発 着 信 専 用 回 線	1	1									
関 係 機 関 専 用 回 線	8			1	1	2		2		2	
市 役 所 専 用 回 線	2	2									
警 察 専 用 回 線	1	1									
西日本高速道路(株)専用回線	2	1				1					
米 軍 基 地 専 用 回 線	1	1									
防 火 相 談 ダ イ ヤ ル	1	1									
一 般 加 入 電 話 回 線	11	3	0	1	1	1	1	1	1	1	1
F A X 回 線	12	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1
順 次 指 令 用 加 入 回 線	3	3									
住 民 案 内 回 線	1	1									
G P S - A V M 専 用 回 線	1	1									
I P - V P N 回 線	2	2									
携 帯 電 話	28	8	7	2	2	2	1	2	1	2	1

※ 加入電話兼用回線

2. 高機能消防指令センター構成図



3. デジタル無線通信系統図

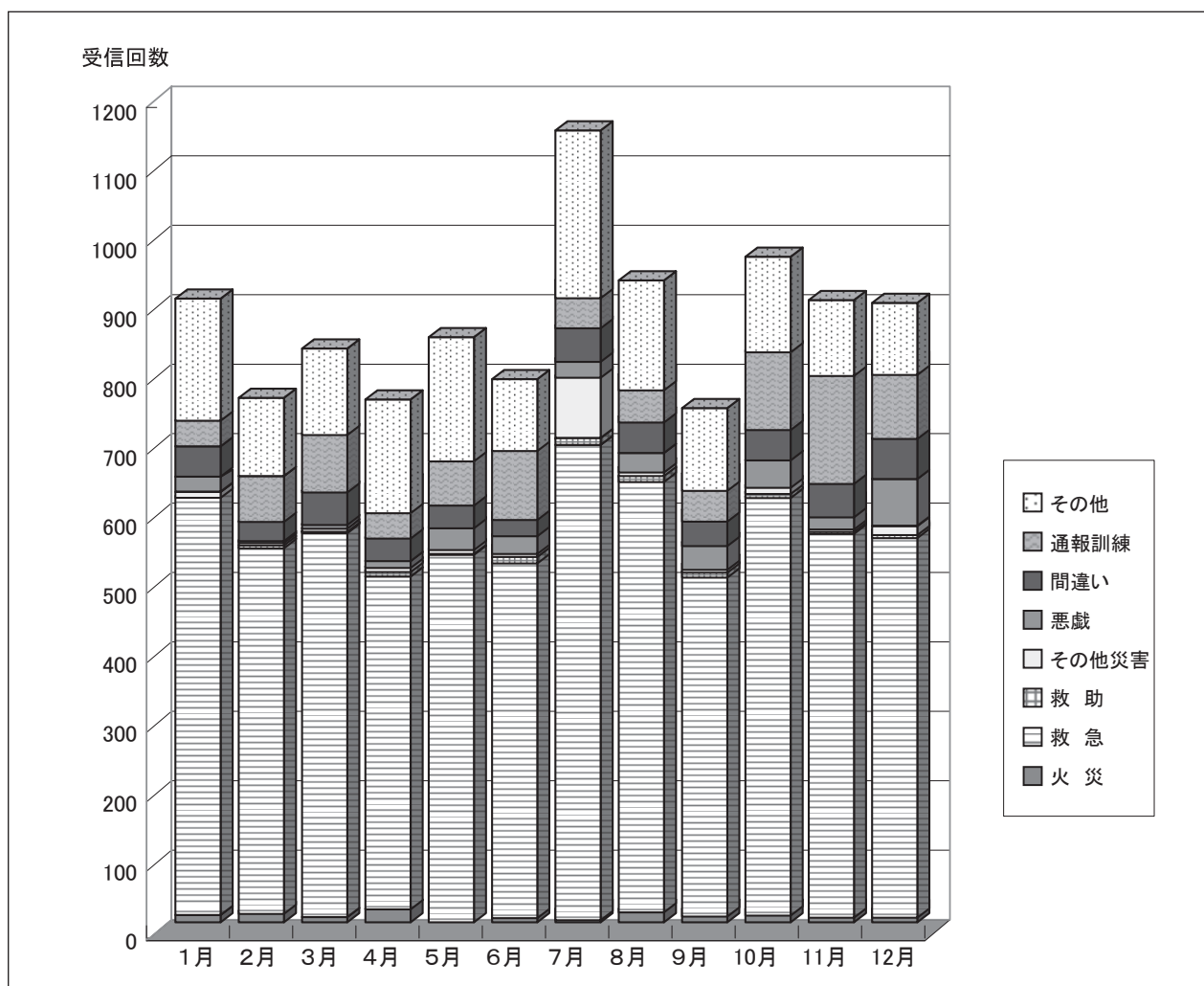


場 所 種 別		消防本部	高照寺山	羅漢山	そうえもん山	中央消防署									合計
						本署	東出張所	南出張所	玖西出張所	玖珂機関員駐在所	玖北第1出張所	錦機関員駐在所	玖北第2出張所	本郷機関員駐在所	
デジタル無線	基地局	1	1	1	1										4
	固定局	1	1	1	1										4
	移動局	卓上型				1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
		車載型	11			18	4	3	3	1	3	1	3	1	48
		携帯型	6			16	4	3	3	1	3	1	3	1	41
		可搬型				1									1
アナログ無線	移動局	車載型	1			7	2								10
		携帯型				7	2								9
		可搬型	1												1

※ 地震等の災害の発生に伴う停電対策として、直流電源装置及び非常用発電機を設置しております。

4. 月別 119 番受信状況

種別 月別	火 災	救 急	救 助	その他災害	悪 戯	間 違 い	通報訓練	そ の 他	計
1 月	8	625	0	3	27	44	38	178	923
2 月	15	542	4	4	1	31	67	116	780
3 月	8	571	1	5	7	48	83	129	852
4 月	22	493	5	6	11	34	37	169	777
5 月	0	548	0	5	33	35	64	183	868
6 月	4	532	9	1	29	23	102	107	807
7 月	2	707	11	88	24	48	45	249	1,174
8 月	15	640	7	6	28	48	47	160	951
9 月	6	508	6	1	40	36	45	122	764
10 月	10	622	6	8	41	45	115	140	987
11 月	4	573	3	3	18	51	158	112	922
12 月	5	567	3	15	67	60	94	108	919
計	99	6,928	55	145	326	503	895	1,773	10,724



V 火 災

1. 火災概況

(1) 火災件数

平成30年中の出火総件数は58件で、前年比8件減少した。この内前年比で建物火災は8件、車両火災は7件の減少で、林野火災は前年と同数であったが、その他火災については7件の増加となっている。

火災による死者は2名で前年より2名減少、負傷者は6名で2名の減少であった。

種 別	件 数	割 合	増 減
建 物 火 災	24件	42%	△8件
林 野 火 災	3件	5%	
車 両 火 災	5件	8%	△7件
船 舶 火 災	0件	0%	—
航 空 機 火 災	0件	0%	—
そ の 他 火 災	26件	45%	7件

(2) 出火原因

出火原因は「たき火」が13件と最も多く、次いで「その他」が11件、「電灯・電話等の配線」が6件の順となっている。

火災種別ごとの主な出火原因は以下のとおりである。

建 物 火 災			林 野 火 災		車 両 火 災		その他の火災	
放	火	1件	た	き	火	2件	マ	ッ
こ	ん	ろ	不	明	そ	の	他	1件
ス	ト	ー			不	明	3件	火
電	灯	・					放	火
電	気	機					電	灯
灯	火	1件					溶	接
た	き	火					ス	ト
火	入	れ					そ	の
そ	の	他					不	明
不	明	4件						

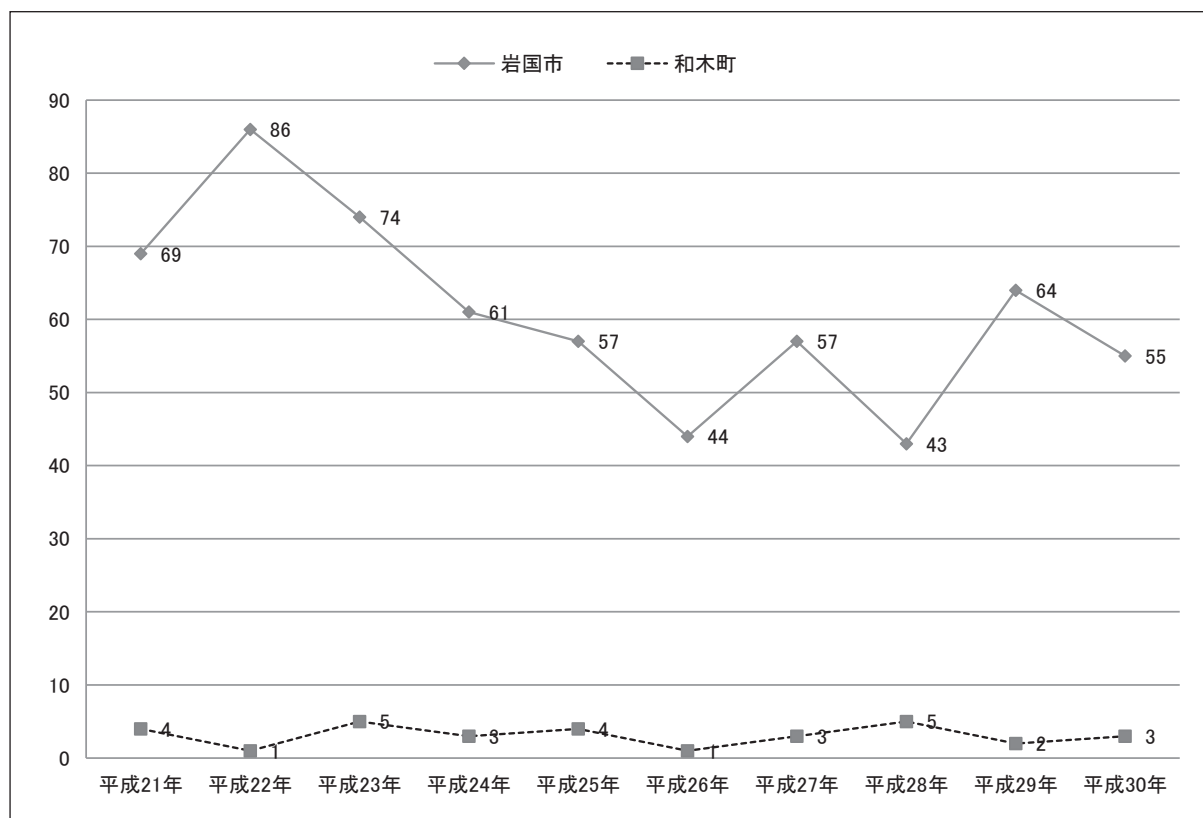
(3) 火災損害

火災損害の合計は56,194（千円）で、前年比117（千円）の減となった。

種 別	損 害 額（千円）	増 減（千円）
建 物 の 損 害	52,430	15,902
林 野 の 損 害	12	△3
車 両 の 損 害	785	△18,390
船 舶 の 損 害	—	—
航 空 機 の 損 害	—	—
そ の 他 の 損 害	2,967	2,608

(4) 年別・管轄別・市町別火災発生状況

管轄別市町別		年別	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	管轄別市町別		年別	平成28年	平成29年	平成30年
中央消防署	本 署		9	19	14	18	14	14	12	中央消防署 (統合後)	本 署		21	39	34
	分 遣 所		8	12	6	9	3	6	5		東 所		8	5	3
	東 所		5	3	7	4	5	1	3		南 所		5	4	4
	南 所		8	5	7	4	3	3	3		玖 西 所		9	13	7
	小 計		30	39	34	35	25	24	23		玖 1 所		2	4	2
西消防署	本 署		16	17	12	7	11	8	20	西消防署 (統合後)	玖 2 所		3	1	8
	玖 西 所		19	23	22	16	16	12	10		計		48	66	58
	玖 1 所		3	3	3	2	2	1	2		岩国地域		25	44	36
	玖 2 所		5	5	8	4	7		5		由宇地域		4	2	3
	小 計		43	48	45	29	36	21	37		玖珂地域		5	3	1
岩国市	岩国地域		36	51	39	36	30	30	38	岩国市	本郷地域		1	1	
	由宇地域		6	4	2	3	2	1	2		周東地域		4	10	6
	玖珂地域		5	5	7	9	6	2	5		錦 地域		2	3	1
	本郷地域		1	2	1	1					美川地域				
	周東地域		13	18	15	7	10	10	5		美和地域		2	1	8
	錦 地域		3	2	2	1	2	1	1		岩国市小計		43	64	55
	美川地域		1	1	1	1			1		和 木 町		5	2	3
	美和地域		4	3	7	3	7		5		計		48	66	58
	岩国市小計		69	86	74	61	57	44	57						
和 木 町			4	1	5	3	4	1	3						
計			73	87	79	64	61	45	60						



2. 管轄別・市町別・月別火災発生状況

区 分 管 轄 別 市 町 別		計	火 災 種 別						爆 発	建 物 火 災												
			焼 損 棟 数								罹 災 世 帯			罹 災 人 員								
			建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他		出 火 棟					類 焼 棟				全 損	半 損	小 損	
										全 焼	半 焼	部 分 焼	ほ や		全 焼	半 焼	部 分 焼	ほ や				
中 央 消 防 署	本 署	34	17		2			15		5	1	3	8	5		3	4	3		8	28	
	東 所	3	2					1			1	1						1	1	5		
	南 所	4		2				2														
	玖 西 所	7	4		2			1		2		2		1		2	4	3		5	16	
	玖 1 所	2						2														
	玖 2 所	8	1	1	1			5		1							1					
計		58	24	3	5			26		8	2	6	8	6		5	9	6	1	14	49	
岩 国 市	岩 国 地 域	36	17	1	2			16		5	1	3	8	5		3	4	3		8	28	
	由 宇 地 域	3		1				2														
	玖 珂 地 域	1	1							1						1	2	1		1	2	
	本 郷 地 域																					
	周 東 地 域	6	3		2			1		1		2		1		1	2	2		4	14	
	錦 地 域	1						1														
	美 川 地 域																					
	美 和 地 域	8	1	1	1			5		1							1					
岩 国 市 小 計		55	22	3	5			25		8	1	5	8	6		5	9	6		13	44	
和 木 町		3	2					1			1	1						1	1	5		
計		58	24	3	5			26		8	2	6	8	6		5	9	6	1	14	49	
1 月		3	2					1		1	1			3					1		2	
2 月		10	3		1			6		1		1	1	2			2			2	2	
3 月		6	2	1	1			2		1			1	1		1	2	2		3	13	
4 月		10	4	2	1			3		1	1	1	1					2		3	10	
5 月		2	1					1				1								1	3	
6 月		5			1			4														
7 月																						
8 月		9	3					6		2			1			1	2			1	6	
9 月		2	1		1								1									
10 月		6	5					1		1		1	3			2	1	1		2	6	
11 月		1						1														
12 月		4	3					1		1		2				1	2	1		2	7	
計		58	24	3	5			26		8	2	6	8	6		5	9	6	1	14	49	

区 分 管 轄 別 市 町 別		死 傷 者		焼 損 面 積			損 害 額 (千円)								
							建 物 損 害			林 野 の 損 害	車 両 の 損 害	船 舶 の 損 害	航 空 機 の 損 害	そ の 他 の 損 害	計
		死 者	負 傷 者	建 物 床 面 積 (㎡)	建 物 表 面 積 (㎡)	林 野 面 積 (a)	建 物 物	収 容 物	小 計	林 野 の 損 害	車 両 の 損 害	船 舶 の 損 害	航 空 機 の 損 害	そ の 他 の 損 害	計
中 央 消 防 署	本 署	1	3	782	31	1	8,704	13,542	22,246		243			369	22,858
	東 所		1	31	1		560	146	706						706
	南 所					15									
	玖 西 所			375	71		27,251	2,175	29,426		382			2,561	32,369
	玖 1 所	1												1	1
	玖 2 所		2	16		14	50	2	52	12	160			36	260
計		2	6	1,204	103	30	36,565	15,865	52,430	12	785			2,967	56,194
	岩 国 地 域	2	3	782	31	7	8,704	13,542	22,246		243			370	22,859
	由 宇 地 域					9									
	玖 珂 地 域			205	20		23,360	1,479	24,839		2			2,555	27,396
	本 郷 地 域														
	周 東 地 域			170	51		3,891	696	4,587		380			6	4,973
	錦 地 域														
	美 川 地 域														
	美 和 地 域		2	16		14	50	2	52	12	160			36	260
岩 国 市 小 計		2	5	1,173	102	30	36,005	15,719	51,724	12	785			2,967	55,488
和 木 町			1	31	1		560	146	706						706
計		2	6	1,204	103	30	36,565	15,865	52,430	12	785			2,967	56,194
1 月			1	434		1	5,533	2,702	8,235					204	8,439
2 月				136			1,299	8,148	9,447		81			144	9,672
3 月		1	1	169	36	9	3,887	694	4,581		250			5	4,836
4 月		1	1	127		20	1,249	451	1,700	12	210			19	1,941
5 月					1		10	2	12						12
6 月											62			1	63
7 月															
8 月				25	6		69	8	77					19	96
9 月					1		2		2		180			6	188
10 月				108	34		1,111	2,365	3,476					14	3,490
11 月															
12 月			3	205	25		23,405	1,495	24,900		2			2,555	27,457
計		2	6	1,204	103	30	36,565	15,865	52,430	12	785			2,967	56,194

3. 火災別・市町別・月別出火原因

区 分 管轄別 市町別		合 計	放火	タバコの火	たき火	こじん	ストーブ	火あそび	火入れ	電灯・電話等の配線	マッチ・ライター	配線器具	焼却炉	電気機器	溶接機・切断機	排気管	風呂かまど	灯台	電気装置	煙突・煙道	取火	衝突の火	内燃機	コタツ	ボイラ	かまど	その他	不明・調査中
		計	火	コ	い	火	ろ	ブ	び	れ	1																	
火災種別	建物	24	1			2	3	2		1	1			4				1									5	4
	林野	3				2																						1
	車両	5										1															1	3
	船舶																											
	航空機																											
	その他	26	1	1		9		1	1		5				2												5	1
爆発																												
計		58	2	1		13	3	3	1	1	6	1		4	2			1									11	9
岩国市小計	岩国地域	36	2	1		5	3	1	1	1	5			4	1												6	6
	由宇地域	3				3																						
	玖珂地域	1																1										
	本郷地域																											
	周東地域	6				1		1																			2	2
	錦地域	1				1																						
	美川地域																											
	美和地域	8				3					1	1															2	1
岩国市小計		55	2	1		13	3	2	1	1	6	1		4	1			1									10	9
和木町		3						1							1												1	
周南市																												
大竹市																												
その他																												
計		58	2	1		13	3	3	1	1	6	1		4	2			1									11	9
1 月		3						1																			1	1
2 月		10				3		1		3				1	1												1	
3 月		6	1			1			1		1			1														1
4 月		10	1			4	2			1																		2
5 月		2																									2	
6 月		5								2					1												1	1
7 月																												
8 月		9		1		3				1																	3	1
9 月		2												1														1
10 月		6				1								1													2	2
11 月		1				1																						
12 月		4					1	1										1									1	
計		58	2	1		13	3	3	1	1	6	1		4	2			1									11	9

4. 平成 30 年中の主な火災

整理 番号	火 災 種 別	出 火 月 日	出 火 時 分 (頃)	入 電 時 分	鎮 火 時 分	出 火 場 所	火 元 用 途	焼 損 面 積 (㎡)	死傷者		損 害 額 (千円)
									死 者	負 傷 者	
1	建物	1月9日	20：20	20：41	14：30	岩国市叶木	倉庫	403			7,545
2	建物	2月23日	11：10	11：25	13：10	岩国市竹安	倉庫	135			9,453
3	その他	3月17日	11：00	12：03	11：05	岩国市美川町	衣類		1		1
4	建物	4月27日	3：20	3：33	4：48	岩国市南岩国町	住宅	84			1,318
5	建物	4月27日	14：30	14：59	15：10	岩国市藤生町	住宅		1		2
6	建物	10月1日	11：45	12：01	14：12	岩国市錦見	住宅	108			1,464
7	建物	10月29日	10：10	10：25	12：00	岩国市平田	ごみ処理場				2,000
8	建物	12月2日	0：00	0：28	4：25	岩国市玖珂町	住宅	205			27,396

※ 損害額が100万円以上、死者の生じた火災を計上。

5. 過去 10 年間の火災動態

種 別 年 別	火 災 種 別							損 害 額 (単位千円)	死 傷 者	
	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	計		死 者	負傷者
平成 21 年	35	9	5			24	73	64,123	6	14
〃 22 年	40	8	9			30	87	134,085	2	10
〃 23 年	36	7	12			24	79	110,201	5	9
〃 24 年	32	1	6			25	64	53,172	1	20
〃 25 年	24	2	5			30	61	1,216,255	2	29
〃 26 年	21	5	4			15	45	231,854	3	15
〃 27 年	29		10			21	60	44,630	2	6
〃 28 年	23		4			21	48	203,612	1	6
〃 29 年	32	3	12			19	66	53,737	4	8
〃 30 年	24	3	5			26	58	56,194	2	6
計	296	38	72	0	0	235	641	2,167,863	28	123

6. 過去10年間の建物火災発生場所分類

年 別 場 所	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
計	35	40	36	32	24	21	29	23	32	24
住 宅	21	17	15	13	10	8	11	13	15	14
併 用 住 宅								1	1	
共 同 住 宅	2	5	2	7		1	4	2	3	1
劇 場										
公 会 堂					1					
キ ャ バ レ ー		1								
遊 技 場										
性 風 俗										
カラオケボックス										
料 理 店										
飲 食 店	1		1					1	2	1
物 品 販 売 店 舗		1	1	1			1		2	
旅 館		1	1	1	1	1				
病 院										
グ ル ー プ ホ ー ム										
社 会 福 祉 施 設									1	
幼 稚 園							1			
学 校					1					
図 書 館										
特 殊 浴 場										
公 衆 浴 場										
停 車 場										
神 社 ・ 寺 院		1	2				1			
工 場	3	1		2	2	2	5	2	3	1
ス タ ジ オ										
駐 車 場										
航 空 機 格 納 庫										
倉 庫	2		3	2	2	2	1		2	1
事 務 所		1		1	1	1		2		
複 合 用 途 (特 定)	1	1		1	4	2	1			
複 合 用 途 (非 特 定)			3	2		1	1	1	2	
地 下 街										
準 地 下 街										
文 化 財										
そ の 他	5	11	8	2	2	3	3	1	1	6

VI 救 急

1. 救急概況

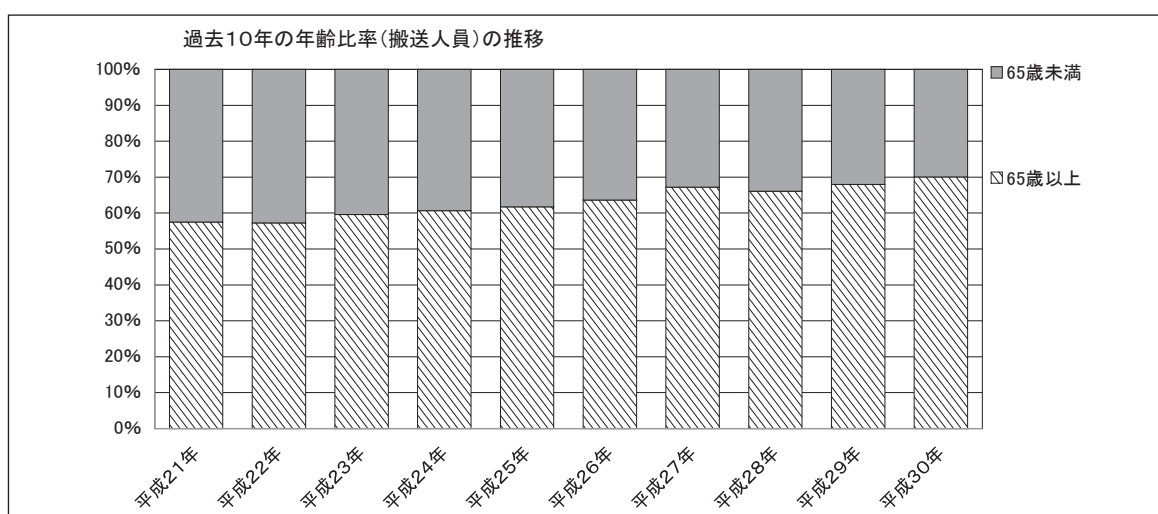
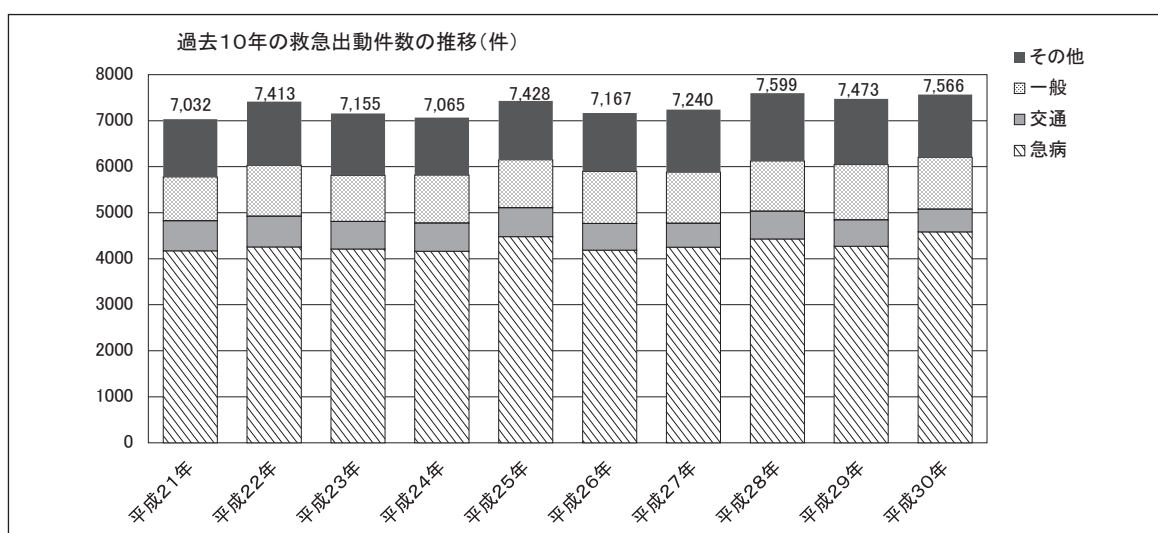
救急業務は、昭和38年に法制化された後、平成3年に救急救命士制度が発足、以降着実に救急業務の高度化が図られてきており、地域住民にとって不可欠な行政サービスとして定着している。

平成30年の出動件数は7,566件（1日平均20.7件）で、平成29年に比べると93件の増加、搬送人員も6,830人と188人の増加となっており、出動・搬送人員ともに増加傾向にある。

現場到着までの所要時間は平均で8.5分、医療機関収容までの所要時間は平均39.2分となっている（入電起点）

搬送人員の年齢比率を見ると、65歳以上の搬送人員が4,787人（全体の70%）となっており、超高齢化への急速な移行は依然深刻化し継続している。

今後も引きつづき医療機関との連携強化につとめ、指導救命士を中心としたメディカルコントロール体制の充実、またAEDの普及に伴い、バイスタンダーが行う応急手当の普及啓発活動の推進に積極的に取り組む必要がある。



2. 管轄別・市町別・月別救急発生状況

種 別 管 轄 別 市 町 別 月 別		計			火 災			自 然 災 害			水 難 事 故			交 通 事 故			労 働 災 害		
		出 動 件 数	不 搬 送	搬 送 人 員	出 動 件 数	不 搬 送	搬 送 人 員	出 動 件 数	不 搬 送	搬 送 人 員	出 動 件 数	不 搬 送	搬 送 人 員	出 動 件 数	不 搬 送	搬 送 人 員	出 動 件 数	不 搬 送	搬 送 人 員
中 央 消 防 署	本 署	4,585	512	4,101	30	25	5	6	2	4	5	4	1	332	46	308	37		37
	東 所	770	103	672	1	1					1	1		48	7	46	13		13
	南 所	571	38	538										26	1	30	4		4
	玖 西 所	1,080	97	991	7	7		1		1				62	5	65	11		11
	玖 1 所	244	12	236	1	1								14	1	17	3		3
	玖 2 所	316	27	292	1		1							12		15	1		1
計		7,566	789	6,830	40	34	6	7	2	5	6	5	1	494	60	481	69		69
岩 国 市	岩国地域	5,102	575	4,561	24	21	3	5	1	4	6	5	1	362	49	341	49		49
	由宇地域	381	26	356	1	1								15	1	15	1		1
	玖珂地域	571	51	523	1	1								27	2	28	4		4
	本郷地域	76	10	69										6	1	8	1		1
	周東地域	667	65	609	7	7		2	1	1				50	5	52	8		8
	錦 地 域	155	8	148										10		11	2		2
	美川地域	80	6	75										5		6			
	美和地域	244	12	235	3	1	2							9		12			
岩 国 市 小 計		7,276	753	6,576	36	31	5	7	2	5	6	5	1	484	58	473	65		65
和 木 町		285	34	251	2	1	1							7	2	5	4		4
周 南 市		2	1	1	1	1					1		1						
大 竹 市		2	1	1	1	1					1		1						
そ の 他		1		1							1		1						
合 計		7,566	789	6,830	40	34	6	7	2	5	9	5	4	491	60	478	69		69
1 月		679	69	613	4	3	1							53	5	51	3		3
2 月		616	74	543	10	10								31	4	28	7		7
3 月		613	58	555	2	1	1							31	1	30	3		3
4 月		539	63	484	7	5	2							42	7	43	5		5
5 月		623	65	561	1	1					2	2		44	10	37	8		8
6 月		570	77	500	2	2					2	1	1	42	5	41	8		8
7 月		746	81	669				7	2	5				45	3	46	11		11
8 月		707	65	650	2	2								48	4	52	6		6
9 月		573	50	526	2	2								31	10	24	1		1
10 月		667	76	600	6	6					1	1		48	5	51	2		2
11 月		614	43	576							1	1		39	3	40	7		7
12 月		619	68	553	4	2	2							40	3	38	8		8
計		7,566	789	6,830	40	34	6	7	2	5	6	5	1	494	60	481	69		69

種 別 管 轄 別 市 町 別		運 動 競 技			一 般 負 傷			加 害			自 損 行 為			急 病			そ の 他		
		出 動 件 数	不 搬 送 人 員	搬 送 人 員	出 動 件 数	不 搬 送 人 員	搬 送 人 員	出 動 件 数	不 搬 送 人 員	搬 送 人 員	出 動 件 数	不 搬 送 人 員	搬 送 人 員	出 動 件 数	不 搬 送 人 員	搬 送 人 員	出 動 件 数	不 搬 送 人 員	搬 送 人 員
中 央 消 防 署	本 署	29		30	683	47	638	19	6	14	28	7	21	2,718	283	2,437	698	92	606
	東 所	4		4	117	9	108				8	2	6	493	64	429	85	19	66
	南 所	2		2	93	5	88				1		1	400	31	369	45	1	44
	玖 西 所	9	1	8	136	9	127	2	1	1	12	3	9	649	61	588	191	10	181
	玖 1 所				40	1	39				1		1	143	7	136	42	2	40
	玖 2 所				60	3	57				2	2		180	18	162	60	4	56
計		44	1	44	1,129	74	1,057	21	7	15	52	14	38	4,583	464	4,121	1,121	128	993
	岩国地域	31		32	778	54	726	18	6	13	33	9	24	3,097	332	2,767	699	98	601
	由宇地域				51	2	49				2		2	261	20	241	50	2	48
	玖珂地域	6	1	5	70	5	65	2	1	1	4	1	3	308	32	276	149	8	141
	本郷地域				13		13							53	8	45	3	1	2
	周東地域	4		4	90	6	84				8	2	6	431	38	393	67	6	61
	錦 地域				22	1	21							81	5	76	40	2	38
	美川地域				15	1	14				1		1	58	5	53	1		1
	美和地域				48	2	46				2	2		123	4	119	59	3	56
岩 国 市 小 計		41	1	41	1,087	71	1,018	20	7	14	50	14	36	4,412	444	3,970	1,068	120	948
和 木 町		3		3	42	3	39	1		1	2		2	171	20	151	53	8	45
周 南 市																			
大 竹 市																			
そ の 他																			
合 計		44	1	44	1,129	74	1,057	21	7	15	52	14	38	4,583	464	4,121	1,121	128	993
1 月		4	1	3	97	8	89				3		3	424	43	381	91	9	82
2 月		2		2	88	4	84	1		1	5	2	3	392	47	345	80	7	73
3 月		5		5	92	10	82	2	1	1	7	1	6	380	39	341	91	5	86
4 月		5		5	89	4	85	3	1	2	5		5	298	35	263	85	11	74
5 月		1		1	101	7	94	1		1	5	2	3	377	33	344	83	10	73
6 月		5		6	95	12	84	1		1	1	1		329	38	292	85	18	67
7 月		5		5	101	5	96	3	1	2	4	2	2	470	51	419	100	17	83
8 月		6		6	89	5	84	1		1	9	3	6	445	33	412	101	18	83
9 月		2		2	90	4	86	1		1	3		3	334	24	310	109	10	99
10 月		1		1	99	8	91	4	3	1	5	1	4	380	41	340	121	11	110
11 月		4		4	89	1	89	2		2	3		3	372	32	340	97	6	91
12 月		4		4	99	6	93	2	1	2	2	2		382	48	334	78	6	72
計		44	1	44	1,129	74	1,057	21	7	15	52	14	38	4,583	464	4,121	1,121	128	993

3. 現場到着所要時間別出場件数

時間 種別	計	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	平均所要 時間(分)
急病	4,583	46	417	2,961	947	212	8.6
交通	494	3	51	290	101	49	9.7
一般負傷	1,129	15	89	747	226	52	8.5
その他	1,360	93	216	748	252	51	7.8
計	7,566	157	773	4,746	1,526	364	8.5

4. 病院収容所要時間別搬送人員

時間 種別	計	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	平均所要 時間(分)
急病	4,121	1	125	1,128	2,424	427	16	39.4
交通	481	2	10	118	282	68	1	41.8
一般負傷	1,057		26	256	663	109	3	40.2
その他	1,171	1	167	367	502	128	6	36.4
計	6,830	4	328	1,869	3,871	732	26	39.2

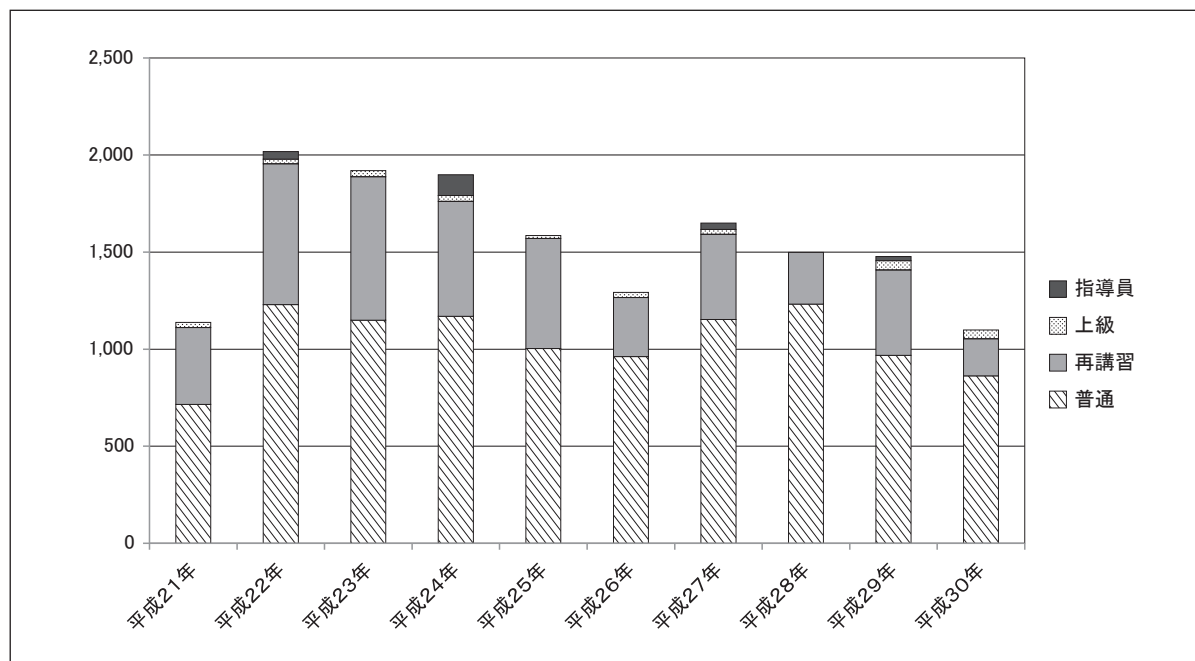
5. 応急手当普及啓発活動実施状況

事故などで心肺停止になった人を救うには、救急車が到着するまでの間に、そばに居合わせた人が速やかに心肺蘇生などの応急手当を行う必要があります。

心臓が止まってしまうような重大な事故は、いつ、どこで、何が原因で起こるかわかりません。心臓と呼吸が止まってから時間の経過とともに救命の可能性は急激に低下しますが、救急隊を待つ間に居合わせた人が心肺蘇生などを行うと救命の可能性が2倍程度に保たれることがわかっています。

いざという時のために地域の皆さまが応急手当の知識と技術を身につけて勇気を持って実践できるよう、応急手当の普及啓発活動を積極的に実施しております。

区 分 年 別	普 通 救 命 講 習			上 級 救 命 講 習		指 導 員 講 習		計	
	回 数	人 員	再講習人員	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員
平 成 2 1 年	49	716	396	1	26			50	1,138
平 成 2 2 年	88	1,229	726	1	24	2	39	91	2,018
平 成 2 3 年	79	1,149	739	1	32			80	1,920
平 成 2 4 年	85	1,169	593	1	29	2	108	88	1,899
平 成 2 5 年	69	1,003	567	1	16			70	1,586
平 成 2 6 年	55	962	304	1	27			56	1,293
平 成 2 7 年	63	1,153	439	1	25	2	32	66	1,649
平 成 2 8 年	56	1,232	267					56	1,499
平 成 2 9 年	69	968	440	1	48	2	21	72	1,477
平 成 3 0 年	59	862	191	1	46			60	1,099



VII 救 助

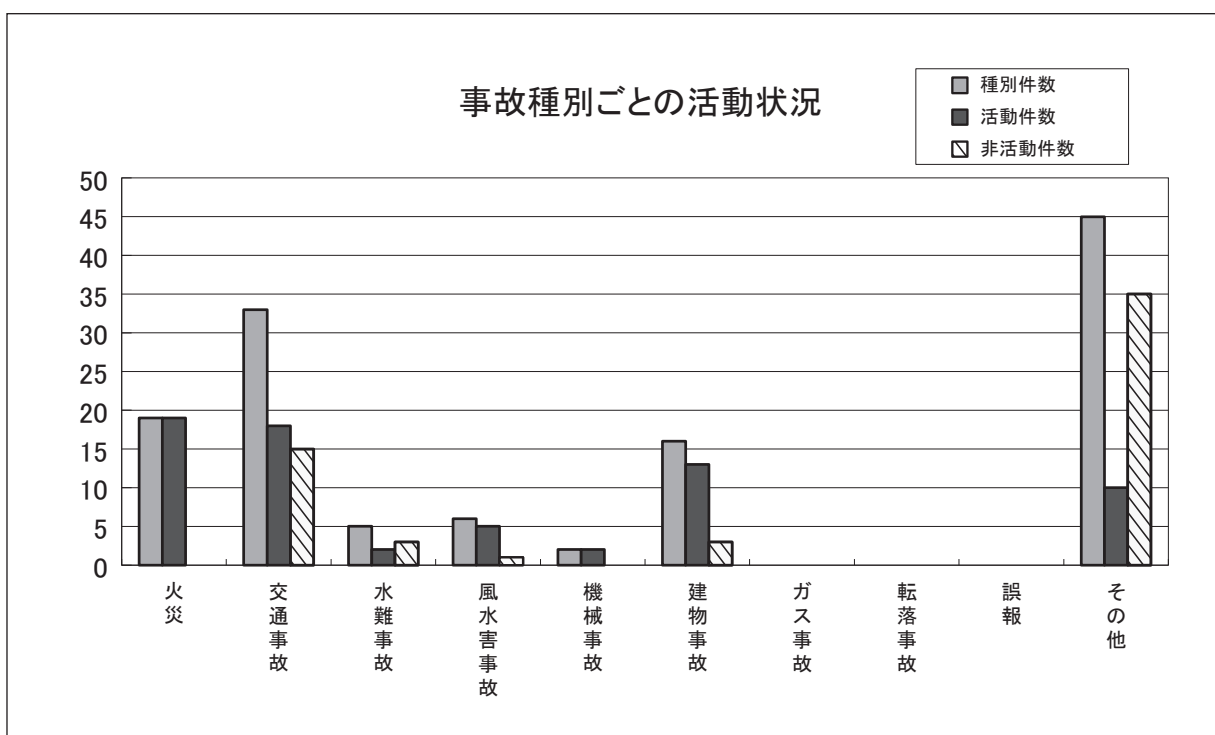
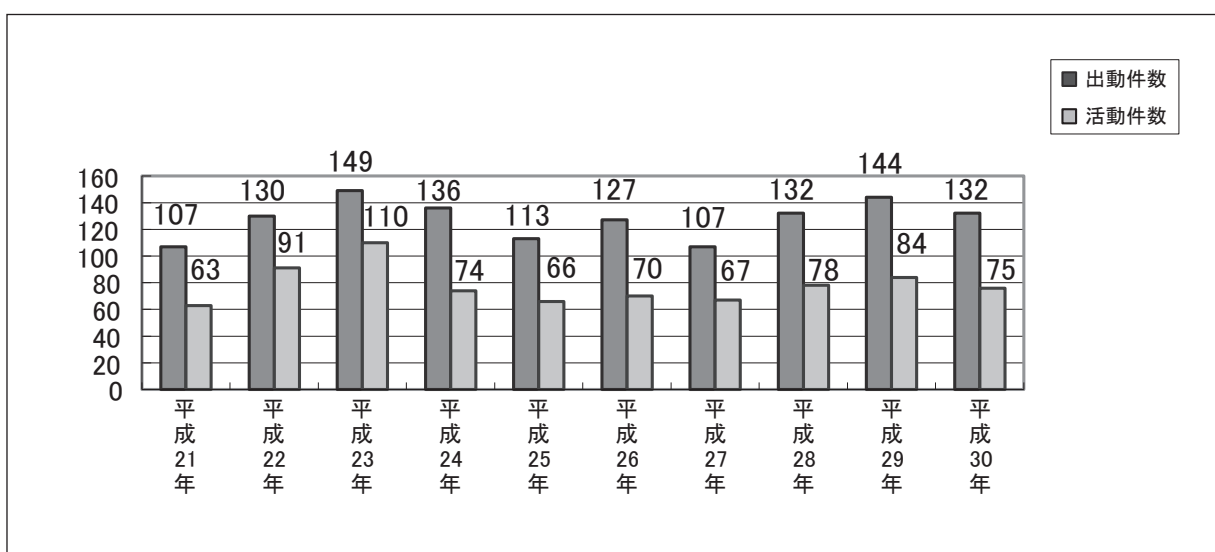
1. 救 助 概 況

当消防組合では、専任救助隊及び兼任救助隊の2隊を編成しており、複雑多様化する社会事象を反映し、その活動は広範多岐に及んでいる。

平成30年中における救助出動は132件（前年比12件減）で、このうち交通事故による出動が33件、火災による出動が19件であり、全体の39%を占めている。

また、大規模災害への対応や都市型救助等新しい資機材での救助活動を確立するため、日々訓練を実施している。

過去10年間の救助出動・活動件数



2. 救助出動・活動状況

事故種別		火災事故				交通事故		水難事故		自然災害等		機械による事故		建物事故		ガス事故及び		破裂事故		その他		計	
		建物火災		の建物火災以外																			
		活動状況		出場	活動	出場	活動	出場	活動	出場	活動	出場	活動	出場	活動	出場	活動	出場	活動	出場	活動	出場	活動
出動活動人員	専任救助隊員	54	45	20	13	104	33	24	7	8	8	6	6	49	31					136	13	401	156
	兼任救助隊員	34	34			49	19	14	6	3	3	3	3	25	12					42	10	170	87
	消防隊員	209	169	60	47	166	60	25	11	71	51	9	9	29	17					321	20	890	384
	救急隊員	61	43	16	16	156	60	18	6	13	9	6	6	49	40					133	24	452	204
	消防団員	272	68	2						28	28									1		303	96
	計	630	359	98	76	475	172	81	30	123	99	24	24	152	100					633	67	2216	927
出動活動車両	救助工作車	17	15	6	4	33	11	5	2	1	1	2	2	16	10					41	4	121	49
	消防ポンプ車	57	49	13	10	36	16	10	4	12	8	2	2	9	5					73	6	212	100
	梯子車	1		1																3		5	
	化学車	1		1	1															2		4	1
	指揮・指令車	21	18	8	6	38	13	5	2	2	2	2	2	9	5					48	3	133	51
	救急車	21	15	6	6	53	20	6	2	4	3	2	2	16	13					45	8	153	69
	ヘリコプター																						
	その他	4	2	1				5	2	7	6			1	1					4		22	11
	消防団車両	37	5							2	2									1		40	7
	計	159	104	36	27	160	60	31	12	28	22	8	8	51	34					217	21	690	288
発生場所別状況	住居	11	11							5	5			14	12					11	1	41	29
	その他の屋内	7	7											1						5	1	13	8
	高速自動車道					1														2		3	
	その他の道路			1	1	27	14			1										1		30	15
	内水面					1	1	4	2											1		6	3
	外水面							1														1	
	山岳																						
	その他の屋外	1	1	5	5	4	3					2	2	1	1					25	8	38	20
	地下																						
	その他																						
計	19	19	6	6	33	18	5	2	6	5	2	2	16	13					45	10	132	75	
他機関活動状況	警察車両									1										9		10	
	海上保安庁																						
	日本赤十字																						
	自衛隊									1													1
	水防団																						
	電力会社																						
	他の公的機関									1										1		2	
	事業主体																						
	民間																						
計									3										10		13		
搬送車両	救急車		1			18		1		2		2		8						7		39	
	ヘリコプター																						
	他の消防車両																						
	消防機関以外									1												1	
	計		1			18		1		3		2		8						7		40	

3. 管轄別・市町別救助出動状況

事故種別 管轄別 市町別	救助出動件数	救助活動件数	救助人員	火災事故			交通事故			水難事故			風水害等自然災害			機械による事故			建物事故			ガス及び酸欠事故			破裂事故			その他の事故		
				建物火災			建物以外																							
				出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員
中央消防署	本 署	84	48	29	14	14	1	4	4	15	7	7	4	2	2	3	3	3	1	1	1	15	12	11				28	5	4
	東 所	4	2	1	1	1				1	1	1	1															1		
	南 所	6	2	2						2	1	1					1	1	1									3		
	玖西所	26	15	15	3	3		2	2	8	5	5				3	2	6				1	1	1				9	2	3
	玖1所	3	3	3						1	1	1																2	2	2
	玖2所	9	5	5	1	1				6	3	4																2	1	1
合 計		132	75	55	19	19	1	6	6	33	18	19	5	2	2	6	5	9	2	2	2	16	13	12				45	10	10
岩国市小計	岩国地域	86	47	29	13	13	1	4	4	17	7	7	5	2	2	3	3	3	1	1	1	15	12	11				28	5	4
	由宇地域	5	2	2						2	1	1					1	1	1									2		
	玖珂地域	9	3	2	1	1				3	2	2																5		
	本郷地域	2	2	2						2	2	2																		
	周東地域	17	13	13	3	3		2	2	4	3	3				3	2	6				1	1	1				4	2	3
	錦 地域	3	3	3						1	1	1																2	2	2
	美川地域																													
	美和地域	7	3	3	1	1				3	1	2																3	1	1
岩国市小計		129	73	54	18	18	1	6	6	32	17	18	5	2	2	6	5	9	2	2	2	16	13	12				44	10	10
和 木 町		3	2	1	1	1				1	1	1																1		
大 竹 市																														
周 南 市																														
そ の 他																														
合 計		132	75	55	19	19	1	6	6	33	18	19	5	2	2	6	5	9	2	2	2	16	13	12				45	10	10

VIII 予 防

1. 防火対象物の現況（その1 市町別）

市 町 別			岩 国 市	和 木 町	計
1	イ	劇場・映画館・演劇場・観覧場	6		6
	ロ	公会堂・集会場	95	8	103
2	イ	キャバレー・カフェ ナイトクラブ等	2		2
	ロ	遊技場・ダンスホール	10		10
	ハ	性風俗営業店舗等			
	ニ	カラオケ、ビデオ個室等	2		2
3	イ	待合・料理店等	3		3
	ロ	飲食店	90	1	91
4		百貨店・マーケット等	161	3	164
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	58	1	59
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1,248	64	1,312
6	イ	病院・診療所・助産所	74	4	78
	ロ	老人短期入所施設 有料老人ホーム等	77	1	78
	ハ	老人デイサービスセンター等	101	1	102
	ニ	幼稚園・特別支援学校	36	1	37
7		小学校・中学校 高等学校・大学等	202	4	206
8		図書館・博物館・美術館	9	1	10
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場 熱気浴場等			
	ロ	イ以外の公衆浴場	2		2
10		停車場・発着場	6	2	8
11		神社・寺院・教会等	50	2	52
12	イ	工場・作業場	632	64	696
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫・駐車場	58	3	61
	ロ	飛行機・航空機格納庫			
14		倉庫	493	18	511
15		全各項に該当しない事業所	519	48	567
16	イ	複合用途防火対象物（特防）	305	5	310
	ロ	イ以外の複合防火対象物	238	5	243
17		重要文化財等	17	1	18
18		延長50メートル以上のアーケード	3		3
計			4,497	237	4,734

1. 防火対象物の現況（その2 署所別）

署 所 別 項 別			中 央 消 防 署						計
			本署	東所	南所	玖西所	玖1所	玖2所	
1	イ	劇場・映画館・演劇場・観覧場	5				1		6
	ロ	公会堂・集会場	33	17	10	19	10	14	103
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等	2						2
	ロ	遊技場・ダンスホール	5	3		2			10
	ハ	性風俗営業店舗等							
	ニ	カラオケ、ビデオ個室等	2						2
3	イ	待合・料理店等	2					1	3
	ロ	飲食店	65	7	3	12	2	2	91
4		百貨店・マーケット等	98	16	14	29	4	3	164
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	29	7	2	14	6	1	59
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	813	270	83	126	10	10	1,312
6	イ	病院・診療所・助産所	50	4	6	15	1	2	78
	ロ	老人短期入所施設 有料老人ホーム等	31	4	13	21	4	5	78
	ハ	老人デイサービスセンター等	44	12	13	22	4	7	102
	ニ	幼稚園・特別支援学校	28	4	2	3			37
7		小学校・中学校 高等学校・大学校	98	20	18	34	20	16	206
8		図書館・博物館・美術館	6	1	1	1		1	10
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場 熱気浴場等							
	ロ	イ以外の公衆浴場	1				1		2
10		停車場・発着場	5	3					8
11		神社・寺院・教会等	28	6	5	13			52
12	イ	工場・作業場	352	156	54	100	13	21	696
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ							
13	イ	自動車車庫・駐車場	33	9	2	6	7	4	61
	ロ	飛行機・航空機格納庫							
14		倉庫	197	101	68	116	17	12	511
15		全各項に該当しない事業所	261	106	42	102	36	20	567
16	イ	複合用途防火対象物（特防）	238	25	16	22	6	3	310
	ロ	イ以外の複合防火対象物	150	47	13	24	7	2	243
17		重要文化財等	10	1		2	2	3	18
18		延長50メートル以上のアーケード	3						3
計			2,589	819	365	683	151	127	4,734

2. 中高層建築物

階 別			3 階	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階 以上	計
項 別												
1	イ	劇場・映画館・演劇場・観覧場	1									1
	ロ	公会堂・集会場	6	2		1						9
2	イ	キャバレー・カフェ ナイトクラブ等										
	ロ	遊技場・ダンスホール	1		1							2
	ハ	性風俗営業店舗等										
	ニ	カラオケ、ビデオ個室等	2									2
3	イ	待合・料理店等	2									2
	ロ	飲食店	8	4	6	1						19
4		百貨店・マーケット等	3	3	1		1					8
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	16	8	1		1		2	3	1	32
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	226	75	94	15	7	7	3	10	28	465
6	イ	病院・診療所・助産所	12	7	4	1					1	25
	ロ	老人短期入所施設 有料老人ホーム等	15	5	1	1						22
	ハ	老人デイサービスセンター等	8	3								11
	ニ	幼稚園・特別支援学校	6									6
7		小学校・中学校 高等学校・大学等	71	8	2			1				82
8		図書館・博物館・美術館等	3	2								5
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場 熱気浴場等										
	ロ	イ以外の公衆浴場										
10		停車場・発着場										
11		神社・寺院・教会等	5				1					6
12	イ	工場・作業場	61	30	7	1	1		2		2	104
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ										
13	イ	自動車車庫・駐車場	1		1	3						5
	ロ	飛行機・航空機格納庫										
14		倉庫	12	3	1	3	1					20
15		全各項に該当しない事業所	75	32	17	8	1	1	1			135
16	イ	複合用途防火対象物（特防）	78	40	15	10	4	2	2	1	1	153
	ロ	イ以外の複合防火対象物	80	37	8	7	5	3	2		2	144
17		重要文化財等	1									1
18		延長50メートル以上のアーケード										
計			693	259	159	51	22	14	12	14	35	1,259

3. 防火管理者選任状況

署 所 別 項 別			対象物	中 央 消 防 署						計
				本署	東所	南所	玖西所	玖1所	玖2所	
1	イ	劇場・映画館・演劇場・観覧場	2	1				1		2
	ロ	公会堂・集会場	94	29	18	9	18	7	11	92
2	イ	キャバレー・カフェ ナイトクラブ等	4	3						3
	ロ	遊技場・ダンスホール	10	6	3		1			10
	ハ	性風俗営業店舗等								
	ニ	カラオケ、ビデオ個室等	2	2						2
3	イ	待合・料理店等	3	2					1	3
	ロ	飲食店	74	56	5	2	4	2	1	70
4		百貨店・マーケット等	120	74	11	9	20	2	2	118
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	31	16	4	1	6	3	1	31
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	103	68	21	6		1	1	97
6	イ	病院・診療所・助産所	30	20		2	6	1	1	30
	ロ	老人短期入所施設 有料老人ホーム等	69	28	3	12	17	4	5	69
	ハ	老人デイサービスセンター等	60	32	6	9	8	2	2	59
	ニ	幼稚園・特別支援学校	23	15	4	1	3			23
7		小学校・中学校 高等学校・大学等	56	24	8	6	8	3	6	55
8		図書館・博物館・美術館	7	3	1	1	1		1	7
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場 熱気浴場等								
	ロ	イ以外の公衆浴場	2	1				1		2
10		停車場・発着場	1	1						1
11		神社・寺院・教会等	34	17	6	3	7			33
12	イ	工場・作業場	34	10	5	6	12	1		34
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ								
13	イ	自動車車庫・駐車場								
	ロ	飛行機・航空機格納庫								
14		倉庫	1	1						1
15		全各項に該当しない事業所	86	38	10	10	14	5	8	85
16	イ	複合用途防火対象物（特防）	235	173	17	12	16	6	3	227
	ロ	イ以外の複合防火対象物	27	20	6		1			27
17		重要文化財等	2	2						2
18		延長50メートル以上のアーケード								
計			1,110	642	128	89	142	39	43	1,083

4. 防火対象物査察実施状況

項 別 署 所 別			消防本部 (予防課)	中 央 消 防 署						計
				本署	東所	南所	玖西所	玖1所	玖2所	
1	イ	劇場・映画館・演劇場・観覧場		3				1		4
	ロ	公会堂・集会場		30	13	10	18	9	12	92
2	イ	キャバレー・カフェ ナイトクラブ等		2						2
	ロ	遊技場・ダンスホール		5	2		1			8
	ハ	性風俗営業店舗等								
	ニ	カラオケ、ビデオ個室等		2						2
3	イ	待合・料理店等		2					1	3
	ロ	飲食店		58	5	2	11	2	2	80
4		百貨店・マーケット等	9	86	11	12	26	4	3	151
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	8	29	5	2	17	7	2	70
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅		329	90	37	26	1	2	485
6	イ	病院・診療所・助産所		46	4	6	11	1	2	70
	ロ	老人短期入所施設 有料老人ホーム等		30	3	13	17	2	5	70
	ハ	老人デイサービスセンター等		39	9	12	13	3	5	81
	ニ	幼稚園・特別支援学校		27	2	2	2			33
7		小学校・中学校 高等学校・大学等		45	8	8	22	10	14	107
8		図書館・博物館・美術館		1				1		2
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場 熱気浴場等								
	ロ	イ以外の公衆浴場		1						1
10		停車場・発着場		2	1					3
11		神社・寺院・教会等		16	2	3	5			26
12	イ	工場・作業場		93	61	32	35	6	6	233
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ								
13	イ	自動車車庫・駐車場		17	4	2	1		1	25
	ロ	飛行機・航空機格納庫								
14		倉庫		59	28	52	31	6	4	180
15		全各項に該当しない事業所		74	37	23	40	9	10	193
16	イ	複合用途防火対象物（特防）		213	17	15	19	6	3	273
	ロ	イ以外の複合防火対象物		65	20	7	9		1	102
17		重要文化財等	11	6	1		1	2	3	24
18		延長50メートル以上のアーケード					3			
計			28	1,280	323	238	308	70	76	2,320

5. 用途別消防用設備等受付事務処理状況

設 備 等 項 別		消 火 設 備						警 報 設 備						避 難 設 備					消火活動上必要				計	
		屋 内 消 火 栓	ス プ リ ン ク ラ ー	水 噴 霧 消 火 設 備 等	動 力 消 防 ポ ン プ	消 火 器 具	小 計	自 動 火 災 報 知 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	火 災 通 報 装 置	非常警報			小 計	避 難 は し ご	緩 降 機	そ の 他	誘 導 灯	小 計	連 結 送 水 管	非 常 コ ン セ ン ト	排 煙 設 備		小 計
											警 報 設 備	放 送 設 備	警 報 器 具											
1	イ																							
	ロ	1	3	1		2	7											3	3	1			1	11
2	イ																							
	ロ																							
	ハ																							
	ニ																							
3	イ																							
	ロ					5	5	3			1			4	1			5	6	2	1		3	18
4		1	2			9	12	7			4	5		16				13	13					41
5	イ							2		1				3				2	2					5
	ロ	1	1			20	22	11			2			13	8			5	13					48
6	イ		4	2			6	2		4				6										12
	ロ	1	2			1	4	6		30				36				1	1					41
	ハ		2	1		4	7	4		6	2			12				8	8					27
	ニ					1	1											1	1					2
7		1				1	2	4			1			5										7
8																								
9	イ																							
	ロ																							
10		1					1	1						1										2
11								1						1										1
12	イ	2	1	2	1	9	15	15						15				6	6					36
	ロ																							
13	イ	1				1	2																	2
	ロ																							
14						4	4	10						10				4	4					18
15		4	1			16	21	10		1	2			13				14	14	1			1	49
16	イ		1			1	2	9				1		10			1	2	3	1			1	16
	ロ																							
17								1						1										1
18																								
計		13	17	6	1	74	111	86		42	12	6		146	9		1	64	74	5	1		6	337

6. 用途別建築確認申請同意状況

区 分 項 別			確 認		許 可		計 画		計		
			岩国市	和木町	岩国市	和木町	岩国市	和木町	岩国市	和木町	合計
1	イ	劇場・映画館・演劇場・観覧場									
	ロ	公会堂・集会場									
2	イ	キャバレー・カフェ ナイトクラブ等									
	ロ	遊技場・ダンスホール									
	ハ	性風俗営業店舗等									
	ニ	カラオケ、ビデオ個室等									
3	イ	待合・料理店等									
	ロ	飲食店	5						5		5
4		百貨店・マーケット等	8						8		8
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	1						1		1
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	11						11		11
6	イ	病院・診療所・助産所									
	ロ	老人短期入所施設 有料老人ホーム等	2						2		2
	ハ	老人デイサービスセンター等	4	1					4	1	5
	ニ	幼稚園・特別支援学校	1						1		1
7		小学校・中学校 高等学校・大学等	4						4		4
8		図書館・博物館・美術館									
9	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場 熱気浴場等									
	ロ	イ以外の公衆浴場	1						1		1
10		停車場・発着場	1						1		1
11		神社・寺院・教会等	2						2		2
12	イ	工場・作業場	11	1			2		13	1	14
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ									
13	イ	自動車車庫・駐車場	3						3		3
	ロ	飛行機・航空機格納庫									
14		倉庫	26	2	1		2		29	2	31
15		全各項に該当しない事業所	26	1	4		4		34	1	35
16	イ	複合用途防火対象物（特防）	2						2		2
	ロ	イ以外の複合防火対象物	6	1					6	1	7
17		重要文化財等									
18		延長50メートル以上のアーケード									
住宅			105	6	7	2			112	8	120
工 作 物											
そ の 他			5	1					5	1	6
計			224	13	12	2	8		244	15	259

7. 工事種別建築確認申請同意状況

市 町 別	工事種別	新 築	増 築	改 築	そ の 他	計
岩 国 市		231	8	1	4	244
和 木 町		14	1			15
計		245	9	1	4	259

8. 火災予防条例等に基づく届出状況

署 所 別 区 分	消防本部	中 央 署						計
		中央署	東出張所	南出張所	玖西所	玖1所	玖2所	
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	151							151
消 防 用 設 備 等 設 置 届	293							293
消 防 用 設 備 等 着 工 届	205							205
炉 ・ ボ イ ラ ー 等 設 置 届		9	3		2	3		17
乾 燥 設 備 設 置 届		2				2		4
発 電 設 備 設 置 届		15	3	8				26
変 電 設 備 設 置 届	4	21	3	5	6	1		40
蓄 電 池 設 備 設 置 届		8	3		2		1	14
ネ オン 管 灯 設 備 設 置 届								
水 素 ガ ス を 充 て ん す る 気 球 の 設 置 届								
火災とまざらわしい行為の届		35	22	14	29	8	31	139
煙 火 打 上 げ 仕 掛 け 届		13	6	3	29	5	6	62
催 物 開 催 届	1	3	1		1		2	8
水 道 断 水 ・ 減 水 届		59	6	11	3			79
道 路 工 事 届		102	15	42	64	19	15	257
露 店 等 の 開 設 届 出 書		49	5	3	22	3	10	92
火災予防上必要な業務 に 関 す る 計 画 提 出 書	1							1
表示マーク交付（更新）申請	2							2
少量危険物貯蔵取扱い届	1	15	3	15	2	4	1	41
指定可燃物貯蔵取扱い届	8	8	4	1				21
核物質等貯蔵取扱い届		4	16					20
劇場等において火気使用願	13							13
圧縮アセチレンガス等届		20	14	24	3	4		65
液化石油ガス設備設置届	5							5
計	684	363	104	126	163	49	66	1,555

9. 火薬類取締法関係処理状況

区 分	許 可						立 入 検 査 等			
	製 造 許 可	販 売 営 業 許 可	譲 渡 許 可	譲 受 許 可	譲 受 ・ 消 費 許 可	消 費 許 可（煙火）	火 薬 庫	火 薬 類 販 売 所	火 薬 庫 外 貯 蔵 所	消 費 場 所
市 町 別										
岩 国 市			1		5	19	6	2	2	18
和 木 町										
合 計			1		5	19	6	2	2	18

10. 危険物事務処理状況

区 分	許可申請		完成検査申請		タンク検査申請					仮使用承認	仮貯蔵仮取扱承認	予防規程認可	軽微変更届	移動タンク貯蔵所転入	移動タンク貯蔵所転出	廃止届	名称変更・譲渡引渡届	品名数量変更届	保安監督者選解任届	合 計
	設 置	変 更	設 置	変 更	水	水	溶接部	保安検査	基礎地盤											
市町別																				
合 計	22	207	23	172	38	8	5	8		123	72	9	445	2	2	29	40	16	50	1,271
岩 国 市	20	108	23	95	23	8				72	16	8	356	2	2	27	40	14	44	858
和 木 町	2	99		77	15		5	8		51	56	1	89			2		2	6	413

11. 危険物施設数及び立入検査実施状況

製造所等の別 市 町 別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所						
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク貯蔵所	屋 内 タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所
合 計	985	28	727	64	426	7	89	3	116	22	230	84	4		13	129
岩 国 市	700	15	490	58	204	7	85	3	116	17	195	82	4		6	103
和 木 町	285	13	237	6	222		4			5	35	2			7	26
検 査 実 施 数	327	20	207	7	74	2	43	1	78	2	100	59	1		6	34

12. 危険物施設事業所数

区 分 市町別	事業所数	管理事業所 危険物保安統括	保安事業所 危険物施設	を要する事業所 予防規程の作成	する事業所 石衛防災組織により自
岩 国 市	222		7	65	5
和 木 町	6	2	2	2	2
合 計	228	2	9	67	7

13. 屋外タンク貯蔵所容量別数

容 量 別	100KL未満	100KL以上 500KL未満	500KL以上 1,000KL未満	1,000KL以上 10,000KL未満	10,000KL以上 50,000KL未満	50,000KL以上 100,000KL未満	合 計
基 数	94	122	64	88	54	4	426

14. 危険物施設倍数別状況

製造所等の別 倍 数 別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所					
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所
合 計	985	28	727	64	426	7	89	3	116	22	230	84	4		13	129
5 倍 以 下	197	4	151	23	15	6	56	3	45	3	42	5				37
5 倍 を 超 え 1 0 倍 以 下	99		64	17	12		18		7	10	35	9	1			25
10倍 を 超 え 5 0 倍 以 下	175	5	122	11	67	1	13		24	6	48	22	3			23
50倍 を 超 え 1 0 0 倍 以 下	104	2	81	3	51		1		23	3	21	11				10
100倍 を 超 え 1 5 0 倍 以 下	45	1	39	1	20		1		17		5	3				2
150倍 を 超 え 2 0 0 倍 以 下	33		15	2	13						18	13				5
200倍 を 超 え 1,000倍 以 下	137	6	91	3	88						40	21			4	15
1,000倍 を 超 え 5,000倍 以 下	76	3	66	3	63						7				3	4
5,000倍 を 超 え 10,000倍 以 下	43	2	38		38						3					3
1 0 , 0 0 0 倍 を 超 え る も の	76	5	60	1	59						11				6	5

15. 危険物取扱者試験の実施状況

種 別 年 度			甲 種	乙 種						丙 種	合 計	合 格 率 %
				1 類	2 類	3 類	4 類	5 類	6 類			
29 年 度	前 期	受 験 者	33	24	38	32	479	37	24	10	677	44.0
		合 格 者	9	18	32	28	161	30	13	7	298	
	後 期	受 験 者	29	78	34	26	336	23	86	11	623	49.0
		合 格 者	15	39	24	18	131	13	57	8	305	
30 年 度	前 期	受 験 者	28	58	66	42	390	61	57	5	707	56.6
		合 格 者	14	31	48	30	206	38	29	4	400	
	後 期	受 験 者	25	110	33	39	249	41	114	12	623	46.1
		合 格 者	9	47	16	22	103	20	62	8	287	

16. 化学消火剤備蓄状況（単位ℓ）

岩国地区消防組合	メガフォーム 6 % (F610 - AT)	2,600
	メガフォーム 6 % (AGF - T)	3,600
	メガフォーム 3 % (AGF - 3 T)	4,000
	合 計	10,200
岩国地区化学消火剤 共同備蓄会	メガフォーム 6 % (F610 - AT)	4,820
	メガフォーム 6 % (AGF - T)	5,240
	合 計	10,060
総 合 計		20,260

17. 広報活動等の実施状況

本部・署別 区 分		消防本部 (予防課・警防課)		中央消防署		計	
		回数	対象人員	回数	対象人員	回数	対象人員
避難訓練				211	15,030	211	15,030
消火訓練		2	151	226	15,083	228	15,234
消防訓練		1	422	238	9,460	239	9,882
クラブ等の指導		10	277			10	277
防火映画		6	1,619	19	1,078	25	2,697
防火講習会		2	73	23	1,142	25	1,215
街頭広報		15		96		111	
チラシ配布		14	2,702	26	96	40	2,798
防災行政無線広報誌等広報		72		18		90	
防火管理講習会 (再講習含む)	甲	3	173			3	173
	乙	2	4			2	4
危険物取扱者保安講習		6	583			6	583
一般家庭防火訪問				43	84	43	84
火気取扱い指導		6	119	73	706	79	825
その他		6	453	93	2,908	99	3,361

18. 幼年・少年消防クラブの現況

ク ラ ブ の 名 称	結 成 年 月 日	ク ラ ブ 員 数	諸 活 動 回 数						
			消 火 講 習	防 火 映 画	署 内 見 学	訓 練 実 習	出 初 式	防 火 パ レ ード 等	そ の 他
愛宕地区少年消防クラブ	S 55.8.7	4		1		1			4
通津少年消防クラブ	S 56.6.14	15				1			5
あさひ保育園幼年消防クラブ	S 58.10.20	30	3			11		1	6
玖珂中央幼稚園幼年消防クラブ	S 62.3.27	49				13		2	7
さかうえ保育園幼年消防クラブ	S 62.6.24	38	1			12		2	3
岩国南幼稚園幼年消防クラブ	S 63.11.12	157	1		1	2			14
岩国中央幼稚園幼年消防クラブ	H 14.3.12	182	1			7	1		4
和木幼稚園幼年消防クラブ	H 14.10.15	140	1			10		1	
ひろせ保育園幼年消防クラブ	H 15.10.1	15				12			4
由宇保育園幼年消防クラブ	H 16. 9.1	27				12		2	9
周東幼稚園幼年消防クラブ	H 17.11.2	16	1			3		3	4

19. 婦人消防隊の現況

消 防 隊 の 名 称	結 成 年 月 日	隊 員 数	資 機 材			操 法 訓 練	出 初 式	隊 員 研 修	そ の 他
			ポ小 ン型 動 力	ホ ー ス	筒 先				
柱島婦人消防隊	S.56. 4. 1	7	1	5	1		1	2	7
阿品婦人消防隊	H. 1.12. 1	11	1	5	1			2	4

IX 消 防 団

1. 消防団の人員と主要装備

人員等 市町別		人				員				消防車両等			連絡用器具								
		定員	実員	階級				消防ポンプ自動車	積小型動力ポンプ付車	小型動力ポンプ	その他の車両	車載用無線機	携帯用無線機	簡易無線機	トランシーバー	無線受令機					
岩国市	合計	1,770	1,572	2	6	9	20	57	62	147	282	987	38	107	59	13	16	14	305	492	135
	1,685	1,511	1	5	9	20	54	59	141	272	950	35	105	52	11	12	5	305	480	135	
		16	1	5	0	0	4	0	1	3	2	0	0	8	3	2	5	0	6	2	
		270			1	3	6	6	34	62	158	9	21	12	0	1	0	61	93	29	
		312			1	3	7	7	38	72	184	7	21	23	0	2	0	58	90	24	
		112			1	2	5	9	10	27	58	4	6	2	1	1	0	23	36	10	
		90			1	2	8	8	0	8	63	2	6	4	0	1	0	17	27	7	
		65			1	2	6	6	5	7	38	1	5	0	0	1	0	13	21	5	
		238			1	2	5	5	17	44	164	3	19	1	2	1	0	49	75	23	
		158			1	2	4	4	15	15	117	5	8	0	5	1	0	33	51	14	
和木町	美川方面隊		74			1	2	2	2	9	10	48	2	8	0	0	1	0	24	39	9
	美和方面隊		176			1	2	7	12	12	24	118	2	11	2	0	1	0	27	42	12
		85	61	1	1			3	3	6	10	37	3	2	7	2	4	9	0	12	0

2. 消防団活動状況

区 分 市 町 別			火 災		水 防		訓練・その他		合 計	
			出動回数	出動人員	出動回数	出動人員	出動回数	出動人員	出動回数	出動人員
岩 国 市	団 本 部		20	94	4	17	72	295	96	406
	岩国東方面隊	麻里布・川下・愛宕・灘・柱島・通津分団	5	222	3	174	73	2,320	81	2,716
	岩国西方面隊	岩国・小瀬・藤河・御庄・北河内・南河内・師木野分団	9	303	4	319	62	2,241	75	2,863
	由宇方面隊	本 部 及 び 第 1 ～ 5 分 団	2	30	3	140	63	779	68	949
	玖珂方面隊	本 部 、 中 央 第 1 ～ 5 分 団	4	51	4	92	87	779	95	922
	本郷方面隊	本 部 及 び 第 1 ～ 6 分 団	2	5	0	0	61	420	63	425
	周東方面隊	本 部 及 び 第 1 ～ 5 分 団	5	89	8	273	76	1,306	89	1,668
	錦 方面隊	本 部 及 び 第 1 ～ 4 分 団	1	5	2	74	89	1,305	92	1,384
	美川方面隊	本 部 及 び 第 1 ～ 3 分 団	0	0	2	30	54	466	56	496
	美和方面隊	本 部 及 び 第 1 ～ 6 分 団	7	114	1	38	87	1,288	95	1,440
	小 計		55	913	31	1,157	724	11,199	810	13,269
和木町	本 部 及 び 第 1 ～ 3 分 団		1	34	0	0	82	399	83	433
計	合 計		56	947	31	1,157	806	11,598	893	13,702

3. 消防団員の年齢構成

区 分 市 町 別		計	20 歳 未 満	20 ～ 25 歳 未 満	25 ～ 30 歳 未 満	30 ～ 35 歳 未 満	35 ～ 40 歳 未 満	40 ～ 45 歳 未 満	45 ～ 50 歳 未 満	50 ～ 55 歳 未 満	55 歳 以 上	平 均 年 齢
岩 国 市	団 本 部	16				1		2		1	12	59.4
	岩国東方面隊	270		4	9	18	17	50	37	41	94	49.1
	岩国西方面隊	312		1	6	14	26	36	57	52	120	50.5
	由 宇 方 面 隊	112		4	7	12	12	19	13	13	32	46.1
	玖 珂 方 面 隊	90	2		1	7	13	10	11	14	32	49.0
	本 郷 方 面 隊	65		1	1	4	4	6	6	18	25	51.6
	周 東 方 面 隊	238	1	6	8	14	16	45	53	30	65	47.4
	錦 方 面 隊	158		1	3	5	15	27	19	17	71	51.0
	美 川 方 面 隊	74			2		5	9	11	11	36	53.0
	美 和 方 面 隊	176	1	4	9	9	18	28	29	38	40	46.9
和 木 町		61		1	2	7	10	10	14	8	9	44.6

4. 消防団員の在職年数

区 分 市 町 別		計	1 年 未 満	1 ～ 5 年 未 満	5 ～ 10 年 未 満	10 ～ 15 年 未 満	15 ～ 20 年 未 満	20 ～ 25 年 未 満	25 ～ 30 年 未 満	30 年 以 上	平 均 年 数
岩 国 市	団 本 部	16		2	1	1	2	2	3	5	23.4
	岩国東方面隊	270	8	46	41	43	30	45	30	27	15.5
	岩国西方面隊	312	12	40	47	39	80	37	35	22	15.3
	由 宇 方 面 隊	112	4	14	15	26	12	11	9	21	16.4
	玖 珂 方 面 隊	90	9	12	7	11	13	15	10	13	16.5
	本 郷 方 面 隊	65	4	5	7	12	9	12	7	9	17.0
	周 東 方 面 隊	238	8	35	33	33	39	38	23	29	16.1
	錦 方 面 隊	158	2	15	25	24	25	15	28	24	18.1
	美 川 方 面 隊	74	2	1	5	18	5	13	9	21	21.8
	美 和 方 面 隊	176	7	29	15	25	25	37	19	19	16.5
和 木 町		61	3	11	12	14	9	7	4	1	15.08

5. 消防団員年額報酬

岩 国 市

(単位 円)

団 長	副団長 (方面隊長)	方面副隊長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
78,000	64,500	55,000	46,000	41,000	33,500	32,500	31,500

和 木 町

(単位 円)

団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
86,400	72,000	62,400	57,600	54,000	37,500	36,500

6. 消防団員費用弁償

(単位 円)

種 別 市町別	火 災	警 戒	訓 練	水 防	そ の 他
岩 国 市	6,800	6,800	4,300	6,800	4,300
和 木 町	7,000	6,300	3,600	7,000	2,500

平成 31 年 3 月 発行

編 集 岩国地区消防組合
消 防 本 部 総 務 課

〒740-0037 岩国市愛宕町一丁目4番1号
TEL (0827) 31-0193
FAX (0827) 32-2119
E-mail ifd119@joy.ocn.ne.jp
URL <http://www.iwakuni-fd.or.jp/>

